



第176号

今月のフェアリー詰将棋

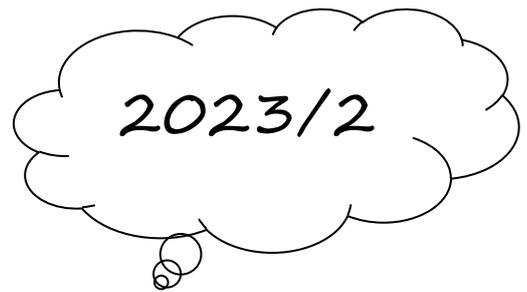
- ・ 第148回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第149回 WFP 作品展
- ・ 第1回 Lortap 入門作品展(再掲)
- ・ 第14回フェアリー入門(ライフル協力詰)
- ・ 第1回フェアリー入門別館
- ・ Fairy of the Forest#73
- ・ 第2回最後の1ピース作品展(馬屋原剛)
- ・ 推理将棋第159回出題

結果発表

- ・ 第147回 WFP 作品展
- ・ 推理将棋第157回出題
- ・ 第13回フェアリー入門(禁欲協力詰)
- ・ 協力詰・協力自玉詰解付き#9(駒井めい)

読み物

- ・ 実験室の悲劇(第14回)(占魚亭)
- ・ 第15回フェアリー入門(All-in-Shogi 協力詰)(伊達悠)
- ・ 駒全マネ取禁:例題集(一乗谷酔象)
- ・ 冪和の不等式/神無太郎
- ・ 今月の手筋(邪魔駒設置)



はじめに



WBC

コロナの規制もかなり緩和されているいろいろなスポーツも通常通り開催されるようになりました。観客席で声を出して応援できるというのがいいですね。選手も応援の力で何パーセントか実力以上のパフォーマンスが出せると思いますが盛り上がること間違いなしです。

3月9日から WBC の日本が入っているプール B が開幕します。日本、韓国、オーストラリア、中国、チェコの5カ国のリーグ戦。上位2チームに入ればいいので予選は突破してくれることでしょう。

しかしながら今回は大リーグからもかなり選手が参加しており、過去の大会からはかなり様相が変化していますね。どうなるのでしょうか？アメリカ、ドミニカ、プエルトリコ、日本が優勝候補といえるでしょうが、対戦時の先発ピッチャーがどこの国で誰という戦略が重要になってくると思うので本当に予想し難いですね。

私の好きなカープからは抑えの栗林選手が参戦します。キャンプでも調子が良さそうですので期待しています。

サッカーJリーグも開幕しました。3月末からはプロ野球も開幕します。そして今年9月～10月にはラグビーのワールドカップフランス大会もあります。テレビの前で応援する楽しみが目白押しです。

WFPは今年6月に180号で満15周年を迎えます。何か企画物を開催したいと思いますのでよい案がありましたら是非編集部までお願いします。

たくぼん

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第176号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

占魚亭残日録

<https://sengyotei.hatenablog.com>

第148回WFP作品展(再掲)及び 第149回WFP作品展 担当：神無七郎

作者は「誤記」

しばらく理屈っぽい話が続いたので、気分を変えるため今回は雑談です。雑談と言っても「アンドリス・ネルソンスのリヒャルト・シュトラウス管弦楽作品集は良かった」とか「去年の暮れに、この辺では珍しいセイタカシギを見つけた」とかいう話ではありません（そんな話もしたいですが）。詰将棋関連の昔話です。

時は1985年。ばか自殺詰（協力自玉詰）の双裸玉がまだ珍しかったころ、私はフェアリーランドにばか自殺詰双裸玉6作をまとめて投稿し、この年の4月号で他の方々の双裸玉作品と共に出題されました。29題の大量出題です。この号は詰パラ通巻350号ということで、森茂氏・花沢正純氏の長編作品計5題も同時に出版され、祝祭気分を盛り上げました。

しかしながら合計34題の大量出題に対し、出題ページは2ページしかありません。双裸玉作品群は図面を省略し、双方の玉位置・持駒・手数などの文字表記での出題となりました。

ここで問題発生。文字表記の誤記で、いくつかの作品が不完全作になっていたのです。出題図誤記のため解答者全員正解の措置が取られたのですが、ここで面白いことが起こりました。当時の記事からその部分を抜粋します。

16◎15玉17王☆角銀香★8手
59角48飛合、16銀24玉、68角46角合、
28香同飛成迄8手▽作意は平易ですが
担当の誤記のため、次の作品が生じて
しまった！
16妹◎17玉15王☆角銀香★8手
39角28飛、19香27玉、16銀36玉、25銀
同飛成迄8手。▽姉（？）妹とも完全
なのは、今回の取巻といえるでしょう
まったくの怪我の功名ですが、16妹の
作者はいったい誰ということになるの
でしょうか？▽とにかく、珍事で、損

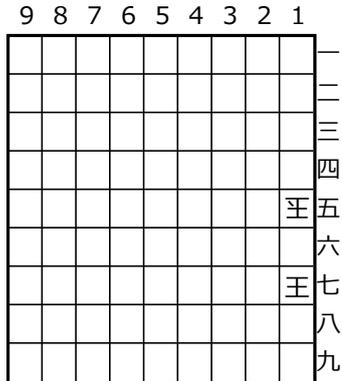
(詰将棋パラダイス,1985年9月号,P.35より)

私が投稿したのは受方15玉、攻方17玉の図だったのですが、攻方と受方の玉が逆に記載されてしまいました。ところが誤図も駒が余らず、指定手数で詰んだのです。手順に非限定が一箇所ありますが、それを我慢すれば（当時の基準では）完全作と言えなくはありません。誤記に

より姉妹作が生まれてしまったのです。分かり易いよう図を載せます。

〔原図〕

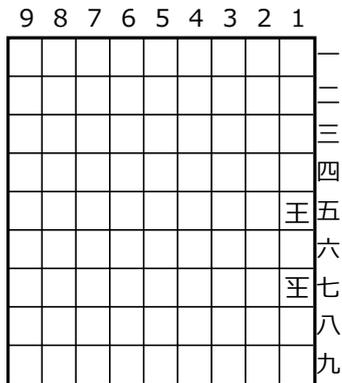
ばか自殺詰 8手



持駒 角銀香

〔誤図〕

ばか自殺詰 8手



持駒 角銀香

不幸中の幸いは原図も誤図も凡庸な作品だったことです。原図が優れていたなら誤記は大変残念だったでしょうし、誤図の方が優れていたなら作者の立場がありません。作品価値の低さを喜んだのはこれが初めてです。

WFP誌は電子本なのでページ数制限はありません。本作品展でもその長所を活かし、図面を多用しています。ツインであっても文字表記より図の使用を優先しているのは誤記対策の意味もあるのです。図を使ったら使ったで、今度は誤図が生じるのですが、誤図は誤記に比べ気付きやすいというメリットがあります。百読は一見に如かず。視覚情報は偉大です。さて、今回の出題は第148回の再掲載分と第149回の新規出題分です。第149回は最近の本作品展には珍しく、解きやすい作品が多く集まりました。腕に覚えのある方は、ぜひ全題正解を狙ってください。

ップしたそうなので、これはその最初の成果というわけですね。自玉が盤端にいるので、詰上りは想定しやすいと思いますが、注意すべきは89香の存在。これが受けに働かないよう注意してください。

148-11 は本作品展では初登場となるさつき氏の作品です。ルールはこれも本作品展初登場となる「衝立詰」です。4手目から受方の手が二択状態になるので、どちらにも対応できるように注意深く王手を選んでください。

以下、「衝立詰」のルール説明です。

「衝立詰」はかなり昔からあり、1976年7月に刊行されたカピタン1号も衝立詰将棋の特集でした。ただ、ルールの詳細に関するまとまった資料は見当たらないので、改めてここに文章化したいと思います。

【衝立詰】

受方の着手は衝立将棋において与えられる情報しかわからない。

攻方が衝立将棋における反則（チョンボ）を指した場合は、代りの手を指せる。

反則（チョンボ）の回数上限は出題時に与えられる。

衝立詰では初形は分かっていますが、その後は衝立が立てられ、攻方は受方の手が見えなくなります。そして限られた情報だけしか与えられません。どんな情報が与えられるかについては後述します。

また、情報が制限されるのは攻方のみという点も重要です。受方は攻方の手が見えています。実は衝立詰の衝立は不公平な「ハーフミラー」なのです。

次に衝立詰における「完全作」を次のように定義します。

作品が完全作となるのは、この条件で不必要な反則（チョンボ）を除いて攻方の手が一意に決まるときであり、受方の手は一意でなくとも良い。

受方の手は攻方に見えていないわけですから、受方の手に不確定性が残っていても不完全作にはなりません。これは透明駒に似ていますね。また、不必要な反則（チョンボ）は、回数上限まで余裕があればその範囲内で余分に入れ

ることができるので、これは手順から除外します。これは無駄合の除外に似ています。

なお、複数解作品や、攻方の手が完全に一意に定まらない（非限定がある）場合は、出題時にその旨を明示して出題します。

次に衝立詰で攻方に与えられる情報についてまとめます。

〔与えられる情報〕

1a.相手の駒を取った（取った駒が渡される）

1b.自分の駒が取られた（盤上から取られた駒がなくなる）

2a.王手をかけた

2b.王手をかけられた

3a.指し手が反則

4a.詰めた

4b.詰められた

通常、詰将棋では攻方王手義務があるので、攻方は「2a.王手をかけた」という情報が必ず渡されるような着手を選ばねばなりません。これが衝立詰の一番面白いところであり、難しいところでもあります。相手の指し手が何であっても王手が掛かるような手を選び、時には反則（チョンボ）の情報も利用しながら可能性を絞らねばなりません。

「3a.指し手が反則」は、衝立があることによって生じる反則のことです。これは「チョンボ」とも呼ばれ、次の5つの可能性があります。

〔反則（チョンボ）の指し手〕

(1) 王手がかかっているが解消できない手。

(2) 自分の王を王手にさらす手。

(3) 相手の駒のある場所に駒を動かす手。

(4) 相手の駒を飛び越える手。

(5) 打歩詰。

チョンボの回数は慣習的に「8回まで可（9回で失敗）」がよく使われますが、これは衝立将棋の実戦向けの回数なので、詰将棋では問題毎に作意成立に必要な回数を上限として指定するか、制限なしとした方が良いと思います。本作品展では毎回上限回数を明記して出題します。また、上記以外に「連続王手の千日手」のような特殊な反則を扱う場合、それを明記して出題します。解答の書き方については、主に2つの流儀があります。攻方から見える手だけを並べた「攻方

視点」と、双方の手を並べた「審判視点」の2つです。

カピタンでは攻方視点の棋譜表記が採られていて、以下のような記号が使われていました。まずは受方の着手を示す表記です。

| 表記 | 意味 |
|------|------------------|
| (-) | 無反応 |
| (XY) | XY の位置で攻方の駒が取られた |
| (×) | 反則 (チョンボ) |
| (+) | 逆王手 |

なお (XY) の XY が直前の着手と同じ場合は (同) という表記が使われます。

攻方の着手は受方の駒を取ったときのみ変わります。攻方の着手の後にセミコロン(;)で区切り、入手した駒を表示します。

| 表記 | 意味 |
|----|----------------|
| ;駒 | 指手によって「駒」を入手した |

一方、「審判視点」の表記法では、攻方の着手がチョンボのとき×を付け、代替の着手を後に続ける以外は通常の表記法になります。

まずは、「審判視点」の表記法で以下の作品をご覧ください。

〔参考図〕

蒲池克弘・小林博・加藤徹 合作

衝立詰将棋 19手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | 馬 | 糸 | | 二 |
| | | | | | | | | | 王 | 三 |
| | | | | | | | | 歩 | 糸 | 四 |
| | | | | | | | | 飛 | | 五 |
| | | | | | | | | | 桂 | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 金2

(カピタン,1976年7月)

31 馬 22 金 22 金×15 飛 14 香
 14 金×同飛 23 玉 13 金 同桂
 同飛成 同金 14 金 同金 35 桂 12 玉
 13 香 同金 同馬 同玉 23 金 まで 19 手
 (※3 手目は 13 金×15 飛も可)

これを「攻方視点」の表記法で表すと以下のようになります。

〔参考図解答 (カピタン流)〕

31 馬 (-) 22 金 (×) 15 飛 (-)
 14 金 (×) 14 飛; 香 (-) 13 金 (同)
 同飛成; 桂 (同) 14 金 (同) 35 桂 (-)
 13 香 (同) 同馬; 金 (同) 23 金 まで 19 手

攻方視点の棋譜表記はまるで暗号のようですが、受方の手が断片的にしか分からないことを実感できるので、臨場感がありますね。

本作品展では鑑賞専門の方でも何が起こったか分かるよう、審判視点の表記法で解答を記述する予定ですが、皆さんはお好きな方で解答を書いてください。分かる範囲であれば、多少アレンジしても構いません。

以上、長々とルール説明を書きましたが、今回の出題作は難解作ではありません。衝立詰は初めての方もぜひ挑戦してみてください。

〔第 149 回作品展各題への補足説明〕

第 149 回の出題は全 12 題。今回登場する作者は松下拓矢氏、神無太郎氏、占魚亭氏、駒井めい氏、真 T 氏、一乗谷酔象氏、上田吉一氏、北村太路氏、変寝夢氏、くろねこ氏、さつき氏の 11 名。松下拓矢氏は本作品展初登場です。今後も作品・解答での活躍をお願いします。

今回は投稿作品数が全 15 題だったため、まず各作者 1 題を選び、2 題投稿された方のうち、登場回数 of 最も少ない一乗谷酔象氏の作品を 2 題選びました。残る 3 題は次回 (第 150 回) へ繰り越しとなります。どうかご了承ください。

149-1 は本作品展初登場となる松下拓矢氏の協力自玉詰です。手順に一ヶ所だけ非限定があります。常連解答者なら、初形で詰上りが想像できるかもしれません。

149-2 は前回に引き続き神無太郎氏の点鏡+打歩作品。かなり難解なのでヒントを出しておきましょう。「双方の玉がよく動きます」。

149-3 は既視感のある方もいらっしゃるでしょう。第 4 回フェアリー短編コンクール第 26 番の別案だそうです。AntiAndernach に Imitator に Giraffe まで使われているので、解く前に白旗を揚げる人もいるかもしれませんが、手数は 5 手です。とにかく駒を動かして占魚亭ワールドを堪能してください。

149-4 は駒井めい氏の多玉協力自玉詰。Man (夫) と表記された駒が目を惹きますね。夫は

性能こそ玉と同じですが、玉と違って取りを掛けられてもそれを避ける義務がありません。玉と同じ性能を持った普通の駒なのです。ただし、本局ではこの「夫」に「成ると性能は不変のまま玉属性を持つ」という性質が与えられています。つまり成ると「第二の玉」となるのです。だからルールも「多玉」となっているわけです。「夫」は「王」になるか否か。その行く末を見届けてください。

149-5 は真T氏の Imitator 作品。氏の最悪詰の難問に苦戦した方々にとってはオアシスのように映るでしょう。敢えてヒントは出しませんので、「真T氏の作品が解けた！」という達成感を味わってください。

149-6 及び **149-7** は一乗谷酔象氏の駒全マネ取禁です。裸玉と双裸玉で持駒は桂。このルールに馴染みのない方も、これなら何とかかなりそうに思いませんか？ **149-7** は受方持駒制限があるので、詰型も限られます。詰型の推定次第で、解図に掛かる時間も変わると思えます。

149-8 は上田吉一氏の成禁協力自玉詰。これは掛け値なしに「解かないと損」な作品だと思います。本局には不滅駒の他に、「取捨」の駒も指定されています。**95** 飛と **92** 金がそうですが、これは取っても持駒にならず、駒箱に消えてしまいます。不滅駒と違って「いざとなれば取ることもできる」ので、これで攻方玉を詰ますときは細心の注意を払ってください。

149-9 は北村太路氏の協力詰。他に何もフェアリー要素のない純粋な協力詰を見ると何だかほっとしますね。本作品展では貴重な協力詰、ノーヒントで解いてください。

149-10 は一転してフェアリー要素満載の変寝夢氏の作品です。フェアリー要素が多いということは、手順に何か仕掛けがあるということなので、その仕掛けさえ見破れば易しいはずです。さて、どんな狙いなのでしょう？

149-11 は、くろねこ氏の協力自玉詰。配置を見れば狙いは一目瞭然ですが、むしろ後半に「第二の狙い」とも言える手順が待っています。最後までしっかり解ききってください。

149-12 は前回に引続き、さつき氏の衝立詰。普通の詰将棋なら迷わず初手 **89** 香とするところですが、応手が見えない衝立詰ではそれは悪手です。なるべく応手の選択肢の少ない王手を選びましょう。反則(チョンボ)は9回までOKと設定されていますが、実際にはそんなに使い

ません。

解答要項

第 148 回分解答締切:2023 年 3 月 15 日(水)

第 149 回分解答締切:2023 年 4 月 15 日(土)

宛先 : k7ro.ts@gmail.com (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載しますが、投稿作が一回の出題数(12 題)を越えた場合、出題時期を調整させていただきます。

宛先は解答と同じ k7ro.ts@gmail.com へ。

メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

ルール説明

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule137.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【点鏡】

55 に関して点对称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

- ・行き所のない駒の禁則は適用されない
- 初出：第 108 回 WFP 作品展 (WFP127 号)
参考：「1 手詰から始めるフェアリー超入門 点鏡編 1」(https://note.com/tsume_springs/n/naab6669c82f3)

【All-in-Shogi】

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも 1 手前の局面に戻す着手は禁手とする。

(補足)

- 1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。
- 2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。
- 3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。
- 4) 自玉を取らせる手は反則

→参照：WFP122号「All-In-Shogiの紹介」

【打歩】

打歩詰以外の詰手を失敗とする（単純打歩）。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【駒全マネ取禁】

直前の指し手の駒種と同じ駒での駒取りを禁止する。

(補足)

"駒全マネ禁"とは異なり、直前の駒種と同じ駒でも、駒を取らないで移動する手および持駒を打つ手は指すことができる。細則は以下の通り。

- 1)玉を取る手にもこれを適用する。
(王手を掛けている駒種と同じ駒を受方が着手すれば王手を回避できる)。
- 2)成駒と生駒は別種の駒として区別する。
また、直前の手が「成」だった場合、成る前の駒種で判定する。

→初出：第142回WFP作品展(WFP167号)

【非王手可】

攻方に王手の義務がない。(王手をしてもらえない)

【とX】

成歩がXで指定された駒の性能になる。

(補足)

- 1)成った歩を更に成ることはできない
- 2)取られて持駒になると歩に戻る

→初出：第9回フェアリー入門(WFP171号)

【複玉】

攻方または受方が複数の玉(玉属性を持つ駒)を使用できる。

盤上の玉が1枚になるまで王手放置が可能。盤上に残った最後の玉が詰み、新たな玉を盤上に出現させる受けもないとき「詰」となる。

(補足)

複玉において玉属性を持つ駒が取られた場合、玉属性を失わない駒ならば持駒にならずに取捨てとなり、玉属性を失う駒ならば相手の持駒となる。

【透明駒】

位置・種類が不明の駒。
着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

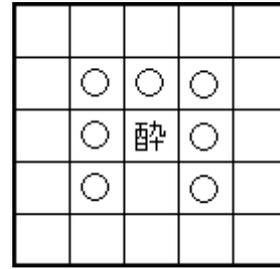
→参照：WFP83号「透明駒の紹介」

【駒余り禁】

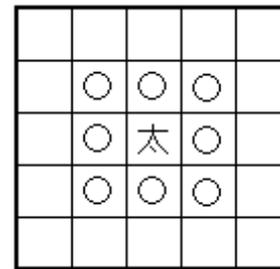
最後に攻方持駒が余ってはいけない。

【酔象】(酔)

中将棋の酔象。後方以外の周囲7マスに進める。成ると太子(太)になり、二枚目の玉として使える。



(○が酔の利き)



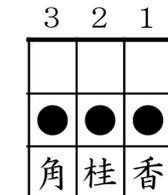
(○が太の利き)

(補足)

- ・酔象が成る条件は将棋で成る条件と同じ。
中将棋のように敵陣に入るときや、敵陣で敵駒を取るときしか成れなかったり、四段目で成ったりすることはない。

【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。
跳び越すことは可能。



例えば左図で、
一 12香や11香成は不可。
二 22角や11角は不可。
三 11桂成や31桂成は可。

(補足)

- ・ホッパー系の駒のジャンプ台になる。

【不滅駒】

取られることのない駒。
この性質を「不滅性」と呼び、不滅性を与えられた駒を「不滅」+「駒名」で呼称する。

(補足)

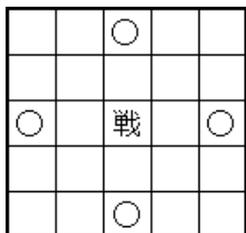
特に注釈がない場合、以下の細則を適用する。

- 1)成っても不滅性を失わない
- 2)初形では不滅駒を持駒にできる

→初出：第140回WFP作品展(WFP165号)

【Dabbaba】(戦)

(2,0)-leaper。
縦横1マス跳んだ位置に利く駒。



(○が戦の利き)

【衝立詰】

受方の着手は衝立将棋において与えられる情報しかわからない。

攻方が衝立将棋における反則 (チョンボ)を指した場合は、代りの手を指せる。

反則 (チョンボ) の回数上限は出題時に与えられる。

作品が完全作となるのは、この条件で不必要な反則 (チョンボ) を除いて攻方の手が一意に決まるときであり、受方の手は一意でなくとも良い。

〔与えられる情報〕

- 1a.相手の駒を取った (取った駒が渡される)
- 1b.自分の駒が取られた (盤上から取られた駒がなくなる)
- 2a.王手をかけた
- 2b.王手をかけられた
- 3a.指し手が反則
- 4a.詰めた
- 4b.詰められた

〔反則 (チョンボ) の指し手〕

- (1) 王手がかかっているが解消できない手。
- (2) 自分の王を王手にさらす手。
- (3) 相手の駒のある場所に駒を動かす手。
- (4) 相手の駒を飛び越える手。
- (5) 打歩詰。

【AntiAndernach】

玉以外の駒は、駒を取らない盤上の移動を行うと、着手後に相手の駒となる。

(補足)

- ・細則は **Andernach** と同様で「駒取り」を「駒を取らない盤上の移動」に読み替える。
- 1)駒を取らない盤上の移動で二歩になる場合、相手の駒にならない。
- 2)相手の駒になるのは成生の選択後。
- 3)駒を取らない盤上の移動では、相手陣二段目への桂の不成、一段目への桂香歩の不成が可能 (二歩の例外を除く)。

→初出：第 60 回 WFP 作品展 (WFP68 号)

【Imitator】 (■または I)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この **Imitator** が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

(補足)

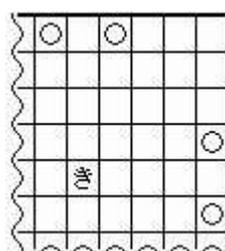
- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く
- ・Imitator は攻方・受方のどちらにも所属しない
- ・利きの概念を持たず、性能変化ルールでも性能変化の対象にならない

→参照：WFP75 号「Imitator の紹介」

【Giraffe】 (き)

Giraffe はフェアリーチェスの駒。

4 対 1 の方向に跳ぶ八方桂。



(○が「き」の利き)

【多玉詰】

攻方または受方が複数の玉を使用できる。

どの玉に対しても王手放置は禁手。

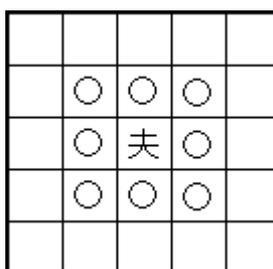
王手を外せなければ詰み。

(補足)

- ・ここでは玉属性 (相手からの取りを回避する義務) を持つ駒を単に玉と呼称。
- ・「使用する」ではなく「使用できる」としたのは、実際に玉が複数にならなくとも良いという意味。逆に言えば、玉と玉になり得る駒が複数あれば、実際の手順で複数の玉が現れなくとも「多玉詰」とする。
- ・「攻方または受方が」は「双玉」と区別するために付けた語句。

【Man】 (夫)

玉と同じ利きを持つが、玉属性 (相手からの取りを回避する義務) を持たない駒。



(○が夫の利き)

※WFP149-4 では成ると利きは変わらず玉属性を持つ（玉と同等）になる設定が与えられている

【成禁】

手順中に成る手があってはならない。

(補足)

- ・あくまで手順中に「成」が出ないだけ。「詰」や「王手」の概念は通常通り。

【取捨て】

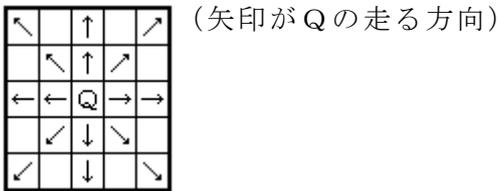
駒を取っても持駒にならずに消える。

(補足)

取捨て属性が付与された駒を取捨駒と呼び、駒名を指定するときは「取捨」+「駒名」で表記する。

【Queen】(Q)

チェスの Queen。飛車と角を合わせた性能を持つ。



【Dummy】(偶)

自分では動かない駒

(補足)

- ・ルールによっては受動的に「動かされる」ことはできる。
- ・持駒であれば任意の空き枱に打つことができる。(行き所のない駒の禁則の対象外)。

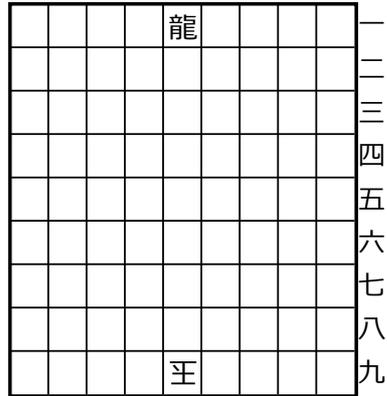


<第 148 回>解答締切:2023 年 3 月 15 日(水)

■ 148-1 占魚亭氏作

点鏡All-in-Shogi協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

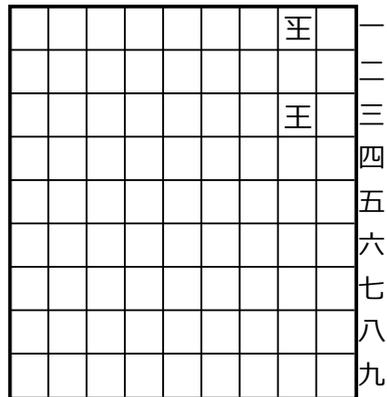


持駒 なし

■ 148-2 神無太郎氏作

点鏡打歩協力白玉詰 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

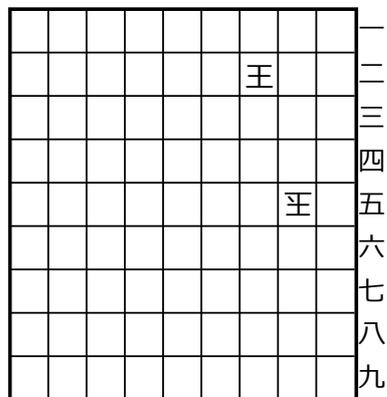


持駒 金

■ 148-3 神無太郎氏作

点鏡打歩協力白玉詰 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 銀

■ 148-4 一乗谷酔象氏作

駒全マネ取禁協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

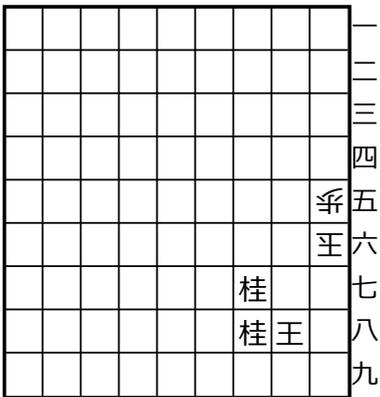


持駒 金

■ 148-5 駒井めい氏作

非王手可協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

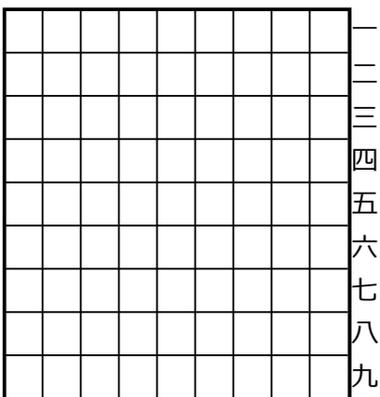


攻方持駒 歩
受方持駒 なし

■ 148-6 るかなん氏作

と玉複玉協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 金歩
※透明駒:攻方0枚、受方1枚

■ 148-7 るかなん氏作

a) 駒余り禁複玉協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし
※酔:中将棋の酔象 (成ると太子)
太:中将棋の太子 (玉と同等)

b) 駒余り禁複玉協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

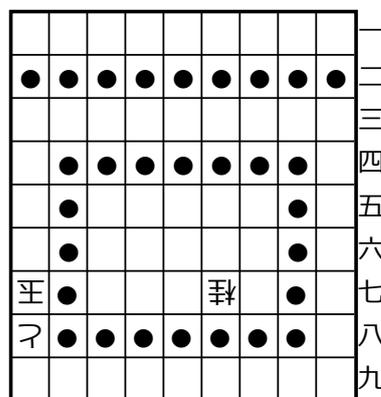


持駒 なし
※酔:中将棋の酔象 (成ると太子)
太:中将棋の太子 (玉と同等)

■ 148-8 上田吉一氏作

協力詰 339手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 角2桂歩11
※●:着手不可、不透過

■ 148-9 上田吉一氏作

協力白玉詰 52手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 王 | 戦 | | 科 | | | | | |
| | | と | 科 | | | | | |
| 糸 | | | 科 | | | | | |
| | | | | 科 | | | | |
| 龍 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | ア | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 王 | 角 | | | | |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※戦:(0,2)-Leaper
72と・93歩・95龍は不滅駒

■ 148-10 変寝夢氏作

駒全マネ取禁協力白玉詰 6手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 王 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 王 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 香 | | | | | | | |

持駒 飛

■ 148-11 さつき氏作

衝立詰 9手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | 馬 | | | | | | |
| 王 | | | | | | | | |
| | 歩 | | | 角 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | 金 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

持駒 飛金桂
※反則 (チョンボ) は9回まで

<第 149 回>解答締切:2023年4月15日(土)

■ 149-1 松下拓矢氏作

協力白玉詰 8手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 糸 | | | | |
| | | | | 飛 | | | 変 | |
| | | | 馬 | | 王 | | | |
| | | | 糸 | 銀 | | | | |
| | | | | 王 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | 角 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | 香 | | | | |

持駒 飛
※非限定あり

■ 149-2 神無太郎氏作

点鏡打歩協力白玉詰 14手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | 王 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 王 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

持駒 銀

■ 149-3 占魚亭氏作

AntiAndernach協力詰 5手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | ■ |
| | | | 角 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | き | | | | | |
| | | | 卒 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 飛 | | | | | |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※き:Giraffe王、■:Imitator

以上

■ 149-4 駒井めい氏作

多玉協力白玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--|---|---|---|
| | | | | | | | 王 | | 一 |
| | | | | | | | 香 | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | 王 | 夫 | | | | 銀 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 香

※夫:Man (成ると王)

■ 149-5 真T氏作

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 香 | | 六 |
| | | | | | | | 金 | 王 | 七 |
| | | | | | | | 銀 | | 八 |
| | | | | | | | | ■ | 九 |

持駒 歩

※■:Imitator

■ 149-6 一乗谷酔象氏作

駒全マネ取禁協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂2

■ 149-7 一乗谷酔象氏作

駒全マネ取禁協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|---|--|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | 王 | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | 王 | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 桂

受方持駒 桂

■ 149-8 上田吉一氏作

成禁協力白玉詰 250手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| 香 | | | | | | | | | 二 |
| | | | と | | | | 歩 | 馬 | 三 |
| 香 | | | 香 | | | | | | 四 |
| 銀 | 歩 | | 王 | | | | | | 五 |
| | 王 | | | | 桂 | | | | 六 |
| | 歩 | | 桂 | 歩 | | | 馬 | | 七 |
| | | 銀 | | 銀 | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※17馬は不滅駒
95飛及び92金は取捨駒

■ 149-9 北村太路氏作

協力詰 37手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | 銀 | | | | | | | 二 |
| | | | | 皇 | | 金 | 銀 | | 三 |
| | 香 | 香 | | | | 皇 | 香 | | 四 |
| | 香 | | 桂 | 金 | 香 | | 王 | | 五 |
| 歩 | 歩 | 銀 | 金 | 香 | 香 | | | | 六 |
| 香 | 銀 | 香 | 角 | 歩 | 桂 | | | | 七 |
| | | 皇 | 角 | | | | | | 八 |
| | 歩 | 歩 | | 桂 | 歩 | | 香 | | 九 |

持駒 なし

■ 149-10 変寝夢氏作

協力白玉詰 17手

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|--|--|--|---|---|---|
| | | | | | | | | | ● | 偶 | 一 |
| | | | | | | | | | | 偶 | 二 |
| | | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 蟹 | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | Q | | 八 |
| ● | | | | | | | | | | | 九 |
| 王 | | | | | | | | | | | |

攻方持駒 香6

受方持駒 なし

※Q:Queen、偶:Dummy王

●:着手不可・不透過

■ 149-11 くろねこ氏作

協力白玉詰 34手

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 皇 | | 二 |
| | | | | | | 王 | 皇 | | | | 三 |
| | | | | 皇 | 香 | 王 | と | | | | 四 |
| | 皇 | 皇 | | | 皇 | | 皇 | 皇 | | | 五 |
| | | | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | 歩 | 王 | | 歩 | | | 七 |
| | | | | 歩 | | 歩 | | | | | 八 |
| | | | | | | | 桂 | 桂 | | | 九 |

攻方持駒 飛

受方持駒 歩12

■ 149-12 さつき氏作

衝立詰 19手

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | | 八 |
| | 王 | | | | | | | | | | 九 |
| | | | 飛 | | | | | | | | |

持駒 金銀4香

※反則(チョンボ) 上限:9回

今月の手筋

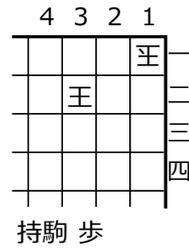


(※解答は P99 に掲載)

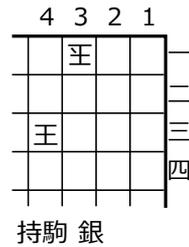
本コーナーへの投稿を募ります。
 「例図」及び「手筋の名称」「意味」「解答」(できればカードの他の項目も) 記述して担当者までお送りください。
 「手筋の名称」は既存のものがなければ、造語でも結構です。
 また、例図は紹介する手筋以外の要素を極力排し、「教材」に徹してくださるようお願いします。

[駒全マネ取禁：例題集] 一乗谷醉象氏作

(1) 駒全マネ取禁協力詰 3手

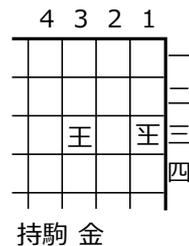


(2) 駒全マネ取禁協力詰 3手



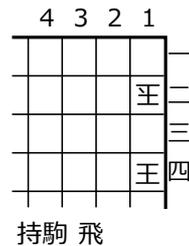
(※全体を左に一路ずらして修正)

(3) 駒全マネ取禁協力詰 3手



(※全体を三段目にずらして修正)

(4) 駒全マネ取禁協力詰 3手



(※24 王→14 王として修正)

(解答は P44 に記載)

Fairy of the Forest #73 出題

■ 2022年12月20日:課題発表:(協力詰)

「新年に関連した作品」

■ 2023年02月15日:投稿締切

■ 2023年02月20日:出題

□ 2023年03月15日:解答締切

□ 2023年03月20日:結果発表

■ 出題

今回の出題は、中編ばかり4作です。「新年に関連した」ということですが、どう関連しているかはお考えください。

一応ヒントを言っておきますと、01と04は詰上りです。ただし、01は分かりにくいかも。02と03は言わずもがなですね。この両作は、姉妹作です。

お屠蘇気分も薄れた時期での出題になりましたが、ご解答をよろしく。

(解答先)

→酒井博久(sakai8kyuu@hotmail.com)

■ 73-01 たくぼん

協力詰 19手

| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | 銀 | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | 王 | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | | 糸 | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | 銀 | | | | | | |

持駒 なし

■ 73-02 北村太路 協力詰 23手

協力詰 23手

| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | 桂 | | | | | |
| 四 | | | ス | | 桂 | | 銀 | | | |
| 五 | | 糸 | | | | と | | | 歩 | |
| 六 | | 歩 | | | | | | 糸 | 王 | |
| 七 | | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 銀 | | |
| 八 | 歩 | | 香 | | | | | | 銀 | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 飛

■ 72-03 北村太路

協力詰 23手

| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 一 | 銀 | | | | | | | | | |
| 二 | 銀 | | 皇 | 糸 | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | 皇 | | | | | | | | |
| 五 | | | 桂 | | | | | | | |
| 六 | 歩 | | | 銀 | | | | | | |
| 七 | | 歩 | | | 香 | 銀 | 歩 | 銀 | 香 | |
| 八 | | | | | 金 | | | 王 | | |
| 九 | | | | 歩 | | | 銀 | | 角 | |

持駒 角歩3

■ 72-04 三角 淳

協力詰 33手

| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 一 | と | と | | | | | | | | |
| 二 | | と | 香 | | | | | | | |
| 三 | と | | 歩 | と | | | | | | |
| 四 | | と | 銀 | | 角 | | | | | |
| 五 | | と | 桂 | | | | | | | |
| 六 | | と | | | | | | | | |
| 七 | 桂 | と | ス | | | | | | | |
| 八 | | | ス | 桂 | | | | | | |
| 九 | 桂 | 王 | ス | | | | | | | |

持駒 なし

(補足)

- 1) 悪魔詰と異なり不詰は避ける
- 2) 手順中に同一局面があってはならない
(初形を含む)

以下は駒全マネ取禁と組合せたときの注意点

※受方の詰みを逃れる手で同一局面を強いられる場合は手順失敗

※(駒全マネ取禁ルールでは直前の着手により、可能着手が変化するが) 盤面配置、持駒、手番が同じであれば同一局面と見做す。

【解答】

27 王 18 玉 17 王 27 玉 18 王 38 玉
 27 王 37 玉 38 王 27 玉 37 王 38 玉
 47 王 27 玉 38 王 18 玉 27 王 17 玉
 18 王 27 玉 17 王 37 玉 27 王 38 玉
 37 王 39 玉 38 王 まで 27 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | 香 | 王 | 桂 | | 八 |
| | | | | | 王 | 王 | 王 | | 九 |

持駒 なし

(余詰)

27 王 18 玉 17 王 27 玉 18 王 37 玉
 27 王 38 玉 37 王 27 玉 38 王 18 玉
 27 王 17 玉 18 王 27 玉 17 王 38 玉
 27 王 37 玉 38 王 27 玉 37 王 38 玉
 47 王 39 玉 38 王 まで 27 手

【作者のコメント】

駒全マネ取禁ルールの性質を使った玉追い。ほぼ玉による単騎詰。

【解説】

玉だけが動く詰将棋。駒全マネ取禁なので、玉の隣を玉がすり抜けることができます。

玉で玉を仕留めるとなると、詰上りの受方玉の位置は 19・39 のどちらかです。

これが協力詰なら「27 王 18 玉 17 王 19 玉 18 王 まで 5 手」です。19 玉はどこに動いても駒を取る手になるので動けません。

しかし本局は天使詰です。なるべく長い詰手順を選ばねばなりません。初形で受方玉が 1 筋にあることから、39 での詰上がりが最有力です。

実際に最長経路を選択するに当たって注意すべきは「手番」です。盤上の配置が同じでも、手番が異なれば異なる局面なので、形だけでなく手番も利用して手数延ばしを図ります。

もう一つ留意すべきは、互いの玉の可動範囲の違い。受方玉が動ける場所は 17・18・19・27・37・38・39 の 7 箇所ですが、攻方玉は 47 にも動けます。「47 王」をどこで指すかが重要なポイントです。

実はここで余詰がありました。

作意では 6 手目 38 玉として 13 手目に 47 王を行うのですが、6 手目 37 玉として 47 王を最後の方(25 手目)に回す別解が成立しています。47 王は折り返しに便利な手なので、これを最後に使う手順は盲点に入り易かったのだでしょう。

作者からは以下の修正・改作図が寄せられています。原図とは作意が変わっており、手数も長くなっています。

〔修正・改作図〕

駒全マネ取禁天使詰 31手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | 歩 | 歩 | 歩 | 六 |
| | | | | | 歩 | 王 | | 王 | 七 |
| | | | | | | | 桂 | | 八 |
| | | | | | 香 | 香 | | | 九 |

持駒 なし

こちらも解答は本稿末尾に記載しますので、解答を見る前にご一考ください。

【短評】

たくぼんさん (※余詰解)

着手が玉だけという珍しい作品ですね。

るかなんさん (※双方解)

付かず離れずで手を引き伸ばす。

2 周目は裏拍から。

☆るかなん氏は余詰順の解答ですが、6 手目 38 玉の解の存在も言及されていました。作意・余詰の双方解です。

真工さん (※余詰解)

19 で詰むと思ひ込み苦戦。

玉同士のぶつかり稽古。

伊達悠さん (※余詰解)

今同じ局面なのかそうでないのかがわからなくなつて混乱。

エクセルで同一局面チェッカーを作って、何とか解けたはず。でも不安。

■ 147-3 駒井めい氏作 (正解 8 名)

Lortap 協力詰 5 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 糸 | 三 |
| | | | | | | | | | 王 | 四 |
| | | | | | | 糸 | 香 | 銀 | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 飛 | 七 |
| | | | | | | 馬 | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 継 | 九 |

持駒 なし

【ルール】

・ Lortap

味方の駒の利きで紐が付いている駒は、敵の駒を取ることができない。この条件は王手にも適用され、玉を取れない場合は王手とみなさない。

【解答】

24 銀 16 桂 15 銀 28 桂成 37 飛 まで 5 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 糸 | 三 |
| | | | | | | | | | 王 | 四 |
| | | | | | | | 糸 | 香 | 銀 | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | 飛 | | | 七 |
| | | | | | | 馬 | | 手 | | 八 |
| | | | | | | | | | 継 | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

Lortap の合駒動かし。

受方は攻方飛の利きを遮るために打った合駒を、攻方飛の利きを通すために動かします。初形から受方圭を出現させて受方飛に紐を付けることで、最終形で受方飛が攻方銀を取る手が消えます。

【解説】

孤立を推奨するルール Lortap。

この初形、15 銀で王手は掛かっていません。17 飛が 15 銀に紐を付けているので、王手は無効化されています。一方、14 玉には 13 歩が利いているので、玉では駒を取れず、「ほぼ詰み」の状態です。15 銀の王手さえ有効化できれば詰みそうに見えますね。

なお、15 には角も利いています。従って飛の利きを外しつつ、48 角の利きを遮る一石二鳥の初手 37 飛が浮かびます。

しかし、17 飛が動くと今度は 19 飛が守備に利いてきます。48 角と 19 飛、両方の守備をかくぐる方法はあるのでしょうか？

それを実現するマジックが、本局の 4 手。銀の開き王手で桂合を発生させれば、17 飛の利きが消えるので、15 銀と戻す手が王手になります。受方は王手を防ぐため、合駒の桂を動かして再び 17 飛の利きを解放します。

この局面を初形と比べるといつの間にか盤上に 28 圭が発生しています。19 飛に紐が付いたので 15 銀を取れません。今度こそ、37 飛が決め手になります。

Lortap は最近流行し始めたルールですが、「第

1回 Lortap 入門作品展」でも見られた通り、独特の感覚と面白い手筋が眠っているように思います。本局や、後に出でくる **147-10** で、このルールが持つポテンシャルを感じてください。

【短評】

たくぼんさん

16 桂合、同飛、15 角、26 桂を読んでいて 26 桂が王手ではないことに気付いたが、その時、盤面 16 桂から 28 桂成に気付きました。

変寝夢さん (※無解)

2 手目が盲点。
2 7 飛、2 3 玉ばかり追っていた。

荻原和彦さん

あら不思議、盤面に忽然と成桂が出現。
易しくて楽しい小品。

るかなんさん

初期局面でほぼ詰んでいるので、局面を変えすぎない方が都合がいいと気づけば解けたようなもの。

占魚亭さん

受方飛に紐をつける手続き。

真工さん

銀を動いているうちに気づいたら成桂が発生。最終手を含め、いい感じ。

伊達悠さん

同作者の WFP 作品展 142-3 を彷彿とさせる手順。駒井さんといえば、まず桂馬を使うことを考えるべきかもしれませんね。

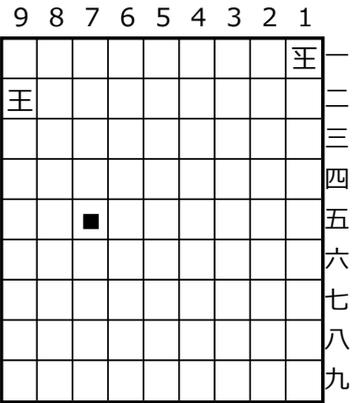
一乗谷酔象さん

紐付け、紐外しの妙。



■ 147-4 占魚亭氏作『虚空に消える』
(正解 a) 3 名、b) 4 名)

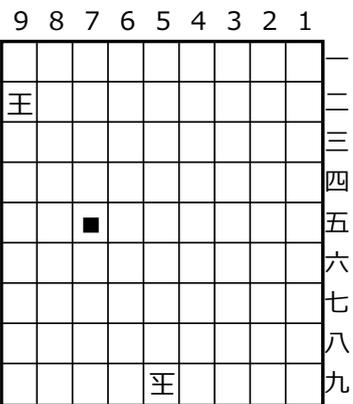
a) 協力自玉スタイルメイト 6 手



持駒 夜

※ ■: Imitator、夜: Nightrider

b) 協力自玉スタイルメイト 6 手



持駒 夜

※ ■: Imitator、夜: Nightrider

【ルール】

• Imitator (■または I)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

(補足)

- 駒を打ったときは動かない。
- Imitator は元の駒と同時に動く
- Imitator は攻方・受方のどちらにも所属しない
- 利きの概念を持たず、性能変化ルールでも性能変化の対象にならない

• スタイルメイト

王手は掛かっているが合法手のない状態にする。

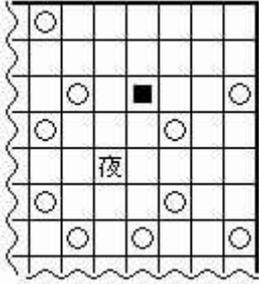
・協力自玉スタイルメイト

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

・NightRider (夜)

フェアリーチェスの NightRider。

ナイトの利きの方向に連続飛びができる。

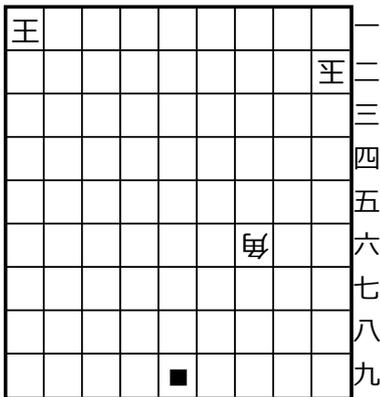


(○がナイトライダーの利き。■に駒があるとそこから先には利かない。)

【解答】

a) 74 夜 12 玉 [I76] 36 夜 [I38] 14 角
91 王 [I37] 36 角 [I59] まで 6 手
(最終形)

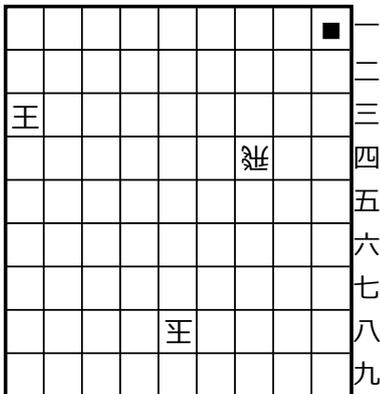
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

b) 97 夜 58 玉 [I74] 34 夜 [I11] 35 飛
93 王 [I12] 34 飛 [I11] まで 6 手
(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

【作者のコメント】

期末なので、Imitator+Nightrider シリーズから難しめのものをどうぞ (久々にヒントを兼ねたタイトルをつけました)。

原図は2解でしたが気に入らない箇所があったので処遇保留フォルダに入れていました。夏に「実験室の悲劇」のネタにしようと思直した時にツインにできないかと思い色々試した末、この形になりました。完璧とは言えないですが、原図よりは良くなったかなと思っています。

【解説】

『虚空に消える』。

占魚亭氏には珍しく命名のある本局。消える駒は何か？ 消える場所はどこか？ まずはその推測から始めましょう。

消える駒の推定は容易ですね。目標がスタイルメイトなので、持駒の Nightrider (夜) を消すことはほぼ確定。夜を消さずに動きを止めるのは困難です。

消える場所のヒントは「虚空」という言葉。おそらく盤端以外で消えるのでしょう。

夜を取る駒は？ 玉で夜を取れるとは考えにくいので、合駒か Imitator に対する壁駒を発生させ、その駒で取ることになるでしょう。王手の継続には合駒より壁駒の方が向いています。合駒だと夜を動かすしかありませんが、壁駒なら攻方玉を動かしても王手ができます。スタイルメイトを達成するには、発生させる駒は大駒が有力です。手順の選択基準は攻方玉が盤端を離れず、Imitator を盤端に運べること。ここまで方針を定めれば後はひたすら探索です。

根性で手を読むと a)では角、b)では飛が登場し、虚空で夜を消す作意順が浮かび上がります。いずれも合駒ではなく、Imitator に対する壁駒ですが、驚くべきはそれを発生させるタイミング。2 手目にすぐ壁駒を打たず、玉移動に手を費やすのは、かなり勇気が要ると思います。

本局は難解なので、出題時は正解者が出るかどうか危惧していたのですが、実際には複数の正答が寄せられ、まったくの杞憂となりました。皆さんお強い！

【短評】

たくぼんさん

飛と角のツインで同様の流れの手順なので気持ち良いですね。

変寝夢さん (※無解)

後手玉の位置変更だけで、手順がこんなにも違うなんて。

るかなんさん

格言通り 91 玉 119 に近づけようと考えていたら、別の位置でタイトル通り忽然と姿を消しました。

伊達悠さん (※b)のみ解答)

Nightrider に慣れていないのもあって、局面把握からまず困難。

Imitator が盤隅に行ってくれること 1 点読みをすることで、何とか b は解けました。

a は多分角が出てくるのですが、残念ながらギブアップです。

■ 147-5 神無太郎氏作 (正解 4 名)

点鏡協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 王 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 桂4
受方持駒 残り全部 + Q4
※Q:Queen

【ルール】

・点鏡

55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

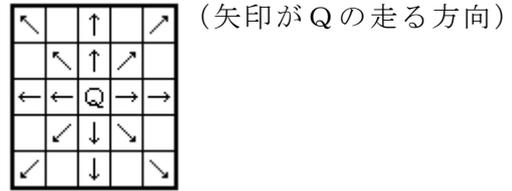
(補足)

・行き所のない駒の禁則は適用されない

・Queen (Q)

チェスの Queen。

飛車と角を合わせた性能を持つ。



【解答】

19 桂 91Q 39 桂打 26 玉 18 桂打 92 角
38 桂 17 玉 29 桂引 まで 9 手

(詰上り)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| 王 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 一 |
| 桂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 王 | 七 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 桂 | | | 八 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 桂 | 桂 | 桂 | 九 |

持駒 なし

【解説】

147-1 に引続き四桂詰の登場。何と“両王手で詰む”四桂詰です。

受方持駒に Queen (Q) が追加されていることから、4 枚の桂のうち少なくとも 1 枚は Q に変えることが予想されますが、難しいのはこれをどう使うか。複数の Q を使おうなどと考えると間違いなく迷宮入りです。

もし受方持駒に追加されたのが「龍」ならば、1 枚を龍に変え、もう 1 枚を角に変えてバッテリーを作る発想は比較的浮かびやすいと思いますが、Q が強力なだけに、その利きを止める手順は盲点になり易いでしょう。

解図を困難にするもう一つの要素は最終手の「桂引」。桂を前に跳ぶ両王手には慣れている解答者も、桂が後ろに下がる両王手は見たことがないと思います。

本局は元々「奇妙な棋譜表記」をお題とした「第 57 回神無一族の氾濫」への投稿作でした。最終手を単に「29 桂」とすると 19 桂が動いたのか 18 桂が動いたのか分からないので、「29 桂引」という通常ではお目にかかれぬ表記が必

要となるわけです。本局の場合、棋譜表記だけでなく、着手自体も奇妙なので、難易度を考慮して WFP 作品展に回して貰いました。解答成績を見ると予想通りの難解作だったようです。

付け加えると、桂移動による王手と区別するため3手目・5手目には「打」が必要になります。通常は八段目や九段目で「桂打」という表記が出てくることはないのですが、これらも「奇妙な棋譜表記」です。奇妙な表記を要する奇妙な着手が紡ぎ出す奇妙な四桂詰。性能変化ルールの面白さを満喫できる一局です。

【短評】

たくぼんさん

桂を引いての両王手あまり見ない筋なので気付き難かったです。

変寝夢さん（※無解）

最終手、両王手だったのか……。

るかなんさん

19桂 27桂 17玉 91Qの形が浮かんで少し前進。(83Qでは王手を解除できないが、18合で受かる) 頭の丸い駒をもう1枚出してくる必要があったわけですね。四桂余り無しの綺麗な詰上。

占魚亭さん

派手な展開になるかと思いきや、意外にも地味な展開だった。

伊達悠さん

最終手が桂ちになるのは多分あり得ないと気付けば、そこからは決して難解すぎず。最後の両王手が決まるのがQであるからこそというのも、まるで図ったかのようなQシリーズですね。



■ 147-6 上田吉一氏作（正解4名）

成禁協力自玉詰 1334手

| | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | | | | | | | | | |
| 王 | 銀 | | | | | | 馬 | | |
| 67 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | 飛 | と | と | |
| | 弓 | | | | | | | 歩 | |
| | 弓 | 弓 | | | | | | 王 | |
| | | 弓 | 弓 | 弓 | 馬 | | | | |
| | | | | | 金 | 桂 | 龍 | | |

攻方持駒 なし
 受方持駒 なし
 ※龍:不滅龍、角:不滅角、
 臣:不滅(0,1)-Leaper、
 67:(6,7)-Leaper

【ルール】

- 成禁
 手順中に成る手があってはならない。
 (補足)
 ・あくまで手順中に「成」が出ないだけ。
 「詰」や「王手」の概念は通常通り。
- 協力自玉詰
 先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。
- 不滅駒
 取られることのない駒。
 この性質を「不滅性」と呼び、不滅性を与えられた駒を「不滅」+「駒名」で呼称する。
 (補足)
 特に注釈がない場合、以下の細則を適用する。
 1)成っても不滅性を失わない
 2)初形では不滅駒を持駒にできる
- Wazir, Vizier (臣)
 (1,0)-leaper。縦横1マスに利く駒。
 (○が臣の利き)

| | | | | |
|--|---|---|---|--|
| | | | | |
| | | ○ | | |
| | ○ | 臣 | ○ | |
| | | ○ | | |
| | | | | |

同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 29 龍 17 玉 37 飛 同臣引 26 龍 18 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 88 飛 同角
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 78 飛 同臣
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 68 飛 同臣上
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 58 飛 同臣上
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 48 飛 同臣上
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 38 飛 同臣上
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 29 龍 17 玉
 77 飛 同角 26 龍 18 玉 17 龍 29 玉
 26 龍 27 飛 同龍 19 玉 17 龍 29 玉
 26 龍 18 玉 29 龍 17 玉 67 飛 同臣
 26 龍 18 玉 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 29 龍 17 玉 57 飛 同臣引 26 龍 18 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 29 龍 17 玉
 47 飛 同臣引 26 龍 18 玉 17 龍 29 玉
 26 龍 27 飛 同龍 19 玉 17 龍 29 玉
 26 龍 18 玉 29 龍 17 玉 37 飛 同臣引
 26 龍 18 玉 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 68 飛 同角 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 58 飛 同臣 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 48 飛 同臣上 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 38 飛 同臣上 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 29 龍 17 玉 57 飛 同角 26 龍 18 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 29 龍 17 玉
 47 飛 同臣 26 龍 18 玉 17 龍 29 玉
 26 龍 27 飛 同龍 19 玉 17 龍 29 玉
 26 龍 18 玉 29 龍 17 玉 37 飛 同臣引
 26 龍 18 玉 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉
 48 飛 同角 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 19 玉 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉

38 飛 同臣 17 龍 29 玉 26 龍 27 飛
 同龍 28 臣 38 龍 18 玉 29 龍 17 玉
 37 飛 同角 まで 1334 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|
| 王 | 銀 | | | | | | | | | 一 |
| 67 | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | と | と | 五 |
| | | | | | | | | | 歩 | 六 |
| | 臣 | | 臣 | | 臣 | 臣 | | | 王 | 七 |
| 臣 | 臣 | 臣 | | | | 臣 | | | | 八 |
| | | | | 金 | 桂 | 龍 | | | | 九 |

攻方持駒 なし
 受方持駒 飛

【解説】

不滅駒を使った再帰的趣向を柱に、遠ざかる角と近づく角の対照的な動きを絡ませた千手越えの大作。

まずは全体の構造と構成要素について説明しましょう。攻方玉を詰めるのは 31 に居る不滅角（以下は単に角と表記）。これを 37 まで誘導できれば目的達成です。

しかし、その道筋を大量の不滅 Visir（以下は臣と表記）と 38 角が阻んでいます。これらの駒は盤上から消えることはないの、位置を変えて 31 角を通すしかありません。

位置の変更には初形で 45 にいる飛を使います。飛は不滅駒ではないので、持駒にすることが可能です。また、飛を捨てても不滅龍（以下単に龍と表記）を上手く使えば合駒で取り戻すことが可能なので、飛を捨てて臣や角の位置を変える手順は何度でも繰り返すことができます。

受方玉は 17・18・19・29 の 4 マスに閉じ込められ、そこから出ることができません。従って飛による王手は左辺からしかできません。そのため、臣を近付けることはできても、遠ざけることはできません。臣は基本的に上下にだけ動き、必要な場合のみ、適切なタイミングで横に動くよう注意しないとイケないのです。

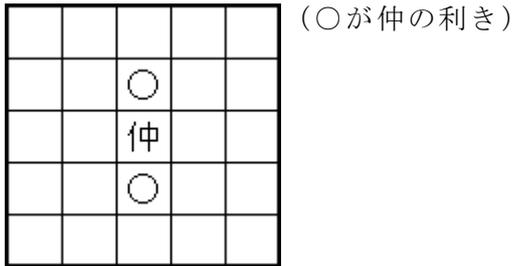
次に位置の変更の仕方を考えます。

まずは 38 角を邪魔にならない位置、98 に退避させねばなりません。しかし、角の通り道を空けるには臣の「整列」が必要です。ここで再帰的な手順が現れます。

本局の再帰手順がどのような特徴を持っているか、簡易化のため臣より利きが簡単な中将棋の「仲人」を使って説明します。

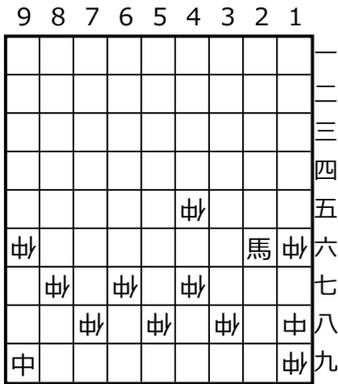
【仲人】(仲)

中将棋の仲人。前後に 1 マス動く。
本来の仲人と異なり成ることはできない。



〔参考図〕 仲人の整列問題

協力自玉詰 232手



攻方持駒 なし
受方持駒 飛
※仲:不滅仲人
中:仲人玉

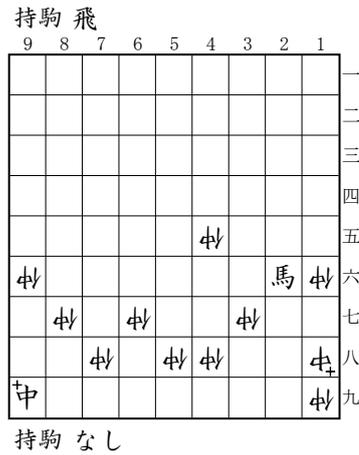
この図の目標は 9 筋の仲人を 98 に移動して、99 の仲人王を詰ますことです。そのためにジグザグに並んだ仲人を同じ段に整列させる必要があります。

整列の手順には「ある筋の仲人の段を変えるには、それより右の仲人が別の段に整列していなければならない」という原理が働きます。

まずは 4 筋の仲人を七段目から八段目に移してみましょう。以下の手順です。

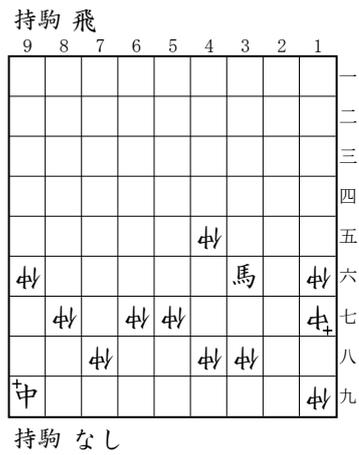
36 馬 17 中 35 馬 26 飛 同馬 18 中
36 馬 17 中 **37 飛 同仲** 35 馬 26 飛
同馬 18 中 **48 飛 同仲**

(16 手目)



5 筋の仲人を七段目に移すには同じ要領で「38 飛 同仲」で 4 筋より右の仲人を八段目に整列させ、「57 飛 同仲」とすれば良いわけです。手順は省略して局面のみご覧いただきます。

(34 手目)



以下、同じ要領で整列を進めていきます。

- 3・4 筋の 2 枚の仲人を七段目に整列させ、6 筋の仲人を八段目に移す。
- 3～5 筋の 3 枚の仲人を八段目に整列させ、7 筋の仲人を七段目に移す。
- 3～6 筋の 4 枚の仲人を七段目に整列させ、8 筋の仲人を八段目に移す。
- 3～7 筋の 5 枚の仲人を八段目に整列させ、9 筋の仲人を七段目に移す。
- 3～8 筋の 6 枚の仲人を七段目に整列させ、9 筋の仲人を八段目に移す。

このような規則的な手順を経て、以下の詰上りに到達します。

これで角を 58 に移すことができます。

次は 5 筋に角を移動させたいのですが、5 筋から先にも角を移動させる必要があることを忘れてはいけません。あらかじめ、67 臣を 68 に移しておきます。

(88 手目)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | と | と | 五 |
| | | | | 龍 | 歩 | 六 |
| | 引 | 引 | 引 | | | 七 |
| 引 | | | | | 玉 | 八 |
| | | 金 | 桂 | | | 九 |

ようやく 58 に角を移すことができます。

(100 手目)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | と | と | 五 |
| | | | | 龍 | 歩 | 六 |
| | 引 | | 引 | | | 七 |
| 引 | 引 | | | | 玉 | 八 |
| | | 金 | 桂 | | | 九 |

角の移動を続けるには七段目に残った臣を八段目に移す必要があります。37 臣を 38 に、57 臣を 48 に移動させるのですが、ここだけに出現する破調が存在します。

これまで臣や角の移動は飛を取らせて行って来ました。ただ、この場合に限っては捨駒ではなく移動合で 37 臣を動かし、飛の捨駒を 1 回省略することができます。具体的には以下の通りです。

17 龍 29 玉 26 龍 27 飛 同龍 19 玉
 17 龍 29 玉 26 龍 18 玉 **48 飛 38 臣**
 29 龍 17 玉 **47 飛 同臣** 26 龍 18 玉

(118 手目)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | と | と | 五 |
| | | | | 龍 | 歩 | 六 |
| | | 引 | | | | 七 |
| 引 | 引 | | 引 | | 玉 | 八 |
| | | 金 | 桂 | | | 九 |

この破調は意図的なものではなく、自然に生じたものです(むしろこれを防いで規則性を保つ方が難しい)。

以下は「38 臣→37」「47 臣→48」「37 臣→38」の 3 ステップで 3・4 筋の臣を八段目に整列して角を 6 筋から先へ移していきます。

以下は同様の手順を経て角を 98 に運ぶわけですが、整列すべき臣の枚数が増えていくので、移動に掛かる手数は次第に増えていきます。

角が 98 に到達したときには、既に 710 手が経過しています。3 筋から 7 筋まで整列した臣は、なかなか壮観ですね。

(710 手目)

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | と | と | 五 |
| | 引 | | | | | 龍 | 歩 | 六 |
| | | 引 | 引 | 引 | 引 | | | 七 |
| 引 | | | | | | | 玉 | 八 |
| | | | | 金 | 桂 | | | 九 |

3 筋の角を 9 筋に移動させたら、それで終わりではありません。邪魔な 38 角を邪魔にならない 98 に退避させただけです。

まずは 3～7 筋の臣を八段目に移し、86 臣を 87 に移動。3～7 筋の臣を七段目に移し、87 臣を 88 に移動。再び 3～7 筋の臣を八段目に移したら、31 角を 97 に移すことができます。

(954 手目)

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | と | と | 五 |
| | | | | | | 龍 | 歩 | 六 |
| 引 | | | | | | | | 七 |
| 引 | 引 | 引 | 引 | 引 | 引 | | 玉 | 八 |
| | | | | 金 | 桂 | | | 九 |

ここから次のような規則的な手順で 97 角を右辺に運びます。

- 3～8 筋の 6 枚の臣を七段目に整列させ、97 角を 88 に移す。
- 3～7 筋の 5 枚の臣を八段目に整列させ、88 角を 77 に移す。
- 3～6 筋の 4 枚の臣を七段目に整列させ、77 角を 68 に移す。
- 3～5 筋の 3 枚の臣を八段目に整列させ、68 角を 57 に移す。
- 3・4 筋の 2 枚の臣を七段目に整列させ、57 角を 48 に移す。

最後は「3筋の臣を八段目に移し、48角を37に移す」であり、この時点で攻方玉は詰みなのですが、ここで小さな破調があります。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | と | と | 五 |
| | | | | | | 龍 | 歩 | 六 |
| | 引 | 引 | 引 | | | | | 七 |
| 馬 | 引 | 引 | 馬 | 引 | | | 王 | 八 |
| | | | | 金 | 桂 | | | 九 |

17龍 29玉 26龍 27飛 同龍 **28臣**
 38龍 18玉 29龍 17玉 37飛 同角
 まで 1334手

1328手目 28臣の移動合が見落としやすい手。
 92に居る攻方67跳が28に利いているので、
 受方玉がこの地点に入ることはできませんが、
 他の駒は出入り自由です。これまで通り 19玉
 とすると、2手余分に掛かります。手順の途中
 で 28臣としてしまうと、合駒で飛を入手でき
 ずに困ってしまいますが、収束ならば後のこと
 を考える必要はありません。これは見落としや
 すい破調で、実際にここで躓いた解答もありま
 した。

この最後の罨を避けることができれば、解図
 は完了。大変な長丁場でしたが、37同角とした
 形で、遠く 91王を睨んで詰みとなります。

詰上りを見ると、整列したはずの臣が、角を
 通すために再びジグザグの配置に戻っています。
 もしこの作品で使われている機構の応用を考え
 るなら、これが何かのヒントになるかもしれま
 せんね。

最後に、本局の作者ご自身の投稿原稿をご覧
 いただきます。長手数で作意が上手く要約さ
 れており、大変見やすい原稿です。レイアウト
 の関係でやや小さめの画像になってしまいま
 すが、閲覧ソフトで適宜拡大してご覧ください。

バ自キ 1334手 成禁

26龍、27飛合、同龍、19玉、17龍、29玉、
 26龍、18玉、48龍、38玉、2A同、
 A同から、29龍、17玉、47飛、同V、
 26龍、18玉、17龍、29玉、
 (37飛、同V引)、(48龍、同V)、
 (38飛、同V上)、(47飛、同V引)、
 (67飛、同角)、(47飛、同V)、
 (37飛、同V引)、(58飛、同V)、
 (48龍、同V上)、(38飛、同V上)、
 (57飛、同V)、(47飛、同V引)、
 (37飛、同V引)、(48龍、同V)、
 (78飛、同角)、(58飛、同V)、
 (48龍、同V上)、(38飛、同V上)、
 (67飛、同V)、(57飛、同V引)、
 (47飛、同V引)、(37飛、同V引)、
 (48龍、同V)、(58飛、同V上)、
 (48龍、同V上)、(38飛、同V上)、
 (47飛、同角)、(47飛、同V)、
 (57飛、同V引)、(57飛、同V引)、
 (58飛、同角)、

B 図、 C 図

B 図から、(47飛、同V引)、(47飛、同V引)、
 (37飛、同V引)、(78飛、同V)、
 (68飛、同V上)、(58飛、同V上)、
 (48龍、同V上)、(38飛、同V上)、
 (77飛、同V)、(47飛、同V引)、
 (57飛、同V引)、(47飛、同V引)、
 (37飛、同V引)、(48龍、同角)、
 (78飛、同V)、(68飛、同V上)、
 (58飛、同V上)、(48龍、同V上)、
 (38飛、同V上)、(37飛、同V)、
 (77飛、同V引)、(67飛、同V引)、
 (57飛、同V引)、(47飛、同V引)、
 (37飛、同V引)、(58飛、同V)、
 (48龍、同V上)、(68飛、同V上)、
 (58飛、同V上)、(48龍、同V上)、
 (38飛、同V上)、(47飛、同角)、
 (57飛、同V引)、(47飛、同V引)、
 (48龍、同角)、(58飛、同V)、
 26龍、27飛合、同龍、28V、
 38龍、18玉、29龍、17玉、37飛、同角、
 まで

【短評】

変寝夢さん

上田さんの超大作です。解けなかった人も鑑賞室で並べてみて下さい。絶対に損することはありません。

たくぼんさん

見慣れぬ駒に長手数にビビりましたが分かりやすい趣向機構で楽しく解図できました。いろいろなフェアリー駒を使って構築される機構はただただ素晴らしいの一言です。ただ収束の所でしばし考えました。

るかなんさん (※1346 手解)

メ切間近まで詰上図の一端すら見えていなかったの、鑑賞まで行けて一息。斜めに利かない駒が斜めにしか利かない駒の経路を浮かび上がらせる最終形が味わい深い。

真Tさん (※無解)

趣向は分かったものの、手数が縮められず、残念。趣向は斜めにしか動けない角と縦横しか動けない臣の入替を楽しめました。

伊達悠さん (※1336 手解)

駒繰りを理解するのは決して難しくはない。が、思ってもみないところにある手数短縮の鍵。結果的に想定手数と違っているから、何かしら見逃している鍵があるはずだが、その1ピースとは……？

一乗谷酔象さん

大がかりな仕掛けのある倉庫番。スペースを確保するために 38 角を 98 まで大移動。解けたと思ったら 12 手ほど長い。序と収束にちょっと破調があって序 10 手と収束 2 手の短縮で解決。



■ 147-7 伊達悠氏作 (正解 6 名) と玉多玉協力自玉詰 9手(受先)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--|--|--|---|
| | | | | 王 | | | | | 一 |
| | | | 飛 | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | 角 | 継 | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩2

【ルール】

- と X
成歩が X で指定された駒の性能になる。(補足)
1) 成った歩を更に成ることはできない
2) 取られて持駒になると歩に戻る
- 多玉詰
攻方または受方が複数の玉を使用できる。どの玉に対しても王手放置は禁手。王手を外せなければ詰み。(補足)
・ここでは玉属性 (相手からの取りを回避する義務) を持つ駒を単に玉と呼称。
・「使用する」ではなく「使用できる」としたのは、実際に玉が複数にならなくとも良いという意味。逆に言えば、玉と玉になり得る駒が複数あれば、実際の手順で複数の玉が現れなくとも「多玉詰」とする。
・「攻方または受方が」は「双玉」と区別するために付けた語句。
- 受先
受方から指し始める。

【解答】

53 金 52 歩 42 玉 43 歩 32 玉 51 歩成
21 玉 42 歩成 43 金 まで 9 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|--|--|---|---|
| | | | | と | | | 王 | 一 |
| | | 飛 | | と | | | | 二 |
| | | | | 雫 | | | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | 角 | 継 | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

ロイヤル属性を付与した攻方駒を複数作る自玉協力詰。

複数玉の中では最小の2玉、かつ2玉を作って詰ませる最小手数を目指しました。(攻方の手は歩打→歩打→歩成→歩成で、それ以外の手は入らない)

最終手の両王手は、途中でロイヤル属性が付与されるからこそできる構図だったので、まだまだと玉の可能性を感じられる創作体験になりました。

と玉1枚だけでは詰まなさそうだと見切ることができれば、論理的に手順を組み立てることはできるかと思います。

が、そこに至るまでの謎解きをどれだけ看破してもらえるかが楽しみでもあり、ちょっと怖いところでもあり……。

【解説】

盤上に攻方玉がない協力自玉詰。

「最後の1ピース」でも「透明駒」でもありません。攻方玉は手順の中で作るのです。

玉の素となるのは持駒の歩。「と玉」ルールにより、歩を成れば玉になるので、これが詰める対象になります。受方持駒も含めれば歩は合計18枚あるので、手数に余裕があれば攻方玉も18枚まで作れますが、本局は9手。持駒の歩2枚を成るのに8手を要し、攻方が可能な全着手を使い果たしてしまいます。

ここで「それが作意なのでは？」と気づいた方は、自分の鋭い勘を誇って良いと思います。

そう、作者の狙いは最短で玉を0枚から2枚に増やすことだったのです。

攻方の着手を制限している分、考え所は受方の着手に与えられています。それが「受先」の設定です。

自由度の高い初手を何に使うかは悩ましいところですが、「多玉」らしい手筋を狙えば答えに辿り着きやすいでしょう。「開き王手で複数の玉に同時に王手を掛ける」という手筋です。

本局の受先の初手は53金。これは51歩成のときに55飛の利きを遮りつつ、最終手43金の開き王手に備えています。初手で打った駒が最後に動くという見事な演出です。

この最終手を何と呼ぶかは悩ましいところですが、一乗谷酔象氏の短評にある「両取り両王手」が筆者には一番しっくり来ました。「両取り」＝「2枚の駒に取りを掛ける」、「両王手」＝「2枚の駒で王手を掛ける」なので、両方の性質を持つ本局の最終手は「両取り両王手」という言葉がピッタリだと思います。

【短評】

たくぼんさん

8手で筋を読んで最後に53金を足しました。素直な順でよかった。

るかなんさん

見た瞬間これは解かなくては、と初日からかかりました。

最短経路で無玉を多玉に。こんなシンプルに作れるものとは。

この図とは直接関係はありませんが、「多玉ルールで単玉の側が詰まされる」という図式は前例があるのでしょうか？

☆本誌では第62回WFP作品展特別出題(soga氏作WFP62-sp1、WFP62-sp2)の例があります。「詰将棋コンピュータ」の原理図です。結果稿はWFP72号に収録されているのでご一読ください。

占魚亭さん

両取りを実現させるために何を出すか。

1手パスして考えると分かりやすかった。

真Tさん

なぜ攻方は歩を2枚も持っているのだろう。

攻方の指し手は4回。と思った瞬間にひらめきました。初形にない玉の両王手の詰上がりがいいですね。

一乗谷酔象さん

不思議な両取り両王手。

■ 147-8 springs 氏作 (正解4名)

禁欲協力自玉ステイルメイト 48手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|
| | | | | | | | 馬 | 金 | 一 |
| | | | | | | | 継 | 科 | 王 |
| | | | | | | | 糸 | 糸 | 三 |
| | | | | | | | 継 | 馬 | 四 |
| | | | | | | | フ | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂3香4歩

【ルール】

・禁欲

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

(補足)

- ・攻方王手義務、受方の王手回避義務はこの条件に優先する。従って、攻方は合法的な王手の中から駒を取らない王手を優先して選び、受方は合法的な着手の中から駒を取らない着手を優先して選ぶ。

【解答】

11金 13玉 12金 同玉 13歩 11玉
 12歩生 21玉 11歩成 同玉 13香 12銀
 同香生 21玉 11香成 同玉 13香 12金
 同香成 同玉 21銀 11玉 13香 12金
 同香生 21玉 11香成 同玉 13香 12金
 21金 同玉 11金 同金 12香成 同金
 13桂 11玉 21桂成 同玉 13桂 11玉
 21桂成 同玉 13桂 11玉 21桂成 同玉
 まで 48手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|
| | | | | | | | 馬 | 王 | 一 |
| | | | | | | | 継 | 科 | 二 |
| | | | | | | | 糸 | 糸 | 三 |
| | | | | | | | 継 | 馬 | 四 |
| | | | | | | | フ | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

桂を連続で捨てられる局面を作ります。

12手目の銀合・18手目の金合の順番は限定されていて、逆にすると18手目の銀合を同香成と取れなくなります(禁欲ルールのため21金と打たないといけない)。

当初、合駒が限定されていることが分からず、七郎さんに問い合わせさせていただきました。

【解説】

駒を捨てにくい「禁欲」の条件下でどうやって駒を捨てるかを問う作品。

歩や香なら玉を11に置いて、「12歩(香) 21玉 11歩(香)成 同玉」の要領で簡単に消せますが、桂はそうはいきません。

桂で王手を掛ける場合、玉は21にいないてはいけません。まずは玉を21に押し込む手順を考えてみましょう。

11金 13玉 12金 同玉 13歩 11玉
 12歩生 21玉

これは作意の冒頭8手そのままです。ここで13桂としてしまうと、12玉とせざるを得なくなり、王手が継続できません。

その対策として考えられる手段の一つは、香を金または銀に変える持駒変換です。9手目から以下のように進めてみます。

13香 12金 同香生 21玉 13桂 12玉
 11金 13玉 12金 同玉 13香 21玉
 11香成 同玉

香と金の持駒変換を挟み、香2枚を使って桂を1枚消すことができました。でも、香は4枚、桂は3枚です。これでは桂が残ってしまいます。持駒変換では駄目なのでしょうか？

答えはこうです。「持駒変換は必要、しかしそれで解決ではない」。

本局を解く鍵は12地点を塞ぐこと。それができれば「13桂 11玉 21桂成 同玉」で簡単に桂を捨てることができます。

そのためには金2枚を持った状態で、13香に12金合とした局面を作らねばなりません。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 3 | 2 | 1 | |
| 馬 | | | 王 | 一 |
| 龍 | 龍 | 龍 | 香 | 二 |
| 香 | 香 | 香 | | 三 |
| | | 龍 | 馬 | 四 |
| | | ? | | 五 |

持駒 金2桂3

ここから「21金 同玉 11金 同金 12香成 同金」と進めれば、12を塞ぐことができます。後は桂を捨てるだけです。

これで一件落着…と油断してはいけません。香と金の持駒変換が簡単にできる前提で話を進めていますが、上の図の「金2桂3」を「金桂香」とした局面を想像してください。持駒に金があるので、21金とせざるを得ず、12金を取れません。香から金への持駒変換を単純に繰り返すことはできないのです。

万策尽きたかに思えますが、とっておきの秘策があります。金への持駒変換の前に銀への持駒変換を行っておくのです。上図のような局面になったとき銀なら21に打っても王手になりません。従って、4枚ある香のうち2枚を「銀金」に変換することが可能です。

でも本当に欲しいのは「金金」でした。そこで2枚目の香を金に変換するとき、「不成」でなく「成」で取って玉を12に誘導し、銀で21を埋めます。その後改めて金合を請求します。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 3 | 2 | 1 | |
| 馬 | 銀 | | 王 | 一 |
| 龍 | 龍 | 龍 | 香 | 二 |
| 香 | 香 | 香 | | 三 |
| | | 龍 | 馬 | 四 |
| | | ? | | 五 |

持駒 金桂3香

これなら21が埋まっているので、21金を打つ余地がありません。ここから12金を香不成で取るにより、必要な金2枚を持駒にすることに成功しました。

作者のコメントにある「12手目の銀合・18手目の金合の順番は限定されていて、逆にすると18手目の銀合を同香成と取れなくなります(禁欲ルールのため21金と打たないといけない)」というのは、こういうことだったのです。

本局は「桂を消すために12を塞ぐ」「そのために持駒変換を行う」「複数の金を得るため前もって銀への持駒変換を行う」という三つの構想を看破することが必要で、非常に重厚な謎解き作品となっています。金銀の合駒順は作者自身ですら非限定と勘違いしたくらいですから、解答者が混乱しても無理はありません。何重もの壁を突破して正解に辿り着いた解答者の皆さんに拍手を送りたいと思います。

【短評】

たくぼんさん

一番処理し難い桂を最後まで残す手順は青天の霹靂。散々悩んだ挙句発見したときには膝を叩きました。苦戦した理由は1回目と2回目の合駒の種類が変わるのは非限定になると勘違いしたからで、禁欲ルールをうまく使った限定順だったんですね。

変寝夢さん (※無解)

意外と不規則。21が埋まっているかどうかで手順が変わるのか。

るかなんさん (※無解)

香を金に交換したとて最後に桂が1枚残ってしまう…
22桂を取れば簡単になるものの、取れる状況も作れそうになく。

占魚亭さん

13香からの組立てに難儀しました。

伊達悠さん

難解も難解。求めるべき局面はわかるのに、禁欲ルールのせいで何度挫折しかけたことか。色々な場合分けを書き出してようやく指

定手数にはたどり着いたものの、本当に合っているのかの確認は正直持てていません。

一乗谷酔象さん

2枚目の金を取るために 21 を銀で埋めておくのか。12 香-21 玉の形から 13 桂 12 玉の紛れに誘導されたが持駒 1 枚(歩でも可)足らなかった。

■ 147-9 springs 氏作 (正解 7 名)

禁欲協力白玉ステイルメイト 236 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|---|---|---|
| | | | | | ● | 銀 | 王 | 一 |
| | | | | | ● | | | 二 |
| | | | | | ● | ● | ● | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 歩18

※●:着手不可、不透過

【ルール】

・石 (●)

不透過・不可侵の領域を表す。

跳び越すことは可能。

3 2 1

例えば左図で、

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | 一 |
| ● | ● | ● | 二 |
| 角 | 桂 | 香 | 三 |

12 香や 11 香成は不可。

22 角や 11 角は不可。

11 桂成や 31 桂成は可。

(補足)

・ホッパー系の駒のジャンプ台になる。

【解答】

「22 銀生 12 玉 21 銀生 11 玉 12 銀生 22 玉
11 銀生 21 玉 22 歩 31 玉 21 歩成 32 玉
31 と 同玉 22 銀生 32 玉 21 銀生 31 玉
32 銀生 22 玉 31 銀生 21 玉 22 歩 11 玉
21 歩成 12 玉 11 と 同玉」× 8
12 歩 21 玉 11 歩成 32 玉 22 銀成 同玉
12 と 31 玉 32 歩 同玉 22 と 同玉
まで 236 手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|---|---|---|
| | | | | | ● | | | 一 |
| | | | | | ● | | 王 | 二 |
| | | | | | ● | ● | ● | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【解説】

まずは何も考えずに初手 12 歩を読んでみましょう。「12 歩 21 玉 11 歩成 32 玉 22 銀成 同玉 12 と 31 玉 32 歩 同玉 22 と 同玉」で歩が 16 枚余ってしまいます。何とか余分な歩を消す方法はないでしょうか？

仮に 11 玉→21 玉なら「22 歩 11 玉 21 歩成 12 玉 11 と 同玉」の 6 手で歩を消せることに気付けばしめたもの。銀鋸で玉を 21 に移動させれば、左右は反転しますが、その形に持ち込めます。以下はその繰り返し。2×3 の小さな舞台上、銀と玉が舞いながら、歩を消す楽しいパ・ド・ドゥが始まります。

でもあまり調子に乗ってはいけません。このダンスは手数を結構消費します。歩が残り二枚になったところで、最初に読んだ素朴な手順に立ち返り、銀を含めて攻方の駒を全部消してしまいます。この小さな破調が趣向に華を添えています。147-8 が難しかった反動もありますが、手数が長いのに、むしろ可愛く感じる作品です。

【短評】

たくぼんさん

歩を 1 枚消去するのもたいへんですね。

この作品も収束でちょっと小考しました。

駒井めいさん

歩 18 枚を消去してから 22 銀成かと思いきや、それは手数オーバー。歩 1 枚を消去するためにわざわざ玉の位置を変えなきゃいけないのが面白い。銀生の連続から最後は銀成で歩 2 枚を消去するのが緩みのない流れ。

変寝夢さん（※無解）

収束が難しそう。プロブレムの人なら歩を何枚に設定するのかな？

るかなんさん

こちらは合駒が絡まないからかすんなり。
銀を成って押し売りするまではともかく、駒台に歩が残っているタイミングで切るのは予想外。

占魚亭さん

「22 銀成、同玉迄だな」と思っていたら、微妙にズラされた。

真工さん

玉位置を動かすために銀を使う手順が面白い。収束の破調も楽しめました。

伊達悠さん

歩が何枚あれば収束の形に入るかを突き止めることで、逆算的に趣向手順の手数を推定しました。
普通に趣向手順から考えて、順算的に収束を考える方が早く解けたかも……？

一乗谷酔象さん

密室の中、銀の振り子。

■ 147-10 青木裕一氏作（正解6名）

Lorta協力詰 49手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| 金 | | | | | | | | | | 二 |
| | 歩 | | | | | | ● | ● | | 三 |
| 歩 | | 歩 | | | | | ● | | | 四 |
| | 歩 | | 歩 | | | | ● | | | 五 |
| | | 歩 | | 歩 | | | ● | 王 | | 六 |
| | | | 歩 | | 王 | | ○ | | | 七 |
| | | | | 歩 | | | ● | ● | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 角歩
受方持駒 なし

※●:着手不可、不透過
○:着手不可、透過

【ルール】

・穴、穿（○）

着手はできないが、走り駒が通過することはできる箇所を表す。

【解答】

49 角 38 馬 17 歩 15 玉 16 歩 56 馬
58 角 16 玉 49 角 38 馬 17 歩 15 玉
16 歩 65 馬 67 角 16 玉 49 角 38 馬
17 歩 15 玉 16 歩 74 馬 76 角 16 玉
49 角 38 馬 17 歩 15 玉 16 歩 83 馬
85 角 16 玉 49 角 38 馬 17 歩 15 玉
16 歩 92 馬 94 角 16 玉 49 角 38 金
同角 同馬 17 歩 15 玉 16 歩 同馬
14 金 まで 49 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | ● | ● | | 三 |
| | | | | | | | ● | 金 | | 四 |
| | | | | | | | ● | 王 | | 五 |
| | | | | | | | ● | 王 | | 六 |
| | | | | | | | ○ | | | 七 |
| | | | | | | | ● | ● | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

双方連取りです。

【解説】

「連取り」は攻方の駒で、直線状に並んだ受方の駒を順々に取っていく趣向を指す言葉でした。ですから「第12回アンチキルケばか詰作品展」(結果稿:WFP152号)で、青木裕一氏の「受方連取り」(受方の駒で、直線状に並んだ攻方の駒を順々に取っていく趣向)を見たときには、大変驚いたものです。

本局は更にその上を行く「双方連取り」。通常の「攻方連取り」と「受方連取り」が同時に進行して行くという、前代未聞の趣向です。

この趣向を成立させる鍵が、王手の有効/無効を切り替えられる Lortap のルールです。

16 歩の王手を無効化するため受方の馬が動き、有効化するため攻方の角が動きます。そ

の過程で受方は **92** 金を狙って攻方の歩を順々に取り、攻方は失う歩を補充するために受方の歩を順々に取っていきます。双方連取りという実現困難そうな趣向が、いとも簡単に成立していることに驚かされますね。

双方連取りが終わった後の収束も気が利いています。連取りに使った馬を玉に利かせて、金1枚で詰ます単騎詰。**Lortap**らしい詰上りですね。もちろん歩を支え駒とした頭金の形では詰みません。**Lortap**では支え駒は却って邪魔なのです。

Lortapは未開拓のルールですが、本局では**Lortap**の基本手筋を応用した見事な趣向手順が主題となっています。本局は**Lortap**が手筋の調査の段階から、本格的な創作の段階へ移りつつあることを象徴する作品になると思います。

【短評】

たくぼんさん

新たなルールは特有の趣向を見るのが楽しみです。玉とは離れた所で馬角鋸が出現するのは面白いですね。

☆「鋸」ではありませんが、往復運動を「鋸引」に見立ててれば、そう言えなくはないかも。

変寝夢さん（※無解）

ルール勘違いして降参でしたが、一番正解が多い作かもしれませんでしたね。

新しいルールで創作する時は趣向を作ってみる、ですね。

るかなんさん

普通に **16** 歩 **14** 玉 **15** 金として「迄」と書くところではたと気付く。

フェアリーで「普通」は危険な信号でした。覗き窓から漬物石が飛び込んでくるどんでん返し。

占魚亭さん

見事な双方連取り趣向。

こんなことが出来るとは思わなかったです。

真Tさん

面白い趣向手順。収束もしゃれている。

伊達悠さん

逆に、青木氏をもってしても「穴」を使わないと趣向手順を実現できなかったと思うべきなのではないでしょうか。

新ルールで中長編仕様の趣向手順を出してくる技術は毎度感嘆します。

一乗谷酔象さん

Lortapの紐付けと紐外しの繰返しで双方の剥がし。面白い。

■ 147-11 変寝夢氏作（正解6名）

成禁駒全マネ禁協力白玉詰 16手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|--|--|---|
| | | | | | 獅 | 城 | | | 一 |
| | ● | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | ● | | | | | | | 六 |
| | | | ● | ● | | | | | 七 |
| ● | | | | | | ● | | | 八 |
| 零 | 桂 | | | | | 壘 | | | 九 |

攻方持駒 桂

受方持駒 なし

※零:Zero王

城:Rook-Grasshopper

●:着手不可、不透過

【ルール】

・駒全マネ禁

直前の指し手の駒種と同じ駒での着手を禁止する。

(補足)

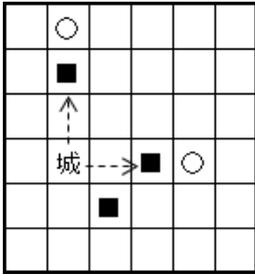
1)直前の指し手と同じ種類の駒を動かす手でしか詰みを回避するしかない場合や、玉を取る手にもこれを適用する。

2)成駒と生駒は別種の駒として区別する。

また、直前の手が「成」だった場合、成る前の駒種で判定する。

・Rook-Grasshopper (城)

Grasshopperの動きを縦横に制限したもの。縦または横方向にある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(■は何らかの駒。
○が城の利き)

• Zero (零)

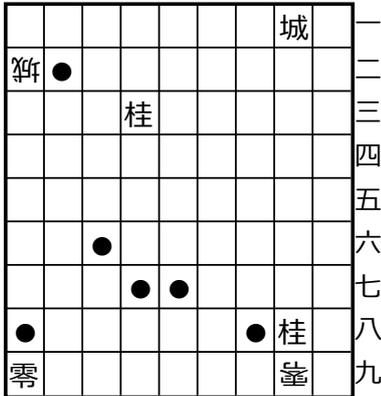
(0,0)-leaper。現在位置に移動する。
行き所のない駒にはならない。

【解答】(※元位置への移動を「居」で表記)

28桂 11城 99零居 31城 99零居 39城
99零居 89城 87桂 86城 75桂 66城
63桂 62城 99零居 92城 まで 16手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

【作者のコメント】

駒全マネ禁ルールで零での有効な移動(王手)をやってみたかった。

発展性は全く見えませんが・・・

【解説】

Zero (零) は詰将棋では使いにくい駒です。詰将棋には攻方王手義務があり、王手とそれを防ぐ手の繰り返しで手順が構成されます。零では王手できませんし、王手を防ぐ場合も合駒くらいしか使い途がありません。

ところが、本局では元位置から動かない零の着手で王手が掛けられるのです。

その秘密は「駒全マネ禁」というルールにあります。これは「直前の指し手の駒種と同じ駒での着手を禁止する」というルールです。もし、

ある駒の応手により本来なら王手になるはずの状態が「王手無効」となっている場合、王手しているはずの駒と違う種類の駒を動かせば、それが王手となります。本局はそれを零で行うことで、王手を可能にしています。

例えば 3 手目では零による着手が行われ、21 の Rook-Grasshopper (城) による王手が有効になります。動かす駒と王手する駒が異なるという点で、これは「開き王手」を一般化した「委託王手」の一種と言えるでしょう。王手の有効化は桂でも行えるので、桂と零のどちらかで委託王手をするかというのも、本局の謎解き要素の一つです。

零の話が続きましたが、もう一つのフェアリー駒である城にも注目しましょう。

攻方の 21 城はここに固定して、周囲の駒を操作して王手の有効/無効を切り替えます。受方は王手の無効化のため城を動かしますが、その移動先を上手く選択して、99 零王を詰める位置に近付けていきます。

城は足場となる駒を跳び越して動きますが、初期位置の駒だけでは足場が足りません。幸い、79 桂を適切な位置に動かせば、それを新たな足場として再利用することができます。再利用の回数は3回。桂三段跳の登場です。

動かない(元位置に動く) 零での王手という奇妙な着手と、動かない足場(石・21 城)と動く足場(79 桂)を使った城の誘導など、フェアリーでしか味わえない不思議な雰囲気味わえる作品だったと思います。

【短評】

たくぼんさん

桂の跳ねるタイミングが絶妙ですね。

零の動きを勘違いして不詰かと思いました。

るかなんさん

零を指す感覚が分からないと早々に手詰まり。そこさえわかれば氷床パズルの調子です。いすい手が進む。

占魚亭さん

受方 RookGrasshopper の運搬。

桂の三段跳ねがいい感じ。

真Tさん

動きたくない時は零の出番。

桂の3段跳ねが気持ちいい。

一乗谷酔象さん

零を置くと1手パスの選択ができる。

■ 147-12 真T氏作 (正解3名) ※早詰

最悪詰 201手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|---|--|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | 王 | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 金 | 四 |
| | | | | | 糸 | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 銀 | 香 | 六 |
| | | | 桂 | 馬 | | | | | 王 | 七 |
| | | | 銀 | 銀 | | | | 糸 | 桂 | 八 |
| | | | 金 | 銀 | | | | | 桂 | 九 |

持駒 角金歩

【ルール】

・最悪詰

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。

【解答】

27金 同龍 53角 44金 同角成 26金
同馬 同龍 27金 同龍 35馬 26角
同馬 同龍 27金 同龍

「53角 44金 同角成 35歩 同馬 26角
同馬 同龍 27金 同龍」×13

53角 35歩 同角成 26桂 同馬 同龍
29桂 16玉 17歩 同龍 15金 同玉
16歩 同龍 27桂 同龍 16歩 24玉
25歩 35玉 36歩 46玉 47歩 同龍引
57銀 同龍 47歩 36玉 37歩 25玉
26歩 同龍 17桂 同龍 26歩 24玉
25歩 14玉 15歩 同龍 26桂 同龍
15歩 同玉 16歩 同玉 17歩 同玉
18歩 同玉 19歩 29玉 38銀 39玉
49金 まで 201手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | 王 | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | 糸 | | 歩 | | 五 |
| | | | | | | | | 銀 | | 六 |
| | | | 桂 | 銀 | 歩 | 歩 | | | | 七 |
| | | | | | | 銀 | 糸 | | | 八 |
| | | | | | 金 | 王 | | 歩 | | 九 |

持駒 なし

〔主な変化〕

- ・3手目 35馬は26金から作意同様に進み8手早く詰む
- ・17手目 35角は26桂 同角 16玉 17歩 同龍 15金まで早詰 (この変化を避けるため、角は成れる位置に打つ必要がある。歩をもっと多く持った状態でも同様。)
- ・17手目 62角や71角は53に角合されて、同角、同龍の後、上記の変化に合流して早詰

〔主な紛れ〕

- ・4手目 26桂は同角成 同龍 29桂 同歩成 39馬 28角 同馬 同龍上 53角 26角 同角成 同龍 28角 16玉 15金 同玉 27桂 24玉 46角 35桂 25歩以下不詰。初形で持駒に歩があるのはこの紛れに備えるため
- ・148手目 44金は同角成 35歩 同馬 26角 同馬 同龍 27金 同龍以下8手長い

【作者のコメント】

持駒増幅。1サイクル10手で攻方の持駒が一步増えます。

初形の攻方持駒歩は余詰消し。4手目26桂以下の余詰を防いでいます。

【解説】

最悪詰最長手数となる201手の大作。長手数を生み出す源泉は「持駒増幅」です。16手目の局面を起点にその仕組みを説明します。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 王 | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 金 | 三 |
| | | | | | | 糸 | | | 四 |
| | | | | | | | | 香 | 五 |
| | | | | | | | | 王 | 六 |
| | | 桂 | | | | 銀 | | | 七 |
| | | 銀 | 銀 | | | 糸 | 桂 | | 八 |
| | | | 金 | 銀 | | | | 桂 | 九 |

持駒 角歩

王手は角打しかありませんが、成れない位置から打つと簡単に詰んでしまいます。例えば、35角なら以下 26桂、同角、16玉、17歩、同龍、15金という具合です。

成れる位置は 53・62・71 のいずれかですが、53 以外は早詰です。例えば 62 角なら以下 53 角、同角、同龍と進み、結局成れない位置から角を打つことになるからです。つまり 53 角は「合駒されないための近打（成れる位置のうち最も玉に近いという意味）」なのです。

角打に対し、受方は歩の譲渡と手の継続を図る意味で「金歩角」の順に合駒を渡します。金と角の順番は逆にはできません。角を先に渡すと、35歩の後、26角を打たれて困ります。26角に対し 16玉としても馬の王手が残るので、攻方が不詰に誘導できるのです。

これで持駒増幅—受方が攻方に無理やり歩を押し付ける手順—の仕組みは分かりました。受方は初形で歩 15 枚持っています。では、歩は何枚渡すべきでしょうか？

答えは 14 枚。当てずっぽうで 15 枚と答えた人はいませんか？ 初形で攻方は歩を 1 枚持っているので、15 枚の歩が必要な収束が待ち構えているということです。

もう一つ忘れてはならないことがあります。受方が攻方に渡す 14 枚のうち、13 枚は規則正しい持駒増幅機構の繰り返しで渡しますが、最後の 1 枚を渡すときは「金歩角」の合駒から「歩桂」の合駒の組み合わせに変わります（148 手目 35 歩合から 150 手目 26 桂合）。ここは趣向部の破調と考えることもできますし、収束への導入部と考えても良いでしょう。

本局の収束部は 152 手目の局面から。

(152 手目)

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| | | | | | | | 王 | | 一 | |
| | | | | | | | | | 二 | |
| | | | | | | | | 金 | 三 | |
| | | | | | | | | | 四 | |
| | | | | | | 糸 | | | 五 | |
| | | | | | | | | 香 | 六 | |
| | | | | | | | | 王 | 七 | |
| | | | | | | 桂 | | | 八 | |
| | | | | | | 銀 | 銀 | 糸 | 桂 | 九 |

持駒 桂歩15

ここから 49 手をかけ「桂歩 15」の大量の持駒を消費する収束は圧巻。この部分だけでも一つの作品として立派に通用します。大量の持駒を消費する割に配置もコンパクトで、手順を並べるだけでも、その巧緻さが伝わるでしょう。

序奏についても触れておきましょう。ここでは持駒増幅機構を予感させる 3 手目 53 角の限定打が出てきます。3 手目 35 馬だと作意に短絡するので、それを避ける手ですが、これに対し受方は「金金」の合駒でそれに応じます。57 馬が睨んでいるので、ここでは歩合ができません。序奏で主部の変形版が出る巧い構成です。

なお、作者のコメントにもある通り、初形で持駒に歩があるのは早詰防止のためです。具体的には以下の手順を防いでいます。

27 金 同龍 53 角 26 桂 同角成 同龍
 29 桂 同歩成 39 馬 28 角 同馬 同龍上
 53 角 26 角 同角成 同龍 28 角 16 玉
 15 金 同玉 27 桂 24 玉 46 角 35 桂
 同角 25 玉 17 桂 34 玉 26 桂 まで 29 手

持駒に前に利く駒がないため受方が角や桂を渡すことで、詰みに誘導できるわけですね。逆に歩があれば上の手順の 19 手目に 25 歩などとして逃れることができます。

このように本局は序・主部・収束、すべてが充実しており、最悪詰の傑作誕生を喜んでいたのですが、残念なことにこの傑作に早詰がありました。指摘したのは一乗谷酔象氏。最初は 167 手解（短評欄で紹介します）でしたが、ここで

はその手順を更に短縮した 165 手解をご覧ください。
 いただきます。

【早詰】 一乗谷酔象氏指摘

27金 同龍 53角 44金 同角成 26金
 同馬 同龍 27金 同龍 35馬 26角
 同馬 同龍 27金 同龍
 「53角 44金 同角成 35歩 同馬 26角
 同馬 同龍 27金 同龍」×9
 53角 35歩 同角成 18玉 17馬 同玉
 18歩 16玉 15金 26玉 25金 36玉
 35金 46玉 36金 56玉 57歩 65玉
 66歩 74玉 75歩 63玉 55桂 54玉
 45金 同玉 46歩 55玉 56歩 46玉
 47歩 同龍引 57銀 同龍 47歩 45玉
 46歩 35玉 27桂 同龍 36歩 同龍
 33飛 34歩 同飛成 同玉 35歩 25玉
 26歩 16玉 17歩 同玉 18歩 同玉
 19歩 29玉 38銀 39玉 49金 まで 165手

持歩が 11 枚になったところで、18 玉とするのがポイント。この手順では 19 桂で 27 龍を取る展開になるので、強力な飛が攻方に渡って不詰となると思っていたのですが、左辺を大回りして、攻方に飛が渡っても詰むようにする巧妙な手順がありました。変化は多岐にわたりますが、確かに成立しています。

以下は修正図と作者のコメントです。

【修正図】

最悪詰 201手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | 王 | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 金 | 四 |
| | | | | | 歩 | | | | 五 |
| | | | | | | | | 香 | 六 |
| | | | 桂 | 馬 | | | | 王 | 七 |
| | | | 銀 | 銀 | | | 歩 | 桂 | 八 |
| | | | 金 | 銀 | 桂 | | | | 九 |

持駒 角金歩

修正図についての作者のコメント

修正は 19 桂→39 桂でお願いします。
 110 手目 18 玉に対し 19 歩で逃れるつも

りです。
 創作時の記憶はあまり残ってないので、確か 19 桂、39 桂のどちらにするか迷い、紛れ(47 桂のない分)が少なそうな 19 桂を選択しました。なので 39 桂でも問題はなかったと思います。

2 択のうち、早詰がある方を選んでしまったというのは不運ですね。修正不能ではなかったことが不幸中の幸いです。もし、この修正図にも不具合があるようでしたら、担当者までお知らせください。

【短評】

たくぼんさん

角を 53 より遠くに打つと歩が早く手に入るので 53 限定、金歩角の連続合もこの順しかなくあとは歩を何枚取るかですが…そこから先に収束を考えると桂を消去していれば 49 銀、59 金の配置で詰型が何となく見えたので…とここまでは早かった。

しかしながら収束で 53 角、18 玉、17 角成、同玉からが繋がらない。その後 26 桂に気付いて先が見えたかと思ったが 29 桂と打って 29 桂と 18 桂をすぐに消去しようとして悩みました。一旦玉を 4 筋方面に逃がして 1、2 筋に戻ってから消去が盲点でした。

趣向後と収束をドッキングさせる解図方法の穴に苦しんだ感じです。繰り返し手順の最後の 53 角に 35 歩～26 桂の破調順もやられたという感じです。

どっぷり解図に浸った 1 ヶ月でした。

るかなんさん (※無解)

せめて読めるところまで頑張ろうとしたものの、3 手目で既にギブアップ…。

一乗谷酔象さん (※早詰解、ここでは 167 手解を紹介)

略記記号

A = 「27 金 同龍 53 角 44 金 同角成 35 歩 同馬 26 角 同馬 同龍」(10 手、持歩が 1 枚増)

手順

27 金 同龍 53 角 44 金 同角成 26 金
 同馬 同龍 27 金 同龍 35 馬 26 角
 同馬 同龍 (14/14)

『A』 9 回繰り返し (90/104)

27 金 同龍 53 角 35 歩 同角成 18 玉
17 馬 同玉 18 歩 16 玉 15 金(*1) 26 玉
25 金 36 玉 35 金 46 玉 36 金 56 玉
57 歩(*2) 65 玉 66 歩 74 玉 75 歩 63 玉
55 桂 54 玉 45 金 同玉 46 歩 55 玉
56 歩 46 玉 47 歩 同龍引 57 銀 同龍
47 歩 35 玉 27 桂(*3) 26 玉 24 飛(*4) 25 香
同飛 同玉 26 歩 14 玉 17 香 16 歩
同香 24 玉 25 歩 同玉 26 歩 16 玉
17 歩 同玉 18 歩 同玉 19 歩 29 玉
38 銀 39 玉 49 金 (63/167)
まで 167 手(駒余り歩 2).

(*1) 17 歩の変化(115 手目 15 金に代えて)

17 歩 同龍 15 金 同玉 16 歩 同龍
27 桂 同龍 16 歩 25 玉 26 歩 36 玉
37 歩 46 玉 47 歩 同龍 57 銀 同龍
47 歩 35 玉 36 歩 24 玉 25 歩 同玉
26 歩 16 玉 17 歩 同玉 18 歩 同玉
19 歩 29 玉 38 銀 39 玉 49 金(114+35)
まで 149 手で早い。
この変化のために持歩 11 枚必要。

(*2)(123 手目 57 歩に代えて)

- **46 金の変化**
46 金 同玉 47 歩 同龍引 57 銀 同龍
47 歩 35 玉以下、収束に短絡し、早い。
- **57 銀の変化**
57 銀 同龍 46 金 同玉 47 歩 35 玉以下。

(*3) 36 歩の変化(143 手目 27 桂に代えて)

36 歩 同龍 27 桂 同龍 36 歩 25 玉
26 歩 16 玉 17 歩 同玉 18 歩 同玉
19 歩 29 玉 38 銀 39 玉 49 金(142+17)
まで 159 手で早い。
この変化のために持歩 11 枚必要。

(*4)(145 手目 24 飛に代えて)

- 16 飛/25 飛/36 飛は同玉以下、46~96 飛は
36 歩 同飛 同玉以下早い。
- 21~23 飛は 24 飛と同様、25 香 同飛成/生
同玉以下。

58 龍、32 玉、14 金の配置が絶妙。連合の後
は、3 枚の桂まで捌けて凄い趣向手順。膨大
な変化と紛れがあり持駒を変化させたとき
組み合わせで右辺、下辺それぞれに収束と不詰

が潜んでいる。

特に、持歩 11 枚必要な 159 手解 (変化*3)
は、詰上がり盤面の攻方が歩以外は金銀 2 枚
のみの綺麗な収束。67 桂まで消えるのは感動
もの。
修正を期待します。

☆一乗谷酔象氏からは出題時には想像すらしな
かった 167 手の早詰解をいただきました。も
しフェアリーの解答部門に表彰制度がある
なら、第一位に値する大殊勲だと思います。
この手順を改良した 165 手解は解説本文の方
で紹介させていただいたので、ここでは元の
167 手解と変化手順を引用させていただきました。

【総評等】

たくぼんさん

長手数作品が多いのがすごく楽しかった
です。最近短編の発表数が爆発的に多く、
中長編の発表作が少ない傾向が続いていま
すので中長編ファンの私はもっとたくさん
の作品を解図したいと願っています。

☆たくぼん氏はただ一人全題正解を達成。2022
年度出題分のトリを見事に飾りましたね。作
稿の都合により、解答成績の集計結果は次号
になりますので少々お待ちください。

変寝夢さん

Lortap も合法手かどうかの確認作業が大変な
ルールだと思いました。
全て標準駒を使用した Lortap 協力詰か、全て
Lortap 駒を使用した単なる協力詰か、と考
えてみたら面白かったです。

☆特定の駒だけに Lortap 属性(自身に味方の利
きがあると相手駒を取れない)を与えるル
ールも考えられますね。需要があるかどうかは
分かりませんが。

荻原和彦さん

最近フェアリーに取り組み始めたばかりで、
まだルール理解もおぼつかない状態ですが、
よろしくお祈いします。

WFP 作品展には今回初挑戦。聞きしに勝る難

解さに驚くやら感心するやらです。幸い1題解けたようなので解答をお送りします。

(次回以降せめて3題くらいは解答したいものですが、難易度次第でしょうか)

☆荻原氏は今回が初参加。毎回これほど重量級の作品ばかりではありませんし、解きやすい作品もあるので、今後も解答をよろしく願います。

るかなんさん

前半6問はメ切間近まで苦戦しましたが、その分ギミックを閃いた時の爽快感たるや。

最終問題は、はい。

毎回今度こそはと思って挑戦し続けましたが、1年目は全問正解は未達成。

いつかは全出題者を唸らせたいものです。

伊達悠さん

1打1打が猛烈に重い千本ノックを受けている感じでした。もっとも、野球部ではないので千本ノックの経験はないのですが。

この分量は年をまたいでも仕方ありませんね。心残りはあるものの、十二分に楽しませてもらいました。

一乗谷酔象さん

骨のある大作揃いでした。

自作が前回に続いての余詰の連発で情けない。fmzaの「駒全マネ取禁(協力)」ルール追加、ありがとうございます。今後はfmzaの力を借ります。

☆今回は素晴らしい作品が多く、担当者としては嬉しかったのですが、解図はとても大変だったと思います。解けなくても、解図に挑戦するだけで鑑賞時に受ける印象はかなり違うと思うので、ちょっと無理そうに思う作品でも目を通してみてください。

実は筆者も結果稿を書くのも結構苦戦しており、作品の良さを上手く伝えられたかどうか自信がありません。解説の至らない点は、皆さんの鑑賞力で補ってください。

次回より新年度分の結果稿をお届けします。果たして今年はどんな作品に出会えるでしょうか？

[WFP147-1 改作図解答]

56 桂 34 桂 25 王 46 桂左 34 王 43 桂
同王 66 桂 57 桂 55 玉 54 王 まで 11 手

【作者のコメント】

このルールで桂は、玉の退路塞ぎとして攻方、受方ともに使いやすく双方駒取りのある作意手順は欲張りすぎました。また、双玉が近すぎると詰型のバリエーションが増えます。

本作の主題である詰上がり都玉の十字架(元の11手作意と同型)となる11手詰を検討いたしました。修正というよりは改作です。fmzaで唯一解を確認できましたのでご連絡いたします。

[WFP147-2 修正・改作図解答]

27 王 18 玉 17 王 27 玉 18 王 37 玉
27 王 38 玉 37 王 39 玉 48 王 38 玉
39 王 37 玉 38 王 27 玉 37 王 38 玉
48 王 27 玉 38 王 18 玉 27 王 17 玉
18 王 27 玉 17 王 38 玉 27 王 39 玉
38 王 まで 31 手

【作者のコメント】

攻方玉の可動地点をいろいろ試しましたが、単純な修正では枝分かれの非限定や複数解が生じる場合が多いです。

改作案では、先手のみ着手可能な地点を47から48に変更しました。

一見47と48は等価のようですが、詰位置の39地点での折り返し1回を加えることで手順を限定しています。

以上



第 14 回フェアリー入門(ライフル協力詰)出題

作品一覧

担当:伊達 悠

第 14 回フェアリー入門のルールは「ライフル協力詰」です。
担当のものも含め、8 名 11 作での出題となります。

ルール確認

【ライフル】

駒を取ったとき、取った駒が元の位置に戻る。

(補足)

- 1) 駒取り時、駒に戻るまでを一手とみなす。駒を取った瞬間だけ「白玉への王手」となったり、「行き所のない駒」になっても構わない。
- 2) 生駒による駒取りで「現位置」「駒取り地点」のいずれかが可成地域にある場合、成・不成 を選択できる。

【受先】

受方から指し始める。

《解答締切》

2023 年 3 月 15 日(水)

《解答先》

メール:伊達 悠

(ydate_burning_beach■yahoo.co.jp)■→@に変更

件名に「解答」の語句を含むようにしてください。

【難易度:★★★★☆】レベル 1

① 駒井めい作(登場 14 回)

ライフル協力詰 3 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 王 | 三 |
| | | | | | | 角 | 香 | | 四 |
| | | | | | | 角 | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

開幕は駒井さんの 3 手詰。ライフルルールの詰め上がりと言えば、まずはこれを考えてみるのが良いでしょう。

【難易度:★★★☆☆】レベル 2

② 神無七郎作(登場 8 回)

ライフル協力詰 5 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 香 | | 六 |
| | | | | | | | 銀 | 王 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 角2桂

5 手詰で、持駒が 3 枚。考えやすそうですね。詰め上がりは想定がついても、間違っ居食いをされては水の泡。居食いをされない合駒を考えましょう。

③ springs 作(登場 22 回)

ライフル協力詰 7 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | 金 | | 五 |
| | | | | | | 桂 | | 王 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 桂香

アレを打つことができれば 1 手詰。でも、今のままでは 37 桂が強いですね。もしも 37 桂が桂馬でさえなければ……！

④ 伊達悠作(登場 18 回)

ライフル協力詰 7 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | 歩 | | 五 |
| | | | | | | 歩 | 王 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛

合駒を取って、例の詰め上がりを目指しましょう。飛車 + X の駒の利きを考えれば、詰め上がりの位置もおのずと見えてくるはずですよ。

⑤ 伊達悠作(登場 19 回)

ライフル協力詰 7 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | 歩 | | 五 |
| | | | | | | 歩 | 王 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 角

③と比較すると、玉は 47 へ動き、持駒が飛→角になりました。何だか③と似たような方針が使えるそうですね……？

【難易度:★★★☆☆】レベル 3

⑥ たくぼん作(登場 10 回)

ライフル協力詰 9 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

盤上 2 枚で詰ませることができるでしょうか？
盤上 2 枚で詰ませられないとしたら合駒を取る必要がありますが、合駒 X を手に入れるのに最低 5 手かかります。詰め上がりの玉位置を想像しつつ、合駒の種類を考えるのが賢明でしょう。

【難易度:★★★★☆】 レベル 4

⑦ たくぼん作(登場 11 回)

ライフル協力詰 9 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | 飛 | | | 五 |
| | | | | | | 継 | | 王 | 六 |
| | | | | | | | 歩 | | 七 |
| | | | | | | 角 | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

ここまで解いてくると、そもそもライフルルールでの詰み上がりパターンが意外に限られていることに気付いているはず。今回も例外ではありません。が、詰め上がりに必要なアレが、すぐには入手できなさそうです……。

⑧ 神在月生作(登場 10 回)

ライフル協力詰 9 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | 歩 | | 王 | 五 |
| | | | | | 角 | | 王 | 馬 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 香

この作品が投稿された時、手が広くてなかなか詰まないような印象を持ちました。ただ、玉の位置を考えていると、見覚えのある形が思い起こされるかもしれません。そうすると、詰め上がりに必要なアレの入手は……？

⑨ るかなん作(登場 11 回)

ライフル協力詰 6 手(偶数手)

持駒 なし

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 手 | 四 |
| | | | | | | | | 王 | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 桂 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 桂 | 九 |

持駒 なし

偶数手・受方持ち駒なしにご注意ください。攻方は、できればもう 1 枚駒を手に入れたいところ。しかし、初手から 25 圭同桂は、ライフルルールで桂馬が 17 に戻ってしまい、王手になりません。とすると、駒取りが発生する位置は……？

⑩ 伊達悠作(登場 20 回)

ライフル協力詰 9 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 王 | 王 | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | 馬 | | | | | 四 |
| | | | | 馬 | | | | | 五 |
| | | | | 馬 | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 香

最初の合駒は想定できるでしょう。勝負はその駒を取ってから。角の利き・龍の利きに注意しつつ、詰め上がりの玉位置を正しく想定していくのが大事です。

⑪北村太路作(登場 11 回)

ライフル協力詰 21 手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| | | | | | | | 王 | | 王 | 一 |
| | | | | | | | 馬 | 王 | 王 | 二 |
| | | | | | | | 歩 | | | 三 |
| | | | | | | | 香 | | | 四 |
| | | | | | | | 香 | | 桂 | 五 |
| | | | | | | | 香 | | | 六 |
| | | | | | | | 香 | | | 七 |
| | | | | | | | 龍 | | | 八 |
| | | | | | | | | 馬 | | 九 |

持駒なし

唯一の 2 桁手数です。

よく観察していると、序中盤は意外に手が限られていることに気付くはず。物凄い勢いで駒を捨てていきましょう。

29 馬が世の中に出てからが勝負。盤上にある駒の種類に注意しながら、合駒を考えていきましょう。

レベル別作品一覧

【レベル 1】第 1 番

【レベル 2】第 2 番～第 5 番

【レベル 3】第 6 番～第 8 番

【レベル 4】第 9 番～第 11 番

結果的には、難しすぎない出題になりました(レベル 5 振り分けに相当する作品はなし)。担当者個人の感覚によるレベル分けなので断言はできませんが、パターンを掴めればレベル 3 まででは何とか解答できるのではと思っています。

《お断りおよびお詫び》

フェアリー入門の募集要綱として、非標準駒数はレギュレーション違反としていました。しかし今回⑧るかなん氏作で、非標準駒数なのですが出題として

投稿された際に確認したのですが、以前のフェアリー入門でも非標準駒数作品の出題はありました。(第 9 回 12 番伊達作など)

受方持駒なしという条件をつけるために非標準駒数を使うのは、入門という視点でも問題ないと考えます。よって、以降のフェアリー入門でも「非標準駒数」は OK として扱います。

もしも今回、非標準駒数条件で投稿をためらった方がいましたら、お詫び申し上げます。

※投稿されていたのを掲載漏れしていました。

突貫工事的に、神無七郎氏の投稿作を第 2 番に挿入し、以降の作品を後ろにずらしています。

神無七郎さん、申し訳ありませんでした。

第 13 回フェアリー入門（禁欲協力詰）結果

担当：伊達 悠

はじめに

第 13 回フェアリー入門（禁欲協力詰）の結果発表です。

今回は 13 名の方から解答をいただきました。ありがとうございます。

通常のヒントに加え、今回からレベル別難易度表記を入れてみましたが、おおむね好評だったようで安心しました。1 ヶ月間という、決して長くない解図時間のプランを考えると、細かめの区切りを設けることで気持ちの切り替えがしやすかったのではないかと思います。

解答成績

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 神無七郎 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 荻原和彦 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 占魚亭 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| springs | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 15 |
| 真T | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 駒井めい | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | — | 14 |
| さつき | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| るかなん | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 上谷直希 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — | 14 |
| 神在月生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 岡野陽駿 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | × | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 変寝夢 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | 11 |
| 羽毛布団 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | 13 |
| 正答数 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 12 | 13 | 12 | 12 | 12 | 11 | 10 | 11 | 8 | |

（—……無解、×……誤解）

第 7 問目までがレベル 3。ここまで誤無解なしでした。

これは、詰四会でレベル調整を相談した甲斐があったというものです。

手数という観点で見ると超長編も含まれていただけに、

バランスの取れた難易度調整ができたと自負して良いでしょうか？

レベル設定に協力してくださったたくぼんさん、本当にありがとうございました。

各題解説

①上谷直希作(登場 3 回)

禁欲協力詰 27 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | と | | 二 |
| | | | | | | | 歩 | 王 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | 香 | | 九 |

持駒 歩

【解答】

12 と 14 玉 13 と 15 玉 14 と 16 玉
 15 と 17 玉 16 と 18 玉 17 と 19 玉
 18 と 同玉 19 歩 17 玉 18 歩 16 玉
 17 歩 15 玉 16 歩 14 玉 15 歩 13 玉
 14 歩 12 玉 22 歩成 まで 27 手

(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | と | 王 | 二 |
| | | | | | | | | 歩 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | 香 | | 九 |

【作者コメント】

22 との邪魔駒消去。禁欲ならばこんなに手間がかかってしまいます。
 18 とのときに 29 香を取る紛れさえ考えなければ手順は一本道のはず。そこは「入門」への投稿ということで信用いただければと……。
 この図に至るまではあっという間であったかという

そうでもなくて、はじめは収束で駒を捨てるなど欲を出していたものの図面が右下も右上も煩雑になり、結局この図が一番シンプルということで落ち着きました。

【担当者コメント】

★トップバッターから手数は中編。でも安心してください、王手はかなり限られますよ！
 ★例えば初手 14 歩としてしまうと、受方は同玉としか応じることができません。するともう王手は続かず。となると初手の王手は 12 としかありません。受方は禁欲ルールのために 15 玉と逃げるしかなく……。
 ★というように、攻方は 2 手後に王手がかげられるように追っていけば、自然と手が進む仕組みになっていました。唯一 14 手目で、29 香を取るか 18 とを取るかの 2 択がありますが、それ以外は流れるままに解いていくことができたでしょう。

【短評】

神無七郎—と金を取ってくればすぐ詰むのに、なかなか取ってくれない。非協力的な協力詰。
 荻原和彦—14 手目を除き受方選択肢なしの準無変化詰。まあまあ易しい。
 占魚亭—これぞ「やさしく楽しい入門作」。
 Springs—易しく楽しい！
 真 T—22 とがなければ 3 手詰。
 駒井めい—と金の押し押し…(中略)…押し売り。
 さつき—壮大で易しい邪魔駒消去。
 るかなん—今月のトップバッターは一本足打法。
 神在月—生遠征を 終えて戻れば と金消え
 岡野陽駿—優しいエレベーター
 変寝夢—禁欲だけに持駒を 12 に置く手もあったかな(ないない)
 羽毛布団—玉が 1 つ移動するだけでこんなに手数がかかるとは驚きです

②springs 作(登場 20 回)

禁欲協力詰 19 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 銀 | 王 | 一 |
| | | | | | | | 歩 | 香 | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 桂 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 銀四

【解答】

≪32 銀 11 玉 21 銀成 同玉≫×4、
22 歩生 11 玉 23 桂 まで19手
(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 銀 | 王 | 一 |
| | | | | | | | 歩 | 香 | 二 |
| | | | | | | | 桂 | | 三 |
| | | | | | | | | 桂 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

【担当者コメント】

★ 22 歩生 11 玉 23 桂までの 3 手詰?いいえ。禁欲ルールなので、持駒があるために 22 歩生が指せません。ならば持駒を消費してしまえば良いじゃない!

★ということで、銀を 4 手で 1 枚ずつ消していきます。銀を打つ場所も玉が逃げる場所も 1ヶ所に限定されているので、分かりやすかったです。銀を使い切れば、最初に想定した手順を実現して大団円です。

【短評】

神無七郎—禁欲名物持駒消去。消去するのが価値の高い駒であるほど手順に贅沢感が出ますね。逃げ道を残す 22 歩生は禁欲でなくとも成立するのが面白い。

荻原和彦—18 手目を除き受方選択肢なしの準無変化詰。とても易しい。

占魚亭—金 4 だとダメなんですね。

真 T—持駒消去。31 角が気になる。

駒井めい—持駒銀の消去。禁欲界(?)では常識なのかもしれませんが、持駒消去ができるんですね。

さつき—持駒を消去する作品は大好きです。

るかなん—禁欲では駒余り禁に近い手筋が成立するんですね。

上谷直希—禁欲特有の持駒消去。

神在月生—四度もの 投資重ねて 成果生み

岡野陽駿—全力で駒を取りに行く

変寝夢—最悪詰の様な持駒消去。新しいルール

で創作する時は持駒消去をテーマにするのもありだな

羽毛布団—持ち駒をなくすためのループが面白いですね

③神無七郎作(登場 7 回)

禁欲協力詰 19 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 皇 | 王 | 一 |
| | | | | | | | 歩 | | 二 |
| | | | | | | | 香 | 王 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂4

【解答】

≪13 桂 11 玉 21 桂成 同玉≫×4、
31 香成 11 玉 12 香 まで19手
(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | と | 王 | 一 |
| | | | | | | | | 香 | 二 |
| | | | | | | | 香 | 玉 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

【担当者コメント】

★作意成立の手順は、②springs 作と同様です。更に、攻方も受方も全く変化のない、一本道の手順でした。

★ところで、掲載時のヒントで、『これが「禁欲“詰”」ならどうなるのかを考えてみましょう。』と書いていました。受方は詰まされないように抵抗するのですが、結局作意と同じような手順になります。受方側には 18 手目まで変化手順が全くないのがその理由。

★そして、19 手目が気を付けるべきポイント。神無七郎—上図はルールを「禁欲詰 19 手」としても同じ手順となります。(中略)実は本図は、禁欲詰に無駄合概念を適用できないことを示すための例図でした。

★例えば普通の詰将棋ならば、19 手目に 15 香と打っても詰みとなります。12 歩のように受けたとしても、同香成とすれば良いわけですからね。

★しかし、禁欲詰は話が違ってきます。例えば 19 手目に 15 香と打つと、受方は 12 歩と受けることができます。なぜ？

★「駒を取らない王手を優先する」のが禁欲ルール。すると攻方は、12 歩を取る王手はできません。

21 とという王手しかできなくなるのです！以下同玉 12 香成 31 玉……と進み、不詰になります。

★作者コメントの通り、受方が抵抗する「禁欲詰」でも、禁欲協力詰と同手順が展開されるというストーリーでした。協力詰だけでなく、受方が抵抗する伝統ルールを組み合わせるのもまた、創作のヒントになるのかもしれない。

【短評】

荻原和彦—完全無変化詰。仮に受方が協力的でなくても同手順で詰み。さらに言えば、攻方の着手も最終手以外選択肢なし。つまり実質 1 手詰。

占魚亭—禁欲詰でも同手順？

Springs—禁欲詰でも成立しているのですね。禁欲詰の場合、最終手の香を離して打つと 12 歩合などの逆王手しない合駒で不詰になるのは盲点でした。

真 T—持駒消去。禁欲詰でも同じ手順。

駒井めい—持駒桂の消去。禁欲詰でも最後は 12 香の限定打。

さつき—前述の大好物。自信はありませんが禁欲

詰でも全く同手順の完全作になる？

るかなん—協力詰でなくても最終手限定の同一手順になります？

上谷直希—一本作も持駒消去。

神在月生—四度もの 投資重ねて 成果生み

岡野陽駿—桂の大安売り

変寝夢—この企画で作者違いで内容がバッティングするのは、お約束になりましたね

羽毛布団—こちらは桂馬なんですね。もしかして禁欲詰でも最後以外同じなんですね！

④駒井めい作(登場 13 回)

禁欲協力詰 5 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | 馬 | | | | 一 |
| | | | | | | | | 糸 | 二 |
| | | | | | 王 | | | | 三 |
| | | | | | | | 王 | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | 龍 | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

【解答】

26 龍 25 角 同龍 13 玉 22 角 まで 5 手 (詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | 馬 | | | | 一 |
| | | | | | | | 角 | 糸 | 二 |
| | | | | | 玉 | | | 王 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | 龍 | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

【作者コメント】

攻方に合駒取りを強要するために受方が逆王手します。

【担当者コメント】

★普通の協力詰ならば簡単に詰みそうな形。とはいえ 41 角の利きが強力ではあります。

★54 龍から考えていると時間はかかりますが、26 龍と回ると方針は見えてくることでしょう。後ろ斜めに利く銀 or 角を合駒すれば、それを取って 13 玉に対して打てば良いと。それでは、正解の合駒はどっち？

★25 銀とすると、禁欲ルールのためにそれを取ることはできません。15 龍や 35 龍が指せてしまい、それらの王手が優先になります。逆に 2 手目 25 角ならば、攻方はその角を取らざるを得ません。43 の攻方玉に逆王手がかかっているからです！これで無事、合駒を取ることに成功しました。

★禁欲ルールでは、いかに攻方に駒を取らせるかをテーマにすると作りやすいと思います。本作はその意味づけを、攻方に対する逆王手という形で示しました。

【短評】

神無七郎—逆王手なら仕方ない…と、言い訳しつつ駒を取るわけですね。これを発展させると「逆王手に逆王手を返す手を防ぐための持駒消去」のような作品も作れそうに思います。

荻原和彦—逆王手してくれると実に好都合。雉も鳴かずに撃たれまいに。

占魚亭—逆王手を利用。

Springs—初手 54 龍を先に考えました。

真 T—逆王手で禁欲解禁。

さつき—逆王手で合駒を取らざるを得ない状況に誘導する手筋。

るかなん—王手回避と王手義務の二重の縛りで禁欲を突破。こうして見ると攻方の王手義務は相当強い制約ですね。

上谷直希—逆王手で駒取りを強制。意味付けの核だけ拾うのであれば構図はもう少し洗練できそう。

神在月生—受方の 誘導灯に 導かれ

岡野陽駿—最初 54 龍から入って沼るも 25 角が見えて決着

変寝夢—逆算して攻方に角を渡したいなあ。25 合がどんな合駒でも同龍とできたら詰むようにしたいなあ。

羽毛布団—この合駒じゃないと取れないの、なるほどと思いました

⑤上谷直希作(登場 4 回)

禁欲協力詰 9 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 王 | 四 |
| | | | | | | 王 | | 王 | 五 |
| | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | | | 馬 | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 銀 歩

【解答】

16 銀 同飛 37 馬 26 桂 同馬 同飛
16 歩 同飛 27 桂 まで 9 手
(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 王 | 三 |
| | | | | | | 玉 | | 王 | 四 |
| | | | | | | | | 王 | 五 |
| | | | | | | | | 王 | 六 |
| | | | | | | | 桂 | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

【作者コメント】

禁欲ならではの意味付けでの銀先銀歩。銀のほうを持駒に残していると合駒が稼げない。この構図以外でも可能な狙いでどの図を採るかは悩みましたが、結局一番駒数が少ない図を選びました。

【担当者コメント】

- ★すっきりした初形。さて何が飛び出してくるか。
- ★桂馬を合駒してそれを取れば、飛車を 16 に動かすだけで 27 桂と打って詰み。となると、初手から 16 歩同飛 37 馬として合駒請求。26 桂馬に同馬と……。
- ★できません。持駒に銀があるので、駒を取らない王手である 24 銀が優先されてしまいます。受方もこれには同金しかなく、攻方視点で逆王手。失敗です。

★失敗の原因は初手にありました。銀と歩の持駒ですが、銀の方を先に打つのが正解。以下同様に進んだ時、26 桂に対する王手が同馬しかないというのが、作者の主張でした。

★以前から禁欲ルールを発表している作者。今回もまた、禁欲ルールの持つ可能性を引き出す作品を見せてくれました。

【短評】

神無七郎一駒を取るための銀先銀歩。こんな意味付けの強駒先打は初めて見ました。「強駒先打」は「Fairy of the Forest #27」(結果稿 WFP35 号)の募集課題になっていましたが、いろいろなルールでその可能性を試すのも面白いと思います。

荻原和彦—5 手目の駒取りを可能にするための初手銀捨てが絶妙。4 手目の桂合は読みの入った自殺手。

占魚亭—16 歩が先だと合駒された時に 24 銀と打つしかないのか。

Springs—将来の禁欲手発動を回避する銀先銀歩。

真 T—銀先銀歩。

駒井めい—桂合を取るために銀を先に使う。巧い表現。

さつき—王手の手段を減らすために銀を先に打つ不利感がいいです。

るかなん—銀先銀歩。歩を残す理由が打歩詰と何も関係ないのも協力詰ならではの。

神在月生—戦力を減らす禁欲 不利先打

岡野陽駿—銀先銀歩を簡単に表現。

変寝夢—銀先銀歩なんて言葉、久しぶりに書いたなあ。

羽毛布団—駒を取れるように先に銀を捨てる工夫がいるんですね

⑥占魚亭作(登場 13 回)

禁欲打歩協力詰 9 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | 歩 | 歩 | | 四 |
| | | | | 馬 | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | 金 | | | 七 |
| | | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

【解答】

54 馬 45 歩 同馬 17 玉 35 馬 16 玉
27 金 15 玉 16 歩 まで 9 手

(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | 歩 | 歩 | | 四 |
| | | | | | 馬 | | 王 | | 五 |
| | | | | | | | 歩 | | 六 |
| | | | | | | | 金 | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

【作者コメント】

19 玉型で創るつもりでしたが変更してこの形にしました。

【担当者コメント】

★一度投稿されてきたものがあまりに難解だと感じたため、別作品を出してもらうことにしました。後日「フェアリー入門別館」でお目にかかるかもしれません。

★さて本作。普通の協力打歩詰ならば、45 馬 17 玉 35 馬 16 玉 34 馬 15 玉 16 歩といった手順で詰みます。しかしこれは禁欲ルール。5 手目 34 馬と歩を取る手は優先されないため、歩の入手ができません。

★馬と金の利きが強いので、歩の入手は「34 歩を取る事」ではなく、「歩を合駒請求してそれを取る」ことで達成されます。

★実は、合駒請求する位置とタイミングも重要だったりしました。例えば、54馬 17玉 44馬 35歩同馬 16玉 34馬 15玉 16歩というような手順も考えられます。ただしこれは5手目 27金という王手が優先されてしまい、逃れです。

★実際に解く時は、何となく作意通りに進めた人が多いのではと思いますが、実は裏に禁欲ならではの紛れが込められている作品でした。

【短評】

神無七郎一詰上り「リ」の曲詰。作者名と打歩ルールで警戒しましたが、手順は普通でした。「打歩」が入っているのは担当者向けサービス？

荻原和彦一24を塞ぐ5手目が決め手。散り場所を弁えた玉の所作も美しい。

Springs一玉が移動できるスペースを確保しながら攻める。

真T一何も考えずに合駒で歩を入手。解けてから禁欲だから34歩が取れないことに気づきました。駒井めい一馬は近づきすぎない。

さつき一禁欲ルールじゃなかったら35とかで歩を調達する筋が発生。なるほどです。

るかなん一じわじわ狭まる包囲網。この攻方金と受方玉の位置関係が禁欲では強い。

上谷直希一合駒稼ぎのタイミングは2手目しかない…というのが狙いか。

神在月生一馬上手く 打ち歩舞台を 構築す

岡野陽駿一虚空にポツリと放たれし 36歩

変寝夢一ゆる一い手順

羽毛布団一打歩ルールだと簡単には詰まないのが面白いです

⑦真T作(登場 13回)

禁欲協力詰 347手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 皇 | 歩 | 一 |
| | | | | | | 香 | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | 香 | 王 | | 七 |
| | | | | | | 皇 | | | 八 |
| | | | | 金 | | | 王 | | 九 |

持駒 歩17

【解答】

≪28歩 26玉 27歩 25玉 26歩 24玉 25歩 23玉 24歩 13玉 23歩成 14玉 24と15玉 25と16玉 26と17玉 27と 同玉≫×17、
38金 26玉 28香 27飛
同香 17玉 18飛 まで347手
(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 皇 | 歩 | 一 |
| | | | | | | 香 | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | 香 | 香 | 王 | 七 |
| | | | | | | 金 | | 飛 | 八 |
| | | | | | | | 玉 | | 九 |

【作者コメント】

持駒消去。攻方の持駒がなければ7手詰。

1サイクル 20手で1歩消去します。

【担当者コメント】

★手数だけ見ると、「ホントに入門……？」と言われてもおかしくありません。しかし蓋を開けてみると、お見事全員が正解でした。

★12に歩がいるために1筋に歩を打つこともできないので、28歩 26玉以降は、とにかく歩1枚で追いかけて続けることとなります。

★23歩成まで進んだら、玉は上段へ逃げるしかない。攻方も、22香が29玉をにらんでいるので、と

金を引いていくことでしか王手ができません。

★27 まで戻ってきたら同玉。これで無事に、初形のまま持駒の歩を 1 枚だけ消化することに成功しました。

★この 20 手サイクルを 17 回続けたら、いよいよ収束へ。持駒がないので 38 金と香車を取るしかなくなり、合駒請求。

★考えどころは実質 28 香からの 5 手協力詰だけと言えるので、手数を見て投げ出しさえしなければ悩まずに解けたと思います。「今まで解いた中で最長手数」という声もあり、担当として嬉しい限りです。

【短評】

神無七郎一攻方 12 歩が二歩禁と脱出防止を兼ねた禁欲らしい配置。一瞬、歩が逆向きかと思っ

てしまいました。荻原和彦一344 手目の飛合は偉大なる八百長精神の発露。香の品切れを目的とする香配置は少々苦しいか。

占魚亭一シンプルなサイクル手順。収束での香の打ち場所に注意。

Springs一シンプルな仕組みで往復を繰り返しているのがよい。

駒井めい一歩/と金のエレベーター。収束で飛合が出るのもカッコイイ。

さつき一易しく楽しい長編。禁欲ルールは②③含めこういった系統の作品を作りやすいのでしょうか。

るかなん一飛が品切れだから香限定はありがたいですが、逆は珍しい。

上谷直希一きっちり 1 サイクルごとに 20 手消費しなければならない(手数を節約できない)のが禁欲ならでは。

神在月生一歩を消化 飛合入手を 果たしたり 岡野陽駿一解けた問題のなかで人生史上最長手数。ヒントに助けられた。

変寝夢一プロブレムの人なら持駒は歩1枚にするのかな。

羽毛布団一手数見てびっくりしました！こんなに長い初めて解きました

⑧真 T 作(登場 14 回)

禁欲協力詰 5 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | 飛 | 角 | | | | 王 | 糸 | | 四 |
| | | | | | | | マ | | 五 |
| | | | | 香 | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 香

【解答】

49 香 46 角 48 角 64 角 66 角 まで 5 手 (詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | 飛 | | 馬 | | | 王 | 糸 | | 四 |
| | | | | | | | マ | | 五 |
| | | | 角 | 香 | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | 香 | | | 九 |

【作者コメント】

合駒を動かす。禁欲みは薄め。

【担当者コメント】

★「フェアリー入門」ではおなじみ、真 T さんの“合駒を動かす”作品です。プロブレム用語的には「シフマン」ですね。

★禁欲ルールがなければ、51 角成 64 金同飛 43 玉 33 金までのような感じで、色々な詰み筋があります。

★初形で、44 玉の逃げられる場所は 33・43・45 であると確認すれば、49 香 66 角での両王手の詰め上がりが見えそうです。後はそのバッテリーを構築する手順を考えるだけ。

★一応注意すべき点は、2 手目 45 角→4 手目 54 角という応手。この場合、最後の 66 角に対しては、53 の逃げ道が確保され、53 玉と逃げられてしまいます。

★本作は、手順そのものに禁欲が現れるというより、余詰消しのために禁欲ルールが働いているといった感じが強いと思います。協力詰を作りたいけれど、なかなか余詰が消えてくれない時、禁欲ルールを追加することで完全作になる可能性があるのかもしれない。

【短評】

神無七郎一横の両王手を縦の両王手に変えるマジック。禁欲でないと2手目48合でも詰むんですね。なるほど。

荻原和彦一出ましたシフマン。気分最高の華麗なる詰上り。

占魚亭一バッテリーを組み換えるために最遠打。移動合の感触が抜群。

Springs一この筋がこれだけ簡素な配置で実現できるのは新鮮。

駒井めい一角合動かし。飛車の利きは詰ますのにそれほど重要ではないと気づいてようやく解決。

さつき一最短のシフマン。新参者故にあまりヒントがピンときませんでした。真Tさんの代名詞的な筋とはシフマンでしょうか？

るかなん一最遠打と連続限定中合の合わせ技。両王手は最後まで辛抱。

上谷直希一駒取りを避けなければならないので後手の応手が決まる。

神在月生一禁欲で各種手順を封印す

変寝夢一禁欲のお題からこの図に至った経緯に興味がある

羽毛布団一合駒に悩みました、角ばかり動いているのが面白いです

⑨たくぼん作(登場5回)

禁欲協力詰 10手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | 金 | 王 | 王 | 九 |

持駒 なし

【解答】

28 金 29 金 同玉 38 銀 18 玉 29 銀 19 玉
28 銀 18 玉 19 金 まで 10 手
(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | 銀 | 王 | 八 |
| | | | | | | | | 金 | 九 |

【作者コメント】

金を取る基本手筋問題です。

【担当者コメント】

★偶数手詰なのでまず受方の初手を考えないといけないのですが、

・王を動かす→18玉しかなく、以下28金19玉18金同玉で詰まない

・銀を動かす→以下29金同玉などで詰まないということで、持駒Xをどこかに打つしかありません。

★続いて2手目なのですが、29金しかありません。同玉にしても同Xにしても、3手目の時点で攻方の駒は持駒の銀のみ。つまり、残り7手で銀でXを取り、X+銀で玉を詰ませる形を作ることになります。Xの特定は、おそらく金であろうことは想像できると思います。

★後は、王手をかけながら銀で金を取れる状態を模索することになります。これはもう、色々な形を考えてみるのが結局一番の近道だと思います。

★直後の、同作者による10番や11番にも共通する詰ませ方であり、特に11番の収束がヒントになったかもしれませんね。

【短評】

神無七郎一駒取りしか王手がない状態を作るのに結構苦労しました。銀という駒が“便利過ぎる”ことが良く分かる作。

荻原和彦一前方からの銀の王手は2通りあり、駒取りを選べない。バックからの王手を7手目19玉が好アシスト。

占魚亭—やっぱり、欲しいのは金ですね。
Spirings—盤の隅を使って駒を取る。⑩に向けて銀の取り方を学びました。

真 T—初形と詰上りで盤上にある駒種が一緒。
駒井めい—初手で金を打つのはすぐに分かったけど、打ち場所が悩ましかった。駒を取るのも一苦労。

さつき—初手金はすぐ分かりましたが、打ち場所やその後の手順が難しかったです。

るかなん—必ず通る場所を補給ポイントに。

上谷直希—攻方の初手が必然。

神在月生—禁欲で 取りまくるかな 強欲家

岡野陽駿—ミニ煙の好作

変寝夢—最下段で玉の横に銀のパターンが中々浮かばなかった。

羽毛布団—どうやって金を取らせてもらおうかとかなり考えてしまいました

⑩たくぼん作(登場 6 回)

禁欲協力詰 39 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩

【解答】

99 歩 97 玉 98 歩 96 玉 97 歩 95 玉
96 歩 94 玉 95 歩 93 玉 94 歩 83 玉
93 歩成 84 玉 94 と 85 玉 95 と 86 玉
96 と 87 玉 97 と 88 玉 98 と 89 玉
99 と 78 玉 89 と **69 玉 79 と** 58 玉
69 と 67 玉 78 と 76 玉 85 銀 86 玉
87 と 95 玉 96 と まで 39 手

(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

【作者コメント】

考え所は銀を取ってからの収束だけ。

【担当者コメント】

★序盤はほぼ必然に近い手が続きます。ただし、28 手目に 69 玉とするのが注意点。68 玉とすると、次の攻方は 68 とが優先されてしまい、銀を取れません！当初、数名がうっかりしてしまいました。
★79 とに対して 59 玉や 58 玉と逃げた局面は、一見右に追った方が早そうな気がします。しかしそれではどうしても手数オーバー。8 筋 9 筋でと金+銀の形を作るのが正解でした。

★ただし、その地点を特定するのも意外に面倒。9 番と同様、多分早道はありません。87 銀 97 玉の形・86 銀 96 玉の形……といったように、色々な形を検証していくのが結局最善の方法かと思われます。

【短評】

神無七郎—「禁欲」がなければ 35 手で詰む有名な形。こういうパロディもたまには良いですね。
荻原和彦—銀の捕獲までは一本道。後は 8 筋に銀を打ち、9 筋にと金を運ぶ収束が最速。31 手目のと金逆行が印象的。ここで銀を使う訳にもいかず必然の選択だが、本能に反する手ではある。

占魚亭—玉を端へ追い込む際に銀をいつ打つかポイント。

Spirings—最後、手数が足りなくて苦戦しました。
真 T—収束悩みました。

駒井めい—85 銀になかなか気付かず、手数オーバーに苦しみました。

さつき一案の定 30 手目以降の協力詰パートで躓きました。

るかなんーと金が大回りでしターン。横着して銀で追うと手が足りなくなるんですね。

上谷直希ー収束 5 手が見えずかなり苦勞した。

神在月生ー最終も 横は二手長 縦に追う

岡野陽駿ーグルグル廻り回って頭と金

変寝夢ー禁欲ルールがつくと少しだけ面倒くさくなるのですね

羽毛布団ーと金での追い方を間違えて 41 手に嵌りました。難しかったです

⑧ たくぼん作(登場 7 回)

禁欲協力詰 57 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | 銀 | 銀 | 銀 | 金 | 金 | 飛 | 角 | 角 | 六 |
| 歩 | 桂 | 桂 | 桂 | 香 | 香 | 香 | 香 | 桂 | 七 |
| 金 | 玉 | | | | | | | 歩 | 八 |
| | | 飛 | 玉 | 玉 | 玉 | 玉 | 玉 | | 九 |

持駒 歩2

【解答】

19 歩 28 玉 78 飛 68 と 同飛 58 と
同飛 48 と 同飛 38 と 同飛 同玉
39 歩 48 玉 49 歩 58 玉 59 歩 68 玉
69 歩 78 玉 79 歩 89 玉 99 金 79 玉
89 金 69 玉 79 金 59 玉 69 金 49 玉
59 金 39 玉 49 金 28 玉 39 金 19 玉
29 金 同玉 18 銀 38 玉 29 銀 49 玉
38 銀 58 玉 49 銀 69 玉 58 銀 78 玉
69 銀 89 玉 78 銀 98 玉 89 銀 99 玉
88 銀 98 玉 99 金 まで 57 手

(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | 銀 | 銀 | 銀 | 金 | 金 | 飛 | 角 | 角 | 六 |
| 歩 | 桂 | 桂 | 桂 | 香 | 香 | 香 | 香 | 桂 | 七 |
| 玉 | 銀 | | | | | | | | 八 |
| 金 | | | | | | | | | 九 |

【作者コメント】

ほとんど紛れがありませんが1往復半の3趣向の旅です

【担当者コメント】

- ★往路…歩を連続で取り、その歩を連打して追う。
- ★復路…98 金を出動させ、金 1 枚で追っていく。
- ★往路…復路で最後に取った銀を使って、銀 1 枚で追っていく。
- ★可能な王手が限られているので、それぞれの趣向で悩みどころも少なかったと思います。趣向同士の繋ぎ部分も難しくないのが、完成度が高いところ。
- ★収束で、「88 金 89 銀 99 玉の形を作ることで、88 銀という金取りができる」のを理解すると、ひるがえって 9 番の大ヒントになります。実は 11 番から解いて、9 番に戻った方が良かった？

【短評】

神無七郎ー気持ち良く解けるー往復半の趣向作。禁欲なのに駒取りがかなり多いのが面白い。
荻原和彦ー禁欲と言いつつ、39 手目 18 銀から 88 の金を取りに行く駒取り大作戦がまかり通る皮肉。パターンを変えながらの右往左往が楽しい。
占魚亭ー楽しい軽趣向作。終盤の銀追いが楽しい。
Springsー楽しいくるくる系。
真 Tー1 往復半異なる駒で追うのが楽しい。
駒井めいー置いた歩を綺麗に掃除。最後に銀がジグザグ動くのもコミカルで面白い。
さつきー1 回目の往路では持駒の歩が邪魔駒になっているのが面白いですね。

るかなん一飛車を捨てたら手が続かないんじゃないかと思いきや。

上谷直希—どうすれば手が続くだろうかと考え、途中からは軌道にのる。

神在月生—ごちそうの金は最後に喰いにけり
変寝夢—78銀の瞬間に出題の言葉がようやくわかった。

羽毛布団—色々な駒で追いつけるのが楽しいですね

⑨ springs 作(登場 21 回)

禁欲協力詰 4手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 銀 |
| | | | | | | | | | 王 |
| | | | | | 飛 | 金 | | | |
| | | | | | | | 銀 | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

持駒なし

【解答】

24飛 34金 23飛 24金 まで 4手
(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 銀 |
| | | | | | | | | | 王 |
| | | | | | 飛 | | 銀 | | |
| | | | | | | | 金 | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

【作者コメント】

飛車を金が追いかけます。

初形で22銀生などの駒を取らない王手が多数あるので、4手で駒を取って詰ますことはできません。攻方は「34金、23合、24金迄」の筋を目指します。しかし、下記の2つの問題があります。

・34飛がいるので34金が駒取りになって指せない

・受方の飛車が24に利いていると24金を飛車で取られる

これを24飛から23飛でピンされに行くことで解決します。

【担当者コメント】

★ここからが最高レベルの難易度設定。おそらく妥当なところだったと思います。

★飛・金・銀の対子図式。重たく見える局面です。

★実はそもそも、普通の協力詰3手だとしても、あまり詰む気がしません。例えば23金14玉と進んだら、そこから1手では詰みそうにありません。

★どんな王手だとしても、とにかく次に14玉と逃げられる可能性があるというのが大きなポイントでした。つまり、本作が3手協力詰だと仮定した時、3手目に14の地点を抑える手を指せば良いということ。

★とすると、「34金、23合、24金まで」という仮想手順が浮かんできます。しかし今度は、禁欲ルールのために初手の34金が指せません。

★ここで、本作の本来の手数に戻ってみましょう。都合のいいことに、攻方34金の1手前に、34飛車を動かせるではありませんか。

★ただし、もう1つ課題があります。ただ14飛というように動かすだけでは、仮想手順の最終手である「24金」が取られてしまいます。ならばと初手24飛として34金、23合として、24金と飛車を取る手は、4手目に22銀の王手が優先されてしまう……。

★なるほど、3手目に23飛と移動合をすれば、24金は駒取りにならないし、24金を取り返すこともできないというわけか！

★かくして、34飛と33金が追いかけてこをしているような、ちょっと不思議な手順が出てくるのでした。

【短評】

神無七郎—飛の後を追う金。他にいくらでも手段がありそうなのに、34飛の無力化にはこれしか方法がないのが驚き。

荻原和彦—出ましたウムノフ。濃密で味わい深い手順。

占魚亭—セルフピンとは上手い方法ですね。

真T—ぱっと見えたのが44飛 34金 43飛 24金。禁欲だからダメだと思ったら逆でした。

るかなん—93 角 57 飛 17 角 28 飛 57 角成
49 玉 39 飛 迄としようとしたら桂馬が控えてい
た。

上谷直希—やりそうなことは分かるけどうまく見つけ
られず。

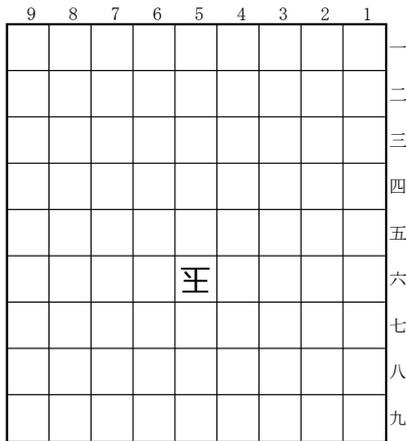
神在月生—遠近打 組合せての 止め金

岡野陽駿—最遠限定打二発

羽毛布団—そっちから角を使うんだと思って驚きま
した！

⑪ たくぼん作(登場 8 回)

禁欲協力詰 9 手



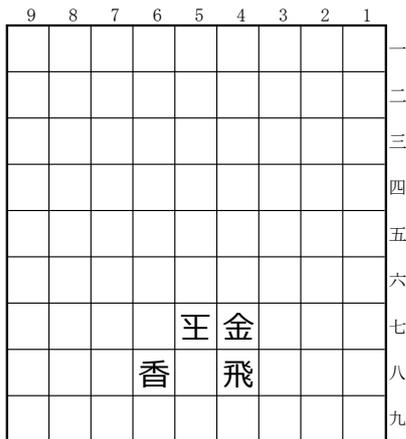
持駒 金香

【解答】

46 金 67 玉 69 香 68 飛 同香 58 玉

48 飛 57 玉 47 金 まで 9 手

(詰め上がり図)



【作者コメント】

裸玉でまとまったので投稿します。

58 玉が盲点になりやすいか。

【担当者コメント】

★金+香では詰まないの、香車で合駒を出す→それを奪取するのが絶対条件です。ただし指定手数が短いので、できるだけ早く合駒を手に入れたいところ。★持駒が 2 枚あるので、禁欲ルールのために 3 手目で合駒を手に入れるのは不可能です。つまり、最短でも合駒が手に入るのは 5 手目。流石に 7 手目に合駒を入手するのは手数オーバーになりそうなので、やはり 5 手目の合駒入手をベースに考えるべきでしょう。

★初手 59 香として 58 飛(合駒は流石に飛車だろうという前提で進めます)となると、5 手目に 58 飛車を取ることはできるでしょうか? 以下 47 金 55 玉はそのまま金での王手が優先されるので 46 金……。

★そう。金の利きが強すぎて、初手に香を打ってしまうと 5 手以内に合駒を入手するのは不可能なのです。香打ちの位置・合駒の位置のパターンは色々ありますが、全て 5 手以内の駒入手ができないことに気づけるかがポイントでした。

★つまり初手は金打ち。初手香打ちの紛れを読んでいたなら、初手 47 金や 57 金は、5 手以内の駒入手が不可能そうだと判断できると思います。

★ここまできてやっとな、「46 金 67 玉 69 香 68 飛 同香」か、「55 金 67 玉 69 香 68 飛 同香」のどちらかが正解だと読み切ることができます。

★禁欲ルールの特性を考えながらなので、ここまで到達するのはかなり難儀すると思いますが、上記の 2 択まで絞り込みさえできれば後は決して難しくはいはず。ここまで来るともはや「禁欲」ルールは関係ないので、普通の協力詰として金+香+飛で捕まえる形を考えれば、解答にたどり着くことができると思います。

【短評】

神無七郎—「禁欲」がなければ香を打つ手を真っ先に読む形。3 手目からは普通の協力詰ですね。荻原和彦—悪戦苦闘の末、何とか解けて大満足。飛を取った時点で金と香が 2 筋離れている形が良いと気づけば、初手金打に絞られる。

占魚亭—香打ちのタイミングがポイント。少々、手こずりました。

Springs—角を引き成る筋にこだわりすぎて苦戦しました。打った金を引いて詰ますのがいい感触。

真 T—最終 3 手がなかなか見えず苦戦しました。

駒井めい—初手は金か香で王手するところまでは

真 T一最遠打の意味付けを考えた時に 14 玉と来た時 23 合を取るためと思ったら 15 に駒が落ちてました。

駒井めいー15 歩の駒取りを実行するために角を最遠打。22 の地点に利きを作るためとは言え、すぐに角の利きを遮断してしまうのは意外。

さつき一攻方の強力な駒を無効化したり捨てたりするのは禁欲の醍醐味でしょうか。

るかなん一最悪詰⑬と同じで角引きを強制されないための最遠打。前回解けなかった分念入りに解説を読んだ甲斐がありました。

上谷直希一やりたいことはわかるが、もう少し洗練させたい。

神在月生一手練れには 禁欲遠打 一目かな

⑬ たくぼん作(登場 9 回)

禁欲協力詰 103 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| 馬 | 馬 | | | | | | | | 三 |
| | 王 | | | | | | | | 四 |
| | 馬 | 皇 | 皇 | | | | | | 五 |
| | | | 皇 | 皇 | 皇 | 王 | 馬 | | 六 |
| 王 | 金 | | | | | | 馬 | | 七 |
| 馬 | 歩 | 馬 | 馬 | 馬 | 馬 | | | 玉 | 八 |
| 王 | | | | | | | 王 | | 九 |

持駒 歩2

【解答】

- 89 飛 同玉 88 金 79 玉 89 金 69 玉
- 79 金 59 玉 69 金 49 玉 59 金 38 玉
- 39 歩 同桂成 49 金 47 玉 38 金 57 玉
- 47 金 67 玉 57 金 76 玉 67 金 86 玉
- 76 金 87 玉 86 金 88 玉 87 金 89 玉
- 88 金 79 玉 89 金 69 玉 79 金 59 玉
- 69 金 49 玉 59 金 38 玉 49 金 47 玉
- 38 金 57 玉 47 金 67 玉 57 金 76 玉
- 67 金 86 玉 76 金 95 玉 86 金 94 玉
- 95 歩 同金 同金 同玉 94 金 96 玉
- 95 金 86 玉 96 金 87 玉 86 金 88 玉
- 87 金 89 玉 88 金 79 玉 89 金 69 玉
- 79 金 59 玉 69 金 49 玉 59 金 38 玉
- 49 金 47 玉 38 金 57 玉 47 金 67 玉
- 57 金 76 玉 67 金 87 玉 77 金 96 玉
- 86 金 97 玉 96 金 87 玉 86 金 77 玉

76 金 87 玉 88 歩 96 玉 86 金 97 玉
87 金 まで 103 手
(詰め上がり図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| 馬 | 馬 | | | | | | | | 三 |
| | 王 | | | | | | | | 四 |
| | 馬 | 皇 | 皇 | | | | | | 五 |
| | | | 皇 | 皇 | 皇 | 王 | 馬 | | 六 |
| 王 | 金 | | | | | | 馬 | | 七 |
| 馬 | 歩 | 馬 | 馬 | 馬 | 馬 | | | 玉 | 八 |
| 王 | | | | | | | 王 | | 九 |

【作者コメント】

運動場を2周半。キーも分かりやすく楽しんで頂ければ本望です。

【担当者コメント】

★金 1 枚で、3 筋～8 筋に出現するトラックをくると周回する趣向です。

★序奏はまず、金 1 枚で追っていくルート作り。いきなり 2 手目“同”と“という、おそらく意図していなかった紛れがあるのですが、そこは後述します。

★39 桂成と飛ばせれば、周回ルートになりそうな形がぼんやり見えてきました。この中で金が玉を追いかけていき、局面を変化させていくようです。

★ここで、最終目標を意識しておきましょう。攻方の究極の目標は「77 との奪取」です。これをもう少し解像度を上げるとこうなります。「67 金 77 と 87 玉の形を作る。この時持駒はなしである。」

★1 周目。24 手目は 87 玉と指したいのですが、禁欲ルールのためにできません。一度 86 玉として 76 金に 87 玉。攻方は禁欲ルールのために 77 金とできないので、次の 1 周でチャンスをうかがいます。

★2 周目。50 手目に 87 玉が可能ですが、今度は攻方が 77 金と取れません。持駒に歩が 1 枚あるのです。攻方は持駒の 1 歩を消化するために、今度はコースを外れて 9 筋に追っていきます。受方の金⇄攻方の歩+金を交換して、今度こそ 77 とに狙いをつけます。

★3 周目。88 手目にして、やっと最終目標「67 金 77 と 87 玉の形を作る。この時持駒はなしである。」の形が完成しました！堂々と 77 金を指すことができ、収束に入ります。詰め上がりの玉位置は 97 であると予想できるものの、ちょっとややこしいと

は思います。ただ、ここまで読むことができれば、最後まで到達することも可能でしょう。

★最終目標を愚直に追いつけることで、論理的に局面を打開していく作品でした。

★なお、2手目に同ととする手がありました。以降99金79玉89金と追っていき、作意に合流します。しかし、作意よりも1歩多く持っているために、「67金77玉87玉」の形を作っても、持駒のせいで永久に77とを取ることができないのです。2周目～3周目の繋がりがあるので迷宮入りは避けられたようですが、ともすると無限回廊から抜け出せない可能性も秘めていたようです。

【短評】

神無七郎—最初2手目「同と」を読んでしまいました。歩を1枚余分に稼いだせいで余計な苦労をする羽目に…禁欲作品を解く時は欲を出すのは禁物ですね。

荻原和彦—2手目97玉は後が続かないため同玉。金1枚で追う不安な旅立ち。

回廊を完成させ、2巡目の金交換で手応えを掴む。89手目77金以降は手が広い。88歩が入る手順を発見してようやく決着。

五里霧中の第1幕、迷宮探索の第2幕、詰み形を求める第3幕、いずれも面白かった。

占魚亭—邪魔駒を消していく追跡劇。面白かったです。

Springs—3周目でどうしたらいいか分かりませんでした。

真T—2手目何も考えずに同とと取ったため歩が使えず往生。持駒が多ければいいわけではない。駒井めい—簡単に解ける気がして解いてみたら案外手が続かず。ヒントを見てもどこを周回するのか分からず。

さつき—1週目の桂馬消去の意味合いが禁欲らしくて素敵だと思います。

るかなん—ヒントで「3周」とわかっていたので解くモチベーションになりました。各周ごとに別々の収束手順を解いているような不思議な感覚。

神在月生—1ル—走 金から金へ 役目継ぐ

岡野陽駿—これが趣向ものか！最後に収束5手を見出した時の感動たるや。左回転の金追いが綺麗。駒もよく消えました。

総評

神無七郎—今回は⑬と⑯がやや難解(自分が勝手に紛れに嵌っただけ?)でしたが、後は入門らしい作品だったと思います。

荻原和彦—フェアリーは最近始めたばかりで「禁欲」はあまり馴染みがありませんでしたが、なるほど面白い条件ですね。

駒井めい—難易度表記があったので、取り組みやすかったです。レベル3まではサクサク、レベル4は悩んでなんとか感じてました。

さつき—自分は繰り返し趣向が大好きなので構いませんが、入門にしては中長編が多い気がします。短編も良問揃いで楽しかったです。

るかなん—今回は平均手数が長かった印象。禁欲は手数が長くなる傾向があるのでしょうか？

上谷直希—好きなルールだからかいつもより解けました。

神在月生—今回も楽しからずや 入門は変寝夢—後半は入門という感じはしませんね w
フェアリー詰将棋学校といったところでしょうか。

第1回 フェアリー入門別館 出題

フェアリー入門別館 第1回の出題です。
最初から別館出題を想定していたもの、そうでないもの、早速色々な作品が集まりました。

《出題順について》

手数順での出題です。「フェアリー入門」とは違って、難易度順ではありませんのでご注意ください。

《「想定難易度」について》

原則、担当は投稿の時にガチ解図の時間をある程度設け、一定時間経過で投稿者からの解答を見ます。その時の自分の主観で、「想定難易度」を5段階設定しています。「フェアリー入門」とは別の設定なので、ご注意ください。

【NORMAL】……「フェアリー入門」★1～3レベル

【HARD】……「フェアリー入門」★4レベル

【VERY HARD】……「フェアリー入門」★5レベル

【EXTREME】……それ以上の難しさ

【ANOTHER】……人間に解けるのか？

《ヒント等について》

「フェアリー入門」では解答者フレンドリーを目指すため、出題図直下にヒントを提示していました。それと違って別館では、ヒントは出題図一覧の後にまとめて提示しています。作問者とのガチンコ勝負を挑みたい方は、ヒント無しで挑むのも一興でしょう。

《ルール確認》

【点鏡】

55 に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

[補足]

・行き所のない駒の禁則は適用されない

【All-in-Shogi】

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも1手前の局面に戻す着手は禁手とする。

[補足]

1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。

2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。

3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。

4) 自玉を取らせる手は反則

【とX】

歩が成るとXの性能になる。Xが玉、金以外の生駒の場合は、以降の手順で成ることはできない。

(補足)

1) 「行き所のない駒」より王手を優先する

(玉を取ったときに「行き所のない駒」になる場合でも「王手」は有効とする)

2) 「行き所のない駒」の禁則の再帰的適用は行わない(実際に盤内に利きがなくなった時のみ「行き所のない駒」と判定する)

【非王手】

王手をかけてはいけない。

【禁欲】

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

【打歩】

打歩詰以外の詰手を禁手とする。

(補足) 今回出題される作品の打歩は「単純打歩」です

《解答締切》

2023年3月15日(水)

《解答先》

メール: 伊達 悠

(ydate_burning_beach■yahoo.co.jp)■→@に変更

件名に「解答」の語句を含むようにしてください。

《作品一覧》

第1番 占魚亭作

と玉点鏡 All-In-Shogi 協力自玉詰 7手(奇数手)

持駒 飛金

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 王 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

持駒 歩

第2番 神無七郎作

非王手協力詰 9手

持駒 なし

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | ● | ● | |
| | | | | | ● | 銀 | 王 | |
| | | | | | | | 我 | |
| | | | | | | | 桂 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

持駒 なし

第3番 伊達悠作

禁欲打歩協力詰 9手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 馬 | | | | | 王 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 王 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

持駒 なし

第4番 たくぼん作

禁欲協力詰 91手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | 金 | 金 | 我 |
| | | | | | 継 | 香 | 香 | 継 |
| | | | | 金 | | | | |
| | | | 王 | | 王 | | 王 | 香 |
| | | | 金 | 桂 | 桂 | 王 | 香 | |

持駒 歩17

第5番 北村太路作

禁欲協力詰 769手

持駒 なし

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | 歩 | 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 王 |
| | | | 歩 | | | | | |
| | | | | 我 | 我 | 王 | 王 | 王 |
| | | | | | | | 継 | |
| | | | | | | | 銀 | |
| | | | | | | | 継 | |
| | | | | 香 | 香 | 桂 | 桂 | 香 |
| | | | 香 | | | | | 王 |

持駒 歩16

《想定難易度》

- 1番 占魚亭作:EXTREME
- 2番 神無七郎作:NORMAL
- 3番 伊達悠作:HARD
- 4番 たくぼん作:VERY HARD
- 5番 北村太路作:EXTREME

《その他注意事項》

非標準駒数は1番・2番のみです。
5番の受方持駒なし表示は、他の駒を全て使い切
って結果的に起きていることですので、ご注意ください。

《各題ヒント等》

第 1 番: 占魚亭作

○該当「フェアリー入門」課題:

と玉協力詰(第 9 回)

○「入門」不掲載理由:

他ルールとの複合。

○ヒント等

と玉ルールで協力自玉詰ということは、必然持ち駒の歩が成り、それが詰むということです。ただ、点鏡に All-In-Shogi と、考えるべき要素が多いですね。

第 1 ヒント:「攻方は最後まで駒取りを行わない」

第 2 ヒント:歩成が起きるのは 5 手目、つまり受方の手番である。

両方大きめのヒントではあるのですが、これでも難しめだと思います。頑張りましょう。

第 2 番: 神無七郎作

○該当「フェアリー入門」課題:

非王手協力詰(第 8 回)

○「入門」不掲載理由:

「石」配置のため。

○ヒント等

9 手詰という手の構成を、攻方の手(5 手)+受方の手(4 手)に分解すると、考えやすくなるかもしれません。

第 3 番: 伊達悠作

○該当「フェアリー入門」課題:

禁欲協力詰(第 13 回)

○「入門」不掲載理由:

出題稿の作品を参考に作ったものであるから。

○ヒント等

詰め上がりの場所は想定できるでしょうが、重要なのは攻方の駒構成。馬と歩と、もう 1 枚必要になります。その駒は何でしょう?

また、その駒 X を合駒するタイミング・場所も気を付けましょう。何となく合駒するだけだと、禁欲ルールのために駒を取れなくなってしまうかも?

第 4 番: たくぼん作

○該当「フェアリー入門」課題:

禁欲協力詰(第 13 回)

○「入門」不掲載理由:

ヒントを追加しても「フェアリー入門」には難しすぎるという判断のため。

○ヒント等

序盤の舞台作りが、禁欲ルールに気を付けながら進行しないといけないので難解です。

メイン趣向は 1 筋で、4 手一組で行われます。

収束は、「フェアリー入門」#13-16 の、同作者の作品に近いと思います。還元玉で詰め上がります。

第 5 番: 北村太路作

○該当「フェアリー入門」課題:

禁欲協力詰(第 13 回)

○「入門」不掲載理由:

ヒントを追加しても「フェアリー入門」には難しすぎるという判断のため。

○ヒント等

担当者視点で、この作品を解いた時の過程を一部書いてみます。

自分が解いてみたところ、収束は難しめですが、「持駒を消費して収束に入る」という流れも想定できますし、趣向も難しくなさそうです。

ところが、指定手数を大きくオーバーしてしまいました。これはもう、収束だけで済む手数オーバーではなく、趣向手順そのものにテコ入れをするしかないようです。

勿論 1 サイクルで歩を 1 枚消費します。しかしそのサイクルの繋ぎ目は、本当にその位置で起こるのでしょうか……?

第 15 回フェアリー入門 (All-in-Shogi 協力詰)

担当：伊達 悠

第 15 回のルールは、All-in-Shogi 協力詰です。

【All-in-Shogi】

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも1手前の局面に戻す着手は禁手とする。

- 1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。
- 2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。
- 3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。
- 4) 自玉を取らせる手は反則。

WFP では 122 号で紹介されていますが、プロパラ等ではもっと以前に発表作があるようですね。WFP で紹介されてからは、プロパラ時代のそれとはまた違うアプローチで、様々なものが発表されているという印象を受けました。

今回の All-In-Shogi、特性の使い方が今まで扱ってきたルールよりもかなり広いと考えます。この稿でいくつかの例は提示しますが、取り上げられなかった筋が出てくる可能性は高いのではないのでしょうか。その可能性に恐れつつ期待しつつ、筆を進めていくことにします。それでは、All-in-Shogi ならではの特性を 1 つ見てみましょう。

【例図】All-in-shogi 協力詰 3 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | 飛 | | | | | | 二 |
| | | | | 王 | | | | | 三 |
| | | | | | 歩 | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛角

持駒飛角・中段玉ということで、両王手を想定しやすい形だと思います。ただ、普通の協力詰では 3 手でその形を作ることはできません。5 手あれば、例えば 31 角 52 玉 42 飛 53 玉 43 飛成というようにできるのですが……。

では All-in-Shogi のルールを使ってみましょう。

初手 31 角に対して受方は、通常の王手回避に加え、“攻方の持駒の飛車を打って王手回避する”という選択肢が出てきます。

(All-in-Shogi 補足ルール 1)

棋譜表記は、通常の表記「42 飛」ではなく、受方視点で相手の駒を動かしていることを表すために、冒頭に「v」を追加します。

すなわち 2 手目は「v42 飛」と表記されます。解答の時も、この表記にすることを推奨します。

初手から 31 角 v42 飛と進んだ局面を改めて見るとあら不思議、両王手の舞台装置がたった 2 手で完成してしまいました！以下もちろん 43 飛成として、これで詰み上がりです。

【例図解答】

31 角 v42 飛 43 飛成 まで 3 手

それでは、実際の作例を見ていきましょう。

【例題 1】

菊田裕司／Problem Paradise／1999 年 3 月
All-in-Shogi 協力詰 7 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 王 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 銀2

いきなりですが、強調しておきます。

All-in-Shogi 協力詰の解図は、おそらく今まで「フェアリー入門」で扱ってきたルールのどれよりも、詰め上がりの形を想像することが重要です。

それは、普通の協力詰では不詰でも、All-in-Shogi では詰んでいるという局面がありえるからです。

まずは細かいことを抜きにして、例題 1 の詰め上がりを見てみましょう。

初形から 28 銀、v19 銀、v28 玉、39 玉、28 銀打、29 玉、v18 玉と進みます。

(2 手目は受方の手番に攻方の駒を動かし、3・7 手目は攻方の手番に受方の駒を動かしているというのを、改めて確認しておきましょう。この感覚の慣れ次第で、All-in-Shogi の特性の理解が変わってくるはずです。)

詰め上がり図がこちらです。

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | 銀 | 王 | 八 |
| | | | | | | | | 銀 | 九 |

持駒 なし

普通、この形は詰みではありません。もちろん受方は 29 玉と指せますからね。しかし All-in-Shogi では違います。29 玉と逃げる手は、“6 手目の局面に戻すような着手”であり、すなわち禁手なのです!!

【All-in-Shogi】

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも1手前の局面に戻す着手は禁手とする。

さりとて、受方は玉を他に逃がすこともできず、攻方の 19 銀を 28 に逸らすような手も指せず、これで詰みということになります。

【例題 1 解答;再掲】

28 銀、v19 銀、v28 玉、39 玉、28 銀打、29 玉、v18 玉 まで。

All-in-Shogi 協力詰では、詰め上がり局面は勿論ですが、その 1 手直前の局面をも想像することが求められます。これを利用して、一見詰んでいないように見える詰め上がり(例題 1)も考えられますし、逆に、「本来詰む形だけれど詰まないので、結果着手が限定される」という活用方法があります。次の作品で、その途方もなく高等な技術をご覧あれ。

【例題 2】

真 T / Web Fairy Paradise / 2021 年 5 月
All-in-Shogi 協力詰 5 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 王 | 王 | 一 |
| | | | | | | 飛 | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 香

出題図から、香+角での両王手が想定できそうです。例えば 19 香、16 角、同香、v15 角、33 角成としてみれば詰んで……いません。33 角成に対しては、v15 馬と切り返せるのです。4 手目の局面は 15「角」配置ですが、6 手目の局面は 15「馬」配置なので、“1 手前の局面に戻していない”という主張ができて、これで不詰です。

それでは、5 手目 33 角生は?これも、v15 角成と切り返せます。前述と同様、4 手目の角配置と 6 手目の馬配置を主張できて不詰です。

それでは、そもそも 15 角が 33 角と開く最終手ではなく、17 角が 44 角と開く最終手を考えるとどうなるでしょう。

初形から 19 香、18 角、同香、v17 角、44 角と進むと……

【例題 2 詰め上がり図】

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 王 | 王 | 一 |
| | | | | | | 玉 | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | 角 | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 香 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

受方は、さっきのように v17 角とできません。4 手目の 17 角配置と同じ局面になり、“4 手目の局面に戻すような着手”判定で禁止されてしまうのです。

攻方角が 3 段目より上にいないので、無論 v17 角成と指すこともできません。両王手がかかっているの、それ以外の王手回避手段もなく、これで詰み上がりです。

手順をさかのぼって、そもそも 4 手目に v17 角とする手は、初手に 19 香と最遠打しなければ成立しません。以上より、手順全体に非限定は全くなく、解答が一意に定まります。

【例題 2 解答;再掲】

19 香、18 角、同香、v17 角、44 角まで。

「生駒と成駒は別の駒として扱うこと」と「1 手前の局面に戻す着手は禁手とする」こと。この 2 者を組み合わせて着手の完全限定を図るのは、生半可ではない発想の賜物だと思います。

このような作品を解く場合、詰め上がり局面を想像するのはもはや前提。その 1 手直前の局面も想像しなければ、正解に全く近づけないかもしれません。

改めて強調します。

All-in-Shogi 協力詰の解図は、おそらく今まで「フェアリー入門」で扱ってきたルールのどれよりも、詰め上がりの形を想像することが重要です。

【例題 3】

変寝夢 / Web Fairy Paradise / 2018 年 9 月 All-in-Shogi 協力詰 5 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 王 | | 一 |
| | | | | | | | 玉 | | 二 |
| | | | | | | | 馬 | | 三 |
| | | | | | | | 皇 | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

この稿の最後として、All-in-Shogi 協力詰の独特な感覚をもう 1 つ紹介します。

詰ませるためには、攻方は 23 馬以外にもう 1 枚駒を手に入れなければなりません。しかし、5 手という短い手数では、馬で合駒を稼ぐ暇はありません。結論から言うと、初形からたったの 2 手で、攻方の持駒に駒を増やすことができます。ちょっと読むのをストップして、そのような手順を考えてみてください。

……

……

いかがだったでしょうか。正解は初形から、v12 玉、v24 馬と進みます。

今まで様々な変則ルールを扱ってきましたが、「受方の手番に、攻方が持駒を得る」ものはありません。ところが All-in-Shogi ではそれが可能になります。(※現状、フェアリー入門で取り上げる予定はありませんが、中立駒に似たような感触です。)

創作側はまだしも、解答者としてはにわかには受け入れがたい感覚かもしれません。しかし、この感覚を身につけると、意外と他のフェアリールールに対する理解も深まると思います。

今回の課題を機会に、少し頑張ってもらえると嬉しいところです。

……と、最初の 2 手だけでやたら語ってしまいました。その後もしっかり All-in-Shogi らしさが出ているので、見て行きましょう。

v12 玉、v24 馬で香車を手に入れた後は、15 香、v14 馬、v13 玉と続きます。

【例題 3 詰め上がり図】

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 香 | | 一 |
| | | | | | | | | 王 | 二 |
| | | | | | | | | 馬 | 三 |
| | | | | | | | | 香 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

最終手 v13 玉に対して、まず 12 玉は 4 手目の局面に戻す手で禁手です。その他玉を逃げる手も、攻方 14 馬を動かす手も王手解除はできません。

手は戻って 3 手目。ここで 16 香のような手を指していると、最後 v13 玉には v15 馬と切り替えられ、不詰です。馬の退路？を封じるがための、香車の限定打でした。

【例題 3 解答】

v12 玉、v24 馬、15 香、v14 馬、v13 玉まで。

今までで扱ってきたルールと比較すると、All-in-Shogi はルール理解のハードルが高いです。かくいう自分も正直、All-in-Shogi で起こり得ることを網羅している自信は全くありません。むしろ今回「フェアリー入門」でこれを取り上げることで、All-in-Shogi の持つ全く別の側面が見られる可能性すらあります。

「入門」と名の付くコースですが、大いにチャレンジングな試みをしているつもりです。お互い頑張りましょう。

以上を踏まえた上で、入門用の作品を募集します。

第 15 回フェアリー入門

【(All-in-Shogi 協力詰) 作品募集】

入門用の、易しい All-in-Shogi 協力詰を募集します。今回は、手数に関して一時的な条件を追加しているご注意ください。ルールそのものの難解性をかながみた措置です。

【投稿の方法】

以下のテンプレートを参考にしてください。

《作者名》
発表時に記載する作者名をお書きください。ペンネーム発表を希望の際は、その旨お書きください。

《ルール名・手数》
ルール名と手数をお書きください。
手数は暫定的に 7 手以内のものに限ります。ただし、物によっては 7 手以内でも難解さが過ぎると不採用、9 手以上でも難解すぎなければ採用もあり得ることとします。担当判断となりますので、都度ご相談ください。

【条件】
ツイン・受先・打歩・非標準駒数(受方持駒なしなど)との組み合わせ OK、その他のルールとの組み合わせ・協力白玉詰・フェアリー駒使用は不可とします。

《図面》
初形が確認できる形式であれば、fmo ファイル・kif ファイル等の種類は問いません。

《作意手順》
作意手順をお書きください。

《狙い・作者コメント等》
作品の狙い・またそれに限らず作品に添える一言などがあればお書きください。

【投稿先】

メール: 伊達 悠
(ydate_burning_beach@yahoocoo.jp) →@に変更
件名に「投稿」の語句を含むようにしてください。

【投稿締切】

2023 年 3 月 15 日(水)

同時に、「フェアリー入門別館」の作品募集も行います。

【第 N 回フェアリー入門別館 作品募集】

作品の難易度は問わず、過去のフェアリー入門で
取り上げたルールで作った作品を募集します。

【投稿の方法】

以下のテンプレートを参考にしてください。

《作者名》

発表時に記載する作者名をお書きください。ペンネ
ーム発表を希望の際は、その旨お書きください。

《ルール名・手数》

ルール名と手数をお書きください。

【条件】

他ルールとの組み合わせ・フェアリー駒使用・非標
準駒数など、何でもあり。

《図面》

初形が確認できる形式であれば、fmo ファイル・kif
ファイル等の種類は問いません。

《作意手順》

作意手順をお書きください。

《狙い・作者コメント等》

作品の狙い・またそれに限らず作品に添える一言
などがあればお書きください。

【過去の「フェアリー入門」提示課題】

| 回数 | 課題 | WFP号数 |
|-----|----------------|----------|
| #1 | 協力詰 | 出題 163 号 |
| #2 | 受先協力詰 | 出題 164 号 |
| #3 | 協力白玉詰 | 出題 165 号 |
| #4 | 打歩協力詰 | 出題 166 号 |
| #5 | 連続協力詰 | 出題 167 号 |
| #6 | 強欲協力詰 | 出題 168 号 |
| #7 | 多玉協力詰 | 出題 169 号 |
| #8 | 非王手協力詰 | 出題 170 号 |
| #9 | と×協力詰 | 出題 171 号 |
| #10 | 透明駒 | 出題 172 号 |
| #11 | 駒余り禁 ・限定協力詰 | 出題 173 号 |
| #12 | 最悪詰 | 出題 174 号 |
| #13 | 禁欲協力詰 | 出題 175 号 |
| #14 | ライフル協力詰 | 出題 176 号 |

【投稿先】

「フェアリー入門」と同様。

「フェアリー入門別館」への投稿の際、
第何回のフェアリー入門課題に関するものかという
ことも書いてもらえると有難いです。

【投稿締切】

随時開催とするため、特に締切は設けません。

【2022/2/17 現在の在庫】

5 作。これらは WFP 次号(177 号)に「フェアリー
入門別館#2」として掲載予定です。投稿ありがとう
ございました。

*その他詳細な要綱は、173 号掲載の記事
(P100～)を参考にしてください。



Lortap入門作品展 出題（再掲）

担当：駒井めい

Lortapルール of 作品展を開催します。
2022年10月号で作品を募集したところ、10名の作者から16作を投稿いただきました。担当者の作品を加えた計17作を出題します。解答を募集しますので、よろしくお願ひします。結果発表は2023年3月号で行います。

解答要項

〔締切〕

2023年2月28日（火）

〔送付先〕

下記どちらかの方法でご提出ください。

・メール：

meikomaivtsume[at]gmail.com

・TwitterのDM：@MeiKomai_Tsume

〔送付内容〕

- ・解答者名（ペンネーム可）
- ・解答
- ・短評
- ・総評（任意）

出題

【Lortap】

味方の駒の利きで紐が付いている駒は、敵の駒を取ることができない。この条件は王手にも適用され、玉を取れない場合は王手とみなさない。
※ルールの詳細は2022年10号「Lortapの紹介」をご覧ください。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。無駄合の概念はなく、合駒は全て有効。

【受先】

受方から指し始める。

第1番～第16番がLortap協力詰で、第17番のみLortap詰（Lortap+詰将棋）なのでご注意ください。

第1番 駒井めい作

Lortap協力詰 2手（受先）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | 皇 | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | 我 | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | 巡 | | | | | 王 | 六 |
| | | | | | | | 変 | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 金

※受先なので、受方から指し始めます。

第2番 真T作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | 飛 | | 龍 | | | 四 |
| | | | | 王 | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

第3番 変寝夢作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | 飛 | | | | 五 |
| | | | | 變 | 王 | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 銀

第4番 神在月生作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | 王 | | | | 一 |
| | | | | | | | | 飛 | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 飛 | 九 |

持駒 角

第7番 占魚亭作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | 王 | | 二 |
| | | | | | 角 | 飛 | | | 三 |
| | | | | 角 | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

第5番 伊達悠作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | 飛 | 飛 | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | 王 | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 角

第8番 伊達悠作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | 歩 | | | | 三 |
| | | | | | | 王 | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 飛 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | 角 | | | 八 |
| | | | | | | 香 | | | 九 |

持駒 飛

第6番 springs作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | 王 | | | 一 |
| | | | | | | | | 王 | 二 |
| | | | | | | | | 王 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 香 | 九 |

持駒 飛

第9番 青木裕一作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 歩 | | | 三 |
| | | | | | | | 王 | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 飛 | 七 |
| | | | | | | 角 | | | 八 |
| | | | | | | 香 | | | 九 |

持駒 飛

第10番 せら作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | 王 | 三 |
| | | | | | | | 金 | 四 |
| | | | | | | 将 | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | 香 | 九 |

持駒 角

第13番 たくぼん作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | 一 | |
| | | | | | | | | 二 | |
| | | | | | | 角 | | 三 | |
| | | | | | | 将 | | 四 | |
| | | | | | | | | 五 | |
| | | | | | | 王 | 飛 | 六 | |
| | | | | | | 桂 | 金 | 飛 | 七 |
| | | | | | | | | 八 | |
| | | | | | | | | 九 | |

持駒 なし

第11番 真T作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | 金 | | | 一 |
| | | | | 将 | | 王 | | 二 |
| | | | | 銀 | | 香 | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | 角 | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 歩

第14番 springs作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | 将 | 王 | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | と | 王 | 四 |
| | | | | | | 進 | 角 | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | 飛 | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 角

第12番 変寝夢作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | 銀 | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| 王 | | | | | | | | 九 |

持駒 角

第15番 羽毛布団作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 角 | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | 将 | 将 | 五 |
| 龍 | | | | | | | 王 | 六 |
| | | | | | | 飛 | 香 | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | 角 | | 九 |

持駒 なし

第16番 せら作

Lortap協力詰 3手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| と | | | | | | | | | | 一 |
| 飛 | 皇 | | | | | | | 金 | 王 | 二 |
| 歩 | | | | | | | | | 香 | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| 角 | 馬 | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂

第17番 青木裕一作

Lortap詰 3手

| | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | 王 | | | | | 三 |
| | | | 龍 | | 金 | | | | | 四 |
| | | | | 香 | マ | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | 角 | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

※Lortap詰なので、Lortap+詰将棋です。

冪和の不等式（問題編）／神無太郎

すみません、また数学ネタです。

$a, b, c > 0$ とします。このとき、

$$\frac{1}{a^3 + b^3 + abc} + \frac{1}{b^3 + c^3 + abc} + \frac{1}{c^3 + a^3 + abc} \leq \frac{1}{abc}$$

を証明しなさい。

知り合いから提示されたこの問題を解いているときにたどり着いた不等式がこれです。

$x, y, z > 0, xyz = 1$ のとき、

$$x^2 + y^2 + z^2 \leq x^3 + y^3 + z^3$$

が成り立つ。

前者の不等式がいかにも作り物という感じなのに対して、後者の不等式は前提条件が増えているとはいえ、とっても端正ですよ。詰将棋で例えるなら実戦形あるいは簡素図式ということになるのではないのでしょうか。

ただ、その証明となると一筋縄では行きません、たぶん。ちょっと考えてみてください。

(解答編はPをご覧ください)

推理将棋第159回出題

担当 Pontamon

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第159回出題です。はじめての方は どのような将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2023年3月10日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第159回解答」をお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！1題でも解けたらぜひご解答ください。

第159回は2023年の通常出題の開始になります。

初級は、はなさかしろうさんからの8手作で、先手の同種の駒着手が3回です。

中級は、ミニベロさんからの9手作で、先手は初手以外は全て王手です。

上級は、NAOさんからの13手作で、合法手の数の問題です。

■本出題

159-1 初級 はなさかしろう 作 8手 七五三

2枚ある駒種での3手だと、王手の時に玉はかわせないで初王手での詰み？

159-2 中級 ミニベロ 作 9手 初手以外すべて王手

頭金は手付金ではなく将棋では相手の玉頭への金の手のこと。となると頭飛車は？

159-3 上級 NAO 作 13手 他に指す手はいくらでもあったのに

156-2の9手作では8手目が88通り。本問は2倍超えの185通り以上とのことです。

■中間ヒント (2月24日頃 作者)

■締め切り前ヒント (3月3日頃

Pontamon)

159-1 初級 はなさかしろう 作 8手 七五三

「8手で詰んだみたいだけど、どんな将棋だった？」

「3、5、7手目は同一駒種の手で3手目と7手目は同一駒の手だったよ」

「七五三みたいだね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

・8手で詰み

・3、5、7手目は同一駒種の手で3手目と7手目は同一駒の手

159-2 中級 ミニベロ 作 9手 初手以外すべて王手

「9手で詰んだか。9手で頭飛車は珍しい手筋だね」

「先手の「初手以外すべて王手」というのも珍しいけどね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

・9手詰

・先手は、初手以外すべて王手を掛けた

・頭飛車の手があった

159-3 上級 NAO 作 13手 他に指す手はいくらでもあったのに

「手が広い局面でさんざん迷ったあげく大駒の手を指したら13手目に詰まされちゃった」

「棋譜を見せて。ふむ金頭の手が1回だけか。なるほど君が迷った後手番の局面は選択肢が185通り以上もあったんだね。他に指す手はいくらでもあったのに」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

・13手で詰んだ

・後手は選択肢が185通り以上ある局面で大駒の手を指した

・金頭の手が1回だけあった

このコーナーで出題する問題を募集します。入門用の易しい問題を歓迎。作者名、問題、解答、狙いなどを記入して「推理将棋投

稿」の題名で TETSU にメール
(omochabako@nifty.com) してください。

推理将棋第157回解答

担当 Pontamon

推理将棋第156回は12名の方々から解答をいただきました。解答、ありがとうございます。

157-1 初級 Pontamon 作
3回動かす 8手

「さっきの将棋は8手で詰んだよ」
「どんな将棋だったの？」
「先手はある駒を3回動かしたよ」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・8手で詰み
- ・先手はひとつの駒を3回動かした

出題のことば (担当 Pontamon)

3回着手は連続なのか非連続なのか？どの駒？

作者ヒント

ある駒を3連続で動かします (Pontamon)

締め切り前ヒント

後手もある駒をそのまま3回動かします。

推理将棋157-1 解答

▲58玉、△84歩、▲68玉、△85歩、▲78玉、△86歩、▲68飛、△87歩成 まで8手

詰上り図

後手の持駒：歩

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 香 | 桂 | 銀 | 金 | 王 | 金 | 銀 | 桂 | 香 | |
| 二 | | 飛 | | | | | | 角 | | |
| 三 | 歩 | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | 歩 | ス | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | |
| 八 | | 角 | 玉 | 飛 | | | | | | |
| 九 | 香 | 桂 | 銀 | 金 | | 金 | 銀 | 桂 | 香 | |

持駒 なし

(条件)

- ・8手で詰み
- ・先手はひとつの駒を3回動かした (初手▲58玉、3手目▲68玉、5手目▲78玉)

先手が3回指す駒がどれなのか分かりませんが、先手の4手中の3手を指すのですからその3手は無駄手なのかもしれません、つまり残り1手で詰み形を作るとなると、あの形です。そう、▲58玉の1手だけを指せば、△57銀や△57飛成で詰む形があります。参考1図は後手の△66角を指せるタイミングを作るために初手で▲58玉を指して、最終手△57銀の詰み形を目指した手順になります。残念ながら8手の時点ではまだ△57銀を打てず、詰ますには10手掛かってしまい、失敗でした。

初期配置39地点の銀を39地点のままで取ったので△48角不成の手が必要になって手数をオーバーしています。それでは時間稼ぎの「ある駒3回着手」の条件クリアのために△48銀、△39銀、△48銀の3手で手待ちをしながら48地点で銀を取らせる手順なら良さそうかと思ったのですが、▲56歩が指されていないので後手の△57角不成から△48角不成で銀を取ることになるので同様に10手かかってしまいます。

参考1図

後手の持駒：なし

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 皇 | 科 | 爵 | 王 | 王 | 爵 | 科 | 皇 | | |
| 二 | | 飛 | | | | | | | | |
| 三 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | |
| 四 | | | | 歩 | | 歩 | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | 歩 | |
| 七 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 爵 | 歩 | 歩 | 歩 | | |
| 八 | | 角 | | | 玉 | 皇 | | 飛 | | |
| 九 | 香 | 桂 | 銀 | 金 | | 金 | | 桂 | 香 | |

持駒 なし

参考1図：▲58玉、△34歩、▲56歩、△66角、▲55歩、△39角不成、▲54歩、△48角不成、▲16歩、△57銀まで10手

ある駒を手待ちのために3手指すのではないとすると、先手玉が詰まされる形作りのために指す手なのかもしれません。居玉のままだと金の羽根付きになるので詰ませるのは難しいですが、金と玉の位置を入れ替える際に金の手を3手指せば良いかもしれません。玉と金を入れ替えるのは吊るし桂で仕留めるときの常套手段なので、その吊るし桂を目指したのが参考2図です。玉の手を挟んで金を3回動かしていますが、吊るし桂の形だと手数オーバーの10手になったので失敗でした。

参考2図

後手の持駒：角歩

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 皇 | 科 | 爵 | 王 | 王 | 爵 | 科 | 皇 | | |
| 二 | | 飛 | | | | | | | | |
| 三 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | |
| 四 | | | | | | | 歩 | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | 歩 | | | | | | | |
| 七 | 歩 | 歩 | 科 | 皇 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | |
| 八 | | | | | | | | 飛 | | |
| 九 | 香 | | 銀 | 玉 | 金 | 金 | 銀 | 桂 | 香 | |

持駒 なし

参考2図：▲76歩、△34歩、▲68金、△88角成、▲69玉、△89馬、▲58金寄、△67馬、▲59金引、△77桂まで10手

3回指す駒は、歩でも銀でも金でもないようです。ひとつの駒で3回着手が可能で残っている駒種には角と飛があります。角は初期配置では動くことができないので、初手は角道の歩を突くか▲98香や▲78銀などで角が移動できるスペースを作ってその地点へ行き来する順が考えられます。しかし、この順だと先手玉が詰まされるための協力手を指せないで失敗するでしょう。飛の場合は3回目の手で▲68飛として、△66角と△56飛の詰み形や△57飛成までの詰み形が思い浮かびますが、手数が足りません。▲16歩としても香の場合は▲18香と▲17香の2手しか指せないで除外できますが、桂は初手の歩突きのあとの3段跳ねが可能ですが、これも詰み形を作る協力ができないので失敗します。残っている駒種は玉です。△87歩成までの詰み形では、玉が1手で▲78玉を指せるのであれば、飛を左右に振って3回目で▲68飛にしてもいいですし、▲48金、▲58金寄、▲68金寄の3手で68地点を埋めることもできます。しかし、78地点へ玉に行くには▲68玉、▲78玉の2手が必要なので、その後に飛や金の3手を指すと手数オーバーになります。などの手順を確認していて気づきました。68地点を埋めるための金の着手は2手で済むところを3手掛けて移動していたのでその方法を玉移動に適用すれば、78地点への玉移動を3回にできます。残りの1手は退路の68地点を埋める▲68飛です。初手から、▲58玉、△84歩、▲68玉、△85歩、▲78玉で玉を3回動かしました。6手目から△86歩、▲68飛、△87歩成で詰みとなりました。

同手順の先行作はミニベロさん採譜の「11-1 斜めに行ける駒はない?」、同じ詰み上がりは館長さんの「8-1 だるまさん」やけいたんさんの「136-1 初手と7手目は金」があります。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

テイエムガンバさん 「古典7手の名作プラス1手の基本的な問題。」

■客寄せの8手易問でした。「忘れた頃の／例の手順」その1。

諏訪冬葉さん 「昔「斜め移動なし」の条件で同じ手順の問題があったのを覚えていました。」

■「11-1 斜めに行ける駒はない？」ですね。似た条件があったのなら思い出すかもしれませんが、「先手はひとつの駒を3回動かす」の条件が斜めに行ける駒はないに結び付くとは意外でした。

NAOさん 「7手詰の受方2連続を一手延ばす。」

■3手動かすために初手へ余裕手を追加しました。

RINTAROさん 「瞬殺です。」

■「瞬殺」コメントその1.

はなさかしろうさん 「忘れた頃にやってくる…第一感即この手順ですが、唯一解とは驚きです。」

■他の駒でも3回着手がありそうな気はしますね。

ほっとさん 「忘れた頃に出題されるやつ。」

■「忘れた頃／例の手順」その2。

原岡望さん 「例の手ですね」

■「忘れた頃／例の手順」その3。

飯山修さん 「瞬殺というコメントが多いと思う」

■「瞬殺」コメントその2. 瞬殺コメントは2件でした。

ミニベロさん 「忘れた頃にやってくるこの順。」

■「忘れた頃／例の手順」その4。やはり、この手のコメントが最多の4件でした。

中村丈志さん 「これで正しいのか？」

■はい、正解手順です。

占魚亭さん 「これしか考えられないけど……（自信なし）。」

■玉以外の駒でも可能な気がする自信がなくなるパターンですね。

正解：11名

テイエムガンバさん 諏訪冬葉さん NAOさん RINTAROさん はなさかしろうさん ほっとさん 原岡望さん 飯山修さん ミニベロさん 中村丈志さん 占魚亭さん

157-2 中級 けいたん 作 同種の大駒がある筋が2つ 10手

「10手で詰みか」

「6手を指した局面では、同種の大駒がある筋が2つあったね」

「駒成はないな」

「玉の手はあるが金銀の手はないね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰み
- ・6手を指した局面では、同種の大駒がある筋が2つあった
- ・駒成なし
- ・玉の手はあるが金銀の手なし

出題のことば (担当 Pontamon)

6手の局面はいろいろあるが、そこから4手で詰ますならどんな6手局面？

作者ヒント

飛の筋と角の筋は隣同士（けいたん）

締め切り前ヒント

6手を指し終わって3筋には角2枚。4筋の飛2枚はそのまま動きません

余詰修正

会話：「金の手はないね」⇒「玉の手はあるが金銀の手はないね」

条件：「・金の手なし」⇒「・玉の手はあるが金銀の手なし」

推理将棋 1 5 7 -2 解答 担当 Pontamon

▲76歩、△42飛、▲33角不成、△同角、▲48飛、△36角、▲77桂、△同角不成、▲58玉、△46桂 まで10手

(条件)

- ・10手で詰み
- ・6手を指した局面では、同種の大駒がある筋が2つあった（4筋の飛：2手目△42飛－5手目▲48飛、3筋の角：4手目△33同角－6手目△36角）
- ・駒成なし（3手目▲33角不成、8手目△77同角不成）
- ・玉の手はあるが金銀の手なし（9手目▲58玉）

詰上り図

後手の持駒：なし

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 皇 | 科 | 爵 | 王 | 王 | 爵 | 科 | 皇 | | 一 |
| | | | | 飛 | | | | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | 歩 | | | 科 | 馬 | | | 五 |
| 歩 | 歩 | 馬 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 六 |
| | | | | 玉 | 飛 | | | | 七 |
| 香 | | 銀 | 金 | | 金 | 銀 | 桂 | 香 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩

6手を指した時点で同種の大駒が同じ筋にあるというパターンを考えてみます。

まず、▲76歩、△34歩、▲22角不成、△

同飛の4手を指すと先手も後手も角を持ち駒にしている2筋には飛が2枚配置された局面になります。2筋に4枚の大駒があるのは条件違反になるので、2筋以外の筋へ5手目と6手目に角を打てば条件クリアです。この手筋だと後手の大駒は自由に打った角と使いにくい22に居る飛だけなので、6手目に打つ角は詰みを見越しての駒取りを掛ける位置への角打ちになります。参考1図はその一例です。詰んでいるのですが、最終手は禁じられている金の着手になっているので失敗です。

参考1図

後手の持駒：なし

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 皇 | 科 | 爵 | 王 | 王 | 爵 | 科 | 皇 | | 一 |
| | | | | | | | 飛 | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | 歩 | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | 歩 | | 角 | | | | 歩 | 六 |
| 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 七 |
| | | | | 王 | | 金 | 飛 | | 八 |
| 香 | 桂 | 銀 | 馬 | 玉 | | 銀 | 桂 | 香 | 九 |

持駒 なし

参考1図：▲76歩、△34歩、▲22角不成、△同飛、▲56角、△58角、▲38金、△69角不成、▲16歩、△58金 まで10手

6手目のあとの別の駒配置パターンを考えると、▲76歩、△34歩のあと、先手の角が移動して、その角を△同角で取る手順があります。後手は持ち駒の角を6手目に角を取った筋の別の段へ打つことになります。先手は5手目に▲88飛を指せば、2つの筋で同種の大駒が2つある配置になります。この配置だと後手は88の飛を△88角不成でとることができるので有望かと思いましたが取った飛を打つのが最終手になるので詰み形は無さそうです。

次のパターンは先手の角の手を△同角で取らせるとい意味では今のパターンと同じですが、その地点が33であれば後手の2手目が自由になります。このパターンで進めて詰ましたのが

参考 2 図です。3 手目の▲33 角不成が王手にならないように 2 手目を△42 飛としたのではなく、先手の▲48 飛が玉の退路を塞ぐようにするために 4 筋へ飛を振っています。2 枚角の攻めで詰ましているのですが、最終手の△67 角不成を支えるために 8 手目が△77 角成の駒成をしているので条件をクリアできませんでした。

参考 2 図

後手の持駒：なし

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| ▲ | 桂 | 銀 | 金 | 王 | ▲ | 飛 | 桂 | 桂 | ▲ | 一 |
| | | | | | | ▲ | | | | 二 |
| ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | | | ▲ | ▲ | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | ▲ | ▲ | | | | | | | 六 |
| ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | 七 |
| | | | | ▲ | ▲ | | | | | 八 |
| ▲ | 桂 | 銀 | 金 | | | ▲ | 銀 | 桂 | ▲ | 九 |

持駒 歩

参考 2 図：▲76 歩、△42 飛、▲33 角不成、△同角、▲48 飛、△34 角、▲58 玉、△77 角成、▲66 歩、△67 角不成 まで 10 手

駒成があって失敗した参考 2 図の手順でしたが、先手の飛を玉の退路封鎖に利用するアイデアは良さそうです。後手は 6 手目に 3 筋へ角を打たなければいけません、攻め方によって角の打ち場所を後手が決めることができるので詰み形を検討してみます。玉の退路封鎖に飛を使う場合、よく出てくるのは▲68 飛ですが、68 地点に先手駒があると後手の 33 の角を使い難く、6 手目に 3 筋へ打つ角を△38 角にして金を取っても飛が 68 に居るのでは頭金にもできません。そもそも金は使えないので△29 角不成で桂を取ったとしても△47 桂の吊るし桂にはできません。

となると参考 2 図のように飛は 4 筋になりそうです。では 3 筋への角打ちをする地点はどこでしょう？△34 角からの 2 枚角は失敗しましたし、△38 角もダメ。△32 角は論外なので

△35 角か△36 角のどちらかでしょう。△35 角の場合は、71 の銀を取って△57 銀までの形で詰ます手順がありそうですが、△68 角不成の手が必要なので手数オーバーになります。

どうやら、6 手目の角打ちは△36 角のようです。この 6 手目後の配置から後手の 2 手で詰みに持って行く必要があります。後手に残された手数は 2 手なので、指すとすれば 8 手目に駒を取って、10 手目にその駒を打って詰める手順になりそうです。8 手目に△99 角不成で香を入手して△58 香で王手をしても▲同玉なのでいけません。6 手後の盤面を見ていると▲58 玉の形だと 47 の歩を 36 の角でピンした状態なので△46 桂での王手がありそうです。そのためには後手は桂を入手する必要がありますが、先手の▲77 桂を△同角不成で取れば玉の退路の 59 地点と 68 地点をこの角で抑えることができます。初手から、▲76 歩、△42 飛、▲33 角不成、△同角、▲48 飛、△36 角のあと▲77 桂、△同角不成の王手に▲58 玉と逃げ、△36 桂での詰みとなりました。

余詰について

6 手を指した時点で同種の大駒が同じ筋にあるというパターンを説明していたのに、先手角を同飛で取る手順が抜けていました。つまり、▲76 歩、△32 飛、▲33 角不成、△同飛、▲38 飛、△2 筋への角打ちの手順です。また、銀を入手して△57 銀と打つ手で詰む 7 手詰のパターンもありました。33 で角を取ってから打つのではなく、盤上の角移動だけで同じ筋に先後の角を配置する手順がありました。

両王手

▲76 歩、△32 飛、▲33 角不成、△同飛、▲38 飛、△26 角、▲68 銀、△37 飛不成、▲46 歩、△57 飛不成 まで 10 手

7 手詰の基本の詰み上がり

▲68 銀、△34 歩、▲79 角、△77 角不成、▲96 歩、△22 飛、▲58 玉、△68 角不成、▲56 歩、△57 銀 まで 10 手

▲76 歩、△14 歩、▲55 角、△13 角、▲88 飛、△57 角不成、▲48 銀、△同角不成、▲58 玉、△57 銀 まで 10 手

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

諏訪冬葉さん 「金銀と成なしだと金駒がないので両王手を中心に読んでました。(成ありなら8手で詰むのに・・・)」

■金銀の使用が禁止されたので次は桂利用を考えるという思考の他に飛角での両王手や歩突きの空き王手もありそうですね。

NAOさん 「3筋の角と4筋の飛。この組合せはなかなか思いつかなかった。「金なし」「銀なし」「玉あり」3条件の2つを満たすものは、いくつかの手順が浮かぶが3つともとなると難問。」

■投稿時の条件は「金銀釘付け」だったので、金や銀を取る手も禁じられていると桂の利用が浮かび易かったですね。

RINTAROさん 「これまで解いたけいたんさんの作品の中で1番かも。」

■詰み形の最短は9手の▲76歩。△34歩。▲22角不成。△33桂。▲同角不成。△52玉。▲74角。△62飛。▲64桂ですが、先後を変えて余裕手△42飛を追加することで詰み形が思い浮かび難い条件にすることができています。

はなさかしろうさん 「なるほど…この詰形は9手でも盲点になりそうですが、9手ではたくさんある非限定を1手足して一気に解消しているんですね。第一感の両王手が外れたのでかなり悩みました。」

■1手増やすことによって条件数を減らしたり非限定回避できる場合がありますね。

ほっとさん 「余詰順を利用して何局か作れそう。」

■出題作の派生作のみならず、余詰順や解説の失敗手順なども活用して、皆さんに作品化にチ

ャレンジしていただきたいですね。

原岡望さん 「角二枚が後手とは。ヒント頼みです」

■担当は逆で、角は利きがぶつかっているのど、どちらかが角を取って打つか双方で角を取って同じ筋へ打つしかないと思い込んでいたので余詰を見逃してしまいました。

飯山修さん 「てっきり77角76角の詰み形だと思っていたので吊し桂には頭がいかず大苦戦。最後は余詰順探しをしようと思っていた。」

■詰み上がりで同種の大駒が同じ筋なら、▲76歩、△34歩、▲77角、△同角不成、▲58玉、△85角、▲66歩、△22飛、▲48金、△76角の手順がありますね。

ミニベロさん 「作意順は見えにくい。6手目までの条件が旨い。詰め上がり型は既視感たっぷりだが、この作家のスキマ技術ですね。」

■6手を指した大駒配置の条件をクリアすれば、自然にあと4手で詰む気がする易間に見えてしまう罠。

中村丈志さん 「最後の桂がなかなか浮かびませんでした。」

■後手の残り2手は、桂取りと桂打ちだけど、6手を指した局面からは思い浮かび難い形ですね。

占魚亭さん 「48飛を活かそうとすると、この形しかありませんね。」

■その詰み上がりに気付くかがカギで、詰み上がりが見えていないと5手目と6手目も出て来ない。

正解：11名

テイエムガンバさん 諏訪冬葉さん NAOさん RINTAROさん はなさかしろうさん

ほっとさん 原岡望さん 飯山修さん ミニベロさん 中村丈志さん 占魚亭さん

157-3 上級 チャンプ 作
美野樫9兄妹再来! 18手

六実「なんか招待状みたいのが届いてるわよ
~」
隆二「兄貴、どうやら長らく中止してた町の将
棋まつりのイベントがあるみたいだぜ?」
健一「おお? 久々じゃねえか!」
四郎「しかも僕たちには席上対局を用意してあ
るって書いてあるよ?」
七海「それは大変光栄なことですね」
九美「ウチも、行ってみたいなあー」
源三「招待されたら全員参加するのかなさそう
やな」
圭五「腕が鳴る!足が鳴るぜえええ!そうとなり
ゃ試合に備えて一っ走りだ!うおおおー!」
八重「何をしに行くつもりよ・・・」

・・・イベント当日・・・

九美「対戦相手はあの人みたいだねえー、私た
ちが後手だって、みんな頑張ろうねえー」

・・・対局開始・・・

八重「18手で我が軍の勝利です」
圭五「みたか!俺の必殺シュート!」
六実「成る手は無かったけど余裕~♪余裕~
♪」
四郎「ちょうど皆、1手ずつ指せて良かった
ね」
隆二「お互い持ち駒を使い切ったいい一局だっ
たな」
源三「しかし、なんやえらい王手の多い将棋や
ったな」
七海「・・・察するに4種類の駒による王手が
全部で8回あったかと」
健一「久々だったが全員腕は鈍ってなかったみ
てえだな!」
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・18手で詰んだ。
- ・後手は1筋~9筋の手を1回ずつ着手した。
- ・成る手は無く、4種類の駒による王手が計8

回あった。

- ・終局時、お互いの持ち駒は無かった。

出題のことば (担当 Pontamon)

王手を掛けた4種の駒のうち2種はすぐ思い
付きますが、さて残りの2種は?

作者ヒント

後手は全ての筋で1回のみの手。となると
1、2筋は特に鬼門。遠くから王手の出来る
駒を入手する必要があります。(チャン
プ)

締め切り前ヒント

王手の4種の駒と回数は、角3回、飛は連続
3回、桂1回、金1回。

推理将棋157-3 解答 担当 Pontamon

▲76歩、△34歩、▲77桂、△同角不成、▲
68飛、△同角不成、▲同玉、△18飛、▲28
角、△同飛不成、▲48金、△同飛不成、▲77
玉、△85桂、▲86玉、△59角、▲96玉、△
95金 まで18手

(条件)

- ・18手で詰んだ。
- ・後手は1筋~9筋の手を1回ずつ着手した。
(2手目△34歩、4手目△77同角不成、6手
目△68同角不成、8手目△18飛、10手目△
28同飛不成、12手目△48同飛不成、14手目
△85桂、16手目△59角、18手目△95金)
- ・成る手は無く、4種類の駒による王手が計8
回あった。(4手目△77同角不成、6手目△68
同角不成、8手目△18飛、10手目△28同飛
不成、12手目△48同飛不成、14手目△85
桂、16手目△59角、18手目△95金)
- ・終局時、お互いの持ち駒は無かった。

詰上り図

後手の持駒：なし

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 皇 | 科 | 將 | 王 | 王 | 將 | 科 | 皇 | | 一 |
| | 飛 | | | | | | | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | 歩 | | | 四 |
| 將 | 科 | | | | | | | | 五 |
| 玉 | | 歩 | | | | | | | 六 |
| 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
| | 角 | | | | 飛 | | | | 八 |
| 香 | | 銀 | 金 | 銀 | | 銀 | 桂 | 香 | 九 |

持駒 なし

後手の手は各筋1回ずつで、8回の王手をする必要があります。2手目の△34歩は角が出ていくために必須な手なので、王手を掛けない筋の着手は2手目の△34歩だけなのが分かります。つまり、4手目以降の8手全ては王手の手を指す必要があります。4手目の77地点での角不成の手が最初の王手になるので先手玉は居玉の状態のはずです。この王手に対して▲68飛として△同角不成で飛を取れば、このあと△12飛を指して、遠い1筋からの王手が可能になります。その後は2筋の合駒を△同飛不成、4筋の合駒を△同飛不成で王手していきます。この方針で詰めてみたのが参考1図です。しかし、後手の持ち駒の角が余ってしまいましたし、最初の王手と最終王手が7筋で重なったため手数オーバーの20手でした。

参考1図

後手の持駒：角

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 皇 | 科 | 將 | 王 | 王 | 將 | 科 | 皇 | | 一 |
| | 飛 | | | | | | | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | 王 | | | | 歩 | | | 四 |
| 將 | | 玉 | | | | | | | 五 |
| | | 歩 | | | | | | | 六 |
| 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
| | 銀 | | | 飛 | | | | | 八 |
| 香 | 桂 | 銀 | | 金 | | 桂 | 香 | | 九 |

持駒 なし

参考1図：▲76歩、△34歩、▲77角、△同角不成、▲68飛、△同角不成、▲同玉、△18飛、▲28角、△同飛不成、▲48銀、△同飛不成、▲58金左、△同飛不成、▲77玉、△88角、▲86玉、△95銀、▲75玉、△74金まで20手

やり直しの参考2図は参考1図の11手目からの変化になります。11手目の合駒を▲48銀にすると18手目が△95銀になるので▲85玉へ逃がしてしまうので12手目に同飛で取る駒を金にしました。まだ△48同飛不成の王手に対して5筋での合駒ではなく玉を77へ逃げる手にしてみたところ、丁度18手で詰まることができました。参考1図では余ってしまった角は12手目の5筋での王手がなくなったので16手目に△59角と打って王手することができ、これで無事解けたと思ったところ、王手をした駒種は、角、飛、金の3つだけだったので条件をクリアできませんでした。

参考2図

後手の持駒：なし

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 皇 | 科 | 將 | 王 | 王 | 將 | 科 | 皇 | | 一 |
| | 飛 | | | | | | | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | 歩 | | | 四 |
| 將 | | | | | | | | | 五 |
| 玉 | | 歩 | | | | | | | 六 |
| 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
| | 銀 | | | 飛 | | | | | 八 |
| 香 | 桂 | 銀 | 金 | 銀 | | 銀 | 桂 | 香 | 九 |

持駒 なし

参考2図：▲76歩、△34歩、▲77角、△同角不成、▲68飛、△同角不成、▲同玉、△18飛、▲28角、△同飛不成、▲48金、△同飛不成、▲77玉、△88角、▲86玉、△59角、▲96玉、△95金まで18手

参考1図では角と飛以外に王手する駒として金銀があって4種でしたが持ち駒に角が余ってしまいました。後手に角が余るのなら、▲76

歩、△34 歩、▲77 角、△同角不成、▲68 飛、△同角不成、▲同玉、△18 飛、▲28 銀、△同飛不成、▲48 金、△同飛不成、▲77 玉、△88 角、▲86 玉、△85 銀、▲95 玉、△94 金の手順にすれば、王手の駒種は4つで後手の持ち暇は余りませんが先手の持ち駒としてやはり角が余ってしまいました。この手順でも参考1図でも参考2図でも▲77玉には△88角の8筋からの王手をするには、88の初期配置の角をどかす必要がありました。▲77玉の次の手で△59角を打つと玉は86地点へ行けません。△86角の王手をすると▲同玉なので先手の持ち駒が増えてしまいます。

この問題を整理して解決するための要点は

1. 8筋の手での王手、88の角を後手に渡さず▲68同玉で取った元々後手の角だけを後手に渡す
2. ▲77玉に対して8筋着手での王手は△88角以外の手で王手する
3. 8筋着手で王手した駒を▲同玉で取られてはいけない
4. 王手する駒種4つのうちの3つは、角、飛、金になります。

王手する駒種を1つ増やす必要があるのですが、残っている駒種は歩か香か桂ですが、77の玉に対して8筋の香打ちでの王手はできないし歩は二歩で使えません。となると必然的に桂での王手、つまり△85桂の王手になります。そのためには後手は桂を入手しておく必要がありますので、3手目は▲77角ではなく▲77桂になります。初手から▲76歩、△34歩、▲77桂、△同角不成、▲68飛、△同角不成、▲同玉として、1筋と2筋からの王手は取ったばかりの飛を打って王手します。8手目から△12飛、▲28角を打って後手が△59角での王手を指せるようにします。次の48地点で角を渡すには9手目の合いは▲28銀になってしまうので最終手△95銀では▲85玉と逃げられてしまいます。10手目から△28同飛不成、▲48金、△同飛不成で金を後手に渡します。13手目から▲77玉、△85桂、▲86玉、△59角、▲96玉、△95金で詰みとなりました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

諏訪冬葉さん 「7手目の角取りが全く見えず苦戦しました。」

■攻め駒の中心になる角を取られる手は考えにくいですね。

NAOさん 「王手8回のうち、1~2回は先手かな、となんとなく解き始めると苦戦。後手からの連続王手を考えたら流れるように手が続く。1,2,8,9筋が使いにくいのが1筋の飛打ちから巧く手が繋がった。」

■3手目▲33角不成の初王手を△同角で取ったり、▲33角不成の王手に続けて▲42角不成や▲51角不成で王手してから後手に角を取らせると、△15角の角打ち王手に▲26歩、△同角と進めれば王手し難い1筋と2筋着手での王手も実現できそうに見えます

RINTAROさん 「4手目以降、後手の指し手は全て王手なので考えやすかったです。」

■3手目の▲33角不成の王手の手を思考から除外できれば、残りの後手の手は全て王手の手になりますね。

はなさかしろうさん 「美野壱9兄妹条件、面白いですね。独特なので解くときに考え方を頭に染み込ませる感じがします。28で銀でなく角を手放すのが鍵で59角から大きな詰形ができました。」

■▲28銀と▲48角で銀と角よ渡すと、最終手が△95銀になり、▲85玉で桂を取られて逃げられてしまいます。角の渡し場所が上手く限定されていました。

ほっとさん 「全く想像がつかずに最終ヒント待ち。少ない条件でうまくまとまっている。」

■王手する駒種と回数が締め切り前ヒントでしたが、角の王手3回と聞くと▲33角不成での王手も再検討が必要になると予想しましたが、甘過ぎとの短評もありました。

原岡望さん 「桂の使い道が分かって解決」

■王手した駒種が4種の情報だと、飛角金銀を予測するのが普通かと。桂に目を付けたのが鋭い推理だったようです。

飯山修さん 「すべて後手側王手なのは意外。てっきり33角同角が入ると思ってた。最終ヒントはバラし過ぎの気もするが新春初売り大サービスですね」

■▲33角不成の初王手に△同角で角を入手して、△77角不成の王手と角打ちでの王手で角王手3回と考えると容易には解けないはずだったのですが...

ミニベロさん 「手が広くて景色が見えないのでヒント待ち。締め切り間際に無理やり解いたが、一応条件は満たしていると思う。」

■先手の角が全く動かず、後手角を取ってから後手へ差し出し、後手はその角を取ってからの角打ちで王手するという絡繰りでした。

正解：8名

諏訪冬葉さん NAOさん RINTAROさん はなさかしろうさん ほっとさん 原岡望さん 飯山修さん ミニベロさん

(総評)

RINTAROさん 「2は傑作、3は好作、1は戯作。本年も1年間解答できてよかったです。来年も1年間解答できるよう頑張ります。」

■年間の解答者を集計してみました。全23名、のべ159名だったので月平均13.25名。最近、解答者が減って来ているのが気になります。2023年も解答、よろしくお願いします。

ほっとさん 「結局2022年中に解き切れず。」

■月末～締め切り日での解答が多かった印象ですが、年度またぎはやはり気になりますね。

原岡望さん 「今回は珍しくメ切前の解答です。春から縁起がいいです。本年もよろしくお願いします」

■その勢いで年賀推理を解いて行きましょう。本年もよろしくお願いします。

飯山修さん 「年賀推理は手古摺りそう。今年は締め切りギリギリ解答の連続の予感が。」

■年賀推理で手古摺りそうなのは上級の3作。35手や61手は長手数なので取っ付きにくい気がするだけです。

推理将棋第157回出題全解答者： 11名
テイムガンバさん 諏訪冬葉さん NAOさん RINTAROさん はなさかしろうさん ほっとさん 原岡望さん 飯山修さん ミニベロさん 中村丈志さん 占魚亭さん

推理将棋2022年全解答者： 23名 (のべ159名：月平均13.25名)

NAOさん RINTAROさん エレーンさん けいたんさん さつきさん ジェシーさん チャンプさん テイムガンバさん はなさかしろうさん ベベ&ペペさん ほっとさん ミニベロさん 原岡望さん 山下誠さん 小山邦明さん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん 川石隆志さん 中村丈志さん 飯山修さん 斧間徳子さん 榊彰介さん 緑衾さん

実験室の悲劇(第 14 回)

占魚亭

☆近く、『暁将棋部屋』第7号が刊行されます。「暁フェアリー」は3作出題。客寄せの拙作はアレな出来ですが、投稿していただいた2作はいい作品ですのでお楽しみに。

《ルール説明》

【協力自玉ステイルメイト(ばか自殺ステイルメイト)】

双方協力して攻方玉をステイルメイトにする。ステイルメイトとは、王手は掛かっているが合法手のない状態のこと。

【中立駒(n駒)】

どちらの手番でも動かせる駒。横向きの字か横にnを付加して表記する。

【補足】

- 1)中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)。
- 2)中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる。
- 3)中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4)中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や中立駒は取れる。
- 5)中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6)中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7)中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

【Imitator(■またはI)】

着手をした時、その着手と同じベクトルだけ動く駒。Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

協力自玉ステイルメイト6手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | 王 | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | ■ | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | 王 | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 n角

※ ■ : Imitator

王・玉以外は全て中立駒

【手順】

21n角、13玉[I95]、12n角成[I86]、14玉[I87]、13n馬[I88]、25玉[I99]まで6手

(詰上り)

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | 馬 | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | 王 | | |
| 六 | | | | | | | | | 王 | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | ■ | | | | | | | | | |

持駒 なし

☆2020年10月完成。

神無太郎さんの作品と被ったので没。

n角を21に打ち、玉を上部に追い立てつつImitatorを99に運んで王を詰まします。手が限られているので、難しくないと思います。

☆コメント等は sengyotei■gmail.com(■を@に)迄。

協力詰・協力自玉詰 解付き #9

担当:駒井めい



協力詰と協力自玉詰を解付きで出題するコーナーです。今回は協力詰が2作、協力自玉詰が1作です。

作品募集

[募集作品]

9手以下の協力詰、協力自玉詰。

受先、受方持駒制限、双玉、複数解、ツインは可。フェアリー駒など、その他フェアリールールの追加は不可。

[投稿締切]

2023年3月15日(水)

[投稿先]

下記どちらかの方法で投稿してください。

・メール: meikomai vtsume▲gmail.com

※▲を@に置き換えて送信してください。

・TwitterのDM: @MeiKomai_Tsume

[投稿時の記載内容]

・作者名(ペンネーム可)

・作品図面

・ルール名、手数、ツインなどの問題設定

・作意手順

・狙いなどの作者コメント(省略可)

[その他]

フェアリー詰将棋の検討ソフトとしてfmやfmzaがあります。Onsite Fairy Mateよりダウンロードできます。

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

協力詰や協力自玉詰のルールに詳しくない方は、過去に掲載された入門記事をご覧ください。

・協力詰超入門: 第162号 pp.53~55

・受先協力詰超入門: 第163号 pp.54~57

・協力自玉詰超入門: 第164号 pp.48~51

出題

[協力詰]

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。偶数手数の場合は受方から指し始める。無駄合の概念はなく、合駒は全て有効。

■ 9-1 北村太路

協力詰 5手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 角 | | | | |
| | | | | 馬 | | | | |
| | | | | | | | 皇 | 卒 |
| | | | | | | 皇 | | |
| | | | | | | | 王 | |
| | | | | 角 | | | | |
| | | | | | | | | 王 |

持駒 金桂

■ 9-2 北村太路

協力詰 5手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | 角 | | | | |
| | | | | 皇 | | | | |
| | | 馬 | | 王 | | | 銀 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | 王 | 馬 | 馬 | | |
| | | | | | | | | |

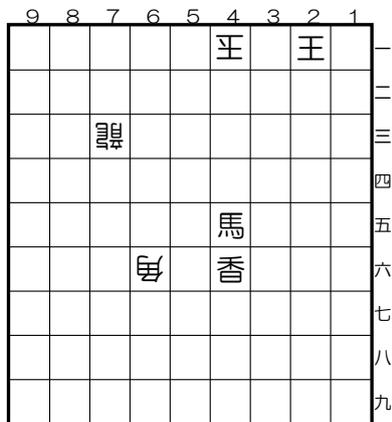
持駒 金2桂

〔協力自玉詰〕

先後協力して最短手数で攻方の王を詰める。
奇数手数の場合は受方から指し始める。無駄合
の概念はなく、合駒は全て有効。

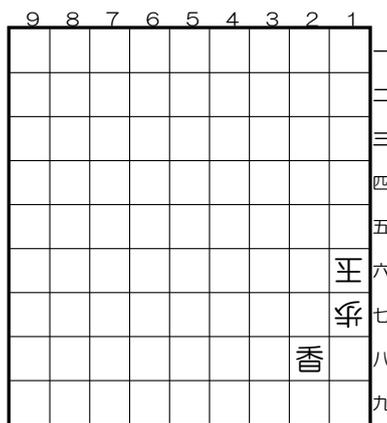
■ 9-3 駒井めい

協力自玉詰 4手



持駒 香

アナグラム協力詰 8手 (受先)



攻方持駒 銀
受方持駒 銀

- 14銀 26銀
- 25銀 15銀
- 26銀 14銀
- 15銀 25銀 迄8手

※解答・解説は次のページに掲載。

～フェアリー雑談～

「アナグラム」という変則ルールを紹介します。

【アナグラム】
攻守双方は順番が異なる以外同じ手を指す。
(補足)
1) 手の同一性は棋譜上の一致で判断する。
2) 特に注釈がない限り攻方王手義務なし。

※詳細はWFP第46号「WFP作品展番外 アナ
グラム協力詰」をご覧ください。

それではアナグラム協力詰の例題です。受方
から指し始めます。

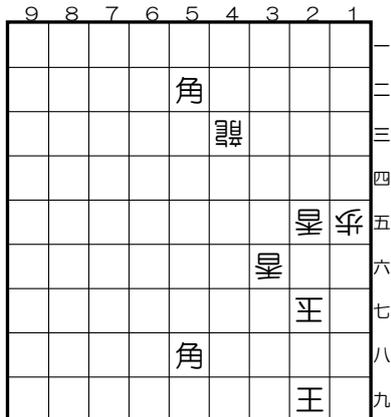
単なる協力詰なら受方が初手15銀と打って、
攻方が2手目25銀とすれば詰め上がり。しかし、ア
ナグラムルールの条件を満たすためには、最終的
な詰手順の中に受方にも25銀、攻方にも15銀の
着手がないといけません。つまり、受方は25の地
点を経由して15の地点に、攻方は15の地点を経
由して25の地点に銀を動かす必要があります。双
方の銀は14・15・26・25の4地点を結ぶ経路を動
いていけばよさそうです。受方銀は14の地点から
スタートして25→26→15、攻方銀は26の地点から
スタートして15→14→25と進めば、アナグラムル
ールの条件を満たした上で玉を詰ますことができ
ます。例えば、受方が初手で指した14銀は、攻方
が6手目に指しています。双方の着手に同一の符
号が存在していることをご確認ください。

作例は非常に少ないですが、パズル的な面白
さがあるルールです。

解答・解説

■ 9-1 北村太路

協力詰 5手

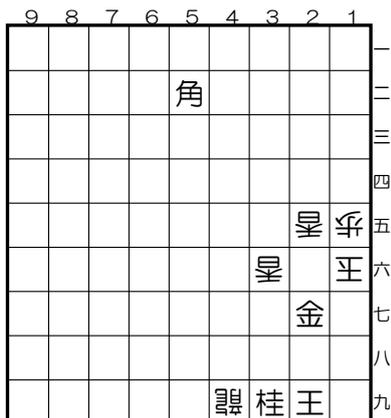


持駒 金桂

【解答】

49角 同龍 39桂 16玉 27金 迄5手

詰上図



【作者コメント】

狙いは受方の「逆王手」2回と、駒を取る方ではなく捨てる方が正解、という点です。

【解説】

攻方の王手に対して受方が詰まないように抵抗するのが普通の詰将棋ですが、協力詰では受方が詰むように協力します。普通の詰将棋なら初手36角と香を取っても2手目同玉と角を取って何ともありません。協力詰ならこの角を取らない応手ができるので有力そうに見えます。しかし、2手目

16玉に3手目27金と打っても、4手目同香成とされてしまいます。もし攻方王がいなければ3手目28桂に4手目同香生と香を吊り上げて、5手目27金で詰ますことができます。受方25香の利きが攻方王に当たってしまうのが問題なのです。受方玉を2筋で詰まそうとしても逃げ道が豊富で、到底5手では捕まりそうにありません。やはり受方玉を1筋に追い込むしかなさそうです。

代えて初手28金とするのはどうでしょうか。受方25香の利きが攻方王に当たるのを予め防ぐ手です。強力な金を手放してしまいますが、以下16玉 49角 38金 同角 同香生 17金打と進めれば、金を再入手して受方玉を詰ますことができます。しかし、この手順は詰ますのに7手かかっているので失敗です。

困ったようですが、初形で受方43龍に注目してみます。受方玉から離れた地点にいるので詰ます上で無関係な駒に見えます。もしこの龍がいなければ、初手36角/39桂/19桂に2手目16玉と進めて、3手目27金と打てば受方玉が詰むのです。このとき、受方25香は攻方52角の利きで動けなくなっています。では、受方43龍を退かして攻方52角の利きを通すにはどうしたらよいでしょうか。

初手49角に2手目同龍とするのが解決策。これで攻方52角の利きが通りました。しかし、攻方王に逆王手がかかっています。3手目39桂とするしかなく、4手目16玉と逃げると、再び攻方王に逆王手がかかってしまいます。ただ、これには狙い通り5手目27金と打てば詰め上がりです。

受方が詰みに協力してくれているはずですが、受方の応手は全て攻方王への逆王手というのが本作の見所。特に初手は香を取る手が見えるだけに、角を捨てて逆王手をかけさせる展開には驚いたことでしょう。

■ 9-2 北村太路

協力詰 5手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 角 | | | | | |
| | | | 皇 | | | | | |
| | | 銀 | 王 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 王 | 銀 | 銀 | | | |
| | | | | | | | | |

持駒 金2桂

【解答】

66金 同角生 48桂 46玉 56金 迄5手

詰上図

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 角 | | | | | |
| | | | 皇 | | | | | |
| | | 銀 | 金 | 王 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | 王 | 桂 | 銀 | | | |
| | | | | | | | | |

【作者コメント】

狙いは受方開王手2回です。攻方着手が全部打ちになって攻方は駒取をしなくて済んだので少しいかなと思います。

おぼろげに受方開王手3回も考えましたが7手で連続3回も厳しそうですし、コーナーに合わせて9手以内3回だと1回開王手しないのがかえって手を広げ余詰消しが大変そうだなと思っています。

【解説】

攻方の持駒は金2枚・桂1枚と豊富です。しかし、受方48角や受方56玉が動けば攻方王に王

手がかかってしまいます。そうは言っても、どちらも動かさずに5手で詰ますのは難しそうに見えます。せめて受方55香による逆王手を予め防ごうと、初手57金に2手目同角生とするのはどうでしょうか。受方38龍からの逆王手がかかっているので、3手目48桂とするしかありません。4手目46玉に対して5手目36金/57金どちらでも、受方龍で取られて詰んでいません。受方龍の利きをなんとかするのが優先事項のようです。

代えて初手66金とするのが正解。以下、同角生 48桂 46玉と進めると、攻方王は二回も逆王手をくらってしまいます。受方76龍の利きが受方角で遮られているのが先程との違いです。5手目56金とすれば詰め上がり。6手目56同香と金と取ろうとしても、攻方64角の利きが受方玉に当たってしまうのでできません。

前作に引き続き、攻方王に連続して逆王手をするのが狙い。逆王手の仕方が開王手で統一されています。初形で2つの受方開王手が見えますが、攻方はどちらも受け入れなければならないのが意表を突かれます。初手の金捨ても気持ち良く、濃密な手順の作品です。

■ 9-3 駒井めい

協力白玉詰 4手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | 王 | 王 | | |
| | | | | | | | | |
| | | 銀 | | | | | | |
| | | | | | 馬 | | | |
| | | | 銀 | | 香 | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

持駒 香

【解答】

44香 同角 23馬 同龍 迄4手

詰上図

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | 王 | | 王 | | |
| | | | | | | | 龍 | |
| | | | | 馬 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | 香 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

持駒なし

【解説】

自玉詰なので受方玉ではなく攻方王を詰ますのが目的です。攻方は自身の王が詰むように受方玉に王手をかけます。協力ルールがあるので、受方は攻方王を詰ますのに協力します。

初形で攻方王の逃げ道は12の地点のみで、受方7龍を23の地点に呼ぶのが有力そうです。ただ、初手23馬は2手目同龍とはできません。受方玉には両王手がかかっているため、2手目は玉を逃げるしかありません。

両王手になるのを避けるために、初手から12馬44角 23馬と攻方馬を遠回りで動かせば両王手になりません。4手目23同龍となれば、受方龍を23の地点に呼ぶことができます。しかし、攻方の持駒には香があるので、5手目22香と合駒をして受ける余地があって、攻方王が詰んでいません。攻方は両王手を避けつつ、持駒の香を消費する必要があります。

代えて初手44香とするのが正解。2手目同角と進めれば、攻方46香の利きが通るのを予め防ぐと共に、持駒の香を消費することができます。3手目23馬に4手目同龍とすれば、攻方王が詰め上がります。今度は22の地点に合駒をする受けがありません。

空きスペースコラム

冪和の不等式（解答編）／神無太郎

【命題】

$x, y, z > 0$, $xyz = 1$ のとき、

$$x^2 + y^2 + z^2 \leq x^3 + y^3 + z^3$$

が成り立つ。

【証明】

$x \leq y \leq z$ としても一般性を失わない。このとき、 $x^2 \leq y^2 \leq z^2$ なので、チェビシエフの不等式から、

$$\begin{aligned} \frac{x+y+z}{3} \cdot \frac{x^2+y^2+z^2}{3} &\leq \frac{x \cdot x^2 + y \cdot y^2 + z \cdot z^2}{3} \\ &= \frac{x^3 + y^3 + z^3}{3} \end{aligned}$$

また、相加平均相乗平均の関係から、

$$1 = \sqrt[3]{xyz} \leq \frac{x+y+z}{3}$$

これら2つの不等式から、

$$x^2 + y^2 + z^2 \leq x^3 + y^3 + z^3$$

となる。

【補足】

すみません、チェビシエフの不等式については、インターネット検索して確かめてみてください。

第4回フェアリー短編コンクール

結果修正等の報告

担当：駒井めい

第4回フェアリー短編コンクールを2022年9月号(第171号)で出題、2022年12月号(第174号)で結果発表を行いました。結果発表後、不完全作などの連絡があったため報告いたします。

1. 第7番 kisy作 作意解の不成立

最後の1ピース

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

- 1) 1枚追加して2)の条件を満たす最後の1ピースの完全作を作れ
 - 2) 1枚追加して3)の条件を満たす最後の1ピースの完全作を作れ
 - 3) 最後の1ピース・詰将棋 1手 1枚追加
- ※左右対称形を同一局面とみなす

【作意解】

追加駒: 1)受方51玉→2)攻方71龍
→3)攻方61角
詰手順: 43歩成 迄1手
あるいは
追加駒: 1)受方51玉→2)攻方31龍
→3)攻方41角
詰手順: 63歩成 迄1手

第7番kisy作について、作者より作意解が成立していないとの報告がありました。

【指摘解】 ※指摘者はchapigrou氏

追加駒: 1)受方51玉→2)攻方43歩
→3)攻方72龍
詰手順: 42歩成 迄1手
あるいは
追加駒: 1)受方51玉→2)攻方63歩
→3)攻方32龍
詰手順: 62歩成 迄1手

1)で受方51玉を追加した後に、2)で攻方71龍(あるいは攻方31龍)と追加するのが作意解でした。2)で攻方43歩(あるいは攻方63歩)と追加してもよいため、作意解が成立していないことが分かりました。第7番kisy作は正解なしの不完全作であるため、残念ながら失格といたします。

2. 第11番 変寝夢作 同一手順作の指摘

推理将棋

(条件)

- ・4手で先手玉が詰まされた。
- ・安北ルールで指した。
- ・初手は歩の手だった。

【作意解】

76歩 44歩 68王 76桂 迄4手

泰永三二郎氏より2023年1月号(第175号)「短コン衝突事件」で報告があった通り、第11番変寝夢作には同一手順の作品(出口信男作 カピタン19号 1980年8月)がありました。ただ、出口信男作は将棋パズルとしての出題で、第11番変寝夢作は推理将棋としての出題です。出題形式が異なるため、第11番変寝夢作については特に結果の修正を行いません。

3. 結果の修正

これらを踏まえ、順位に変動がありました。以下

の通り順位を修正いたします。修正箇所は赤字で示しています。

| 順位 | 作品 |
|-------|-------------------------|
| 1 | 第 5 番 真 T 作 |
| 2 | 第 17 番 真 T 作 |
| 3 | 第 1 番 藤原俊雅作 |
| | 第 2 番 藤原俊雅作 |
| 5 | 第 9 番 springs 作 |
| | 第 12 番 駒井めい作 |
| | 第 15 番 馬屋原剛作 |
| 8 | 第 7 番 kisy 作 |
| | 第 10 番 たくぼん作 |
| | 第 27 番 占魚亭作 |
| 44 10 | 第 13 番 伊達悠作 |
| | 第 18 番 変寝夢作 |
| | 第 21 番 神在月生作 |
| 44 13 | 第 16 番 伊達悠作 |
| | 第 22 番 青木裕一作 |
| 46 15 | 第 3 番 さんじろう作 |
| | 第 6 番 馬屋原剛作 |
| | 第 11 番 変寝夢作 |
| | 第 14 番 藤原勝博作 |
| | 第 19 番 springs 作 |
| 24 20 | 第 23 番 上谷直希作 |
| | 第 25 番 羽毛布団作 |
| | 第 26 番 占魚亭作 |
| 24 23 | 第 24 番 さつき作 |

[駒全マネ取禁：例題集解答]

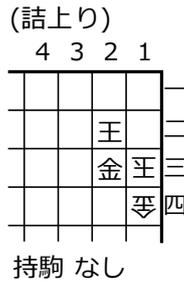
(1) 12 歩 22 歩 21 王 まで 3 手



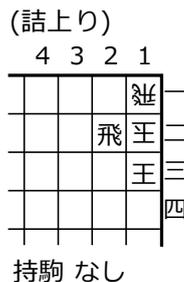
(2) 32 銀 22 銀 42 王 まで 3 手



(3) 23 金 14 金 22 王 まで 3 手



(4) 22 飛 11 飛 13 王 まで 3 手



☆今回の例題はすべて攻方玉を動かして受方玉を仕留める筋です。「駒全マネ禁」と異なり、駒取りでない移動はできるので、いきなり攻方玉で王手を掛けても詰みません。下準備として、逃げる先に攻方駒が利いているか、駒取りになる状況を作ります。2 手目に「打」ができるのも「駒全マネ取禁」が「駒全マネ禁」と異なる所。これを利用して受方玉の移動範囲を狭めてから、攻方玉で仕留めます。

第2回最後の1ピース作品展

担当:馬屋原 剛

○はじめに

「最後の1ピース」の更なる発展を願い、第1回に引き続き、第2回を開催するに至りました。10名11作と、多くの作品が集まり感謝に堪えません。

バラエティー豊かな作品群で出題順に悩みましたが、馬屋原が易しいと感じた順に並べました。とはいえルールが様々なので得意なルールから取り組むのがいいと思います。1題からの解答も大歓迎です。

解答が多く集まり好評であれば、第3回以降も開催します。開催内容についてご意見があればぜひお聞かせください

○解答要綱

- ・追加駒と詰手順の両方を解答してください。
- ・ぜひコメントをお願いします。
- ・お気に入り投票を実施します。お気に入りの作品の番号を記入ください。何作でも可です。
- ・検討はしましたが、別解が見つかる可能性があります。別解を発見した場合は早めにご連絡いただくと助かります。
- ・ルールは後述しましたが、不明点があれば馬屋原まで連絡ください。
- ・解答締切: 2023年3月31日(金)

○解答送付先

- ・メール: gou.umayabara@gmail.com
- ・TwitterのDM: [@umanoko1525](https://twitter.com/umanoko1525)

○基本ルール

- ・指定された枚数の駒を追加して、指定されたルール、手数 of 完全作にしてください。
- ・例えば3手詰と指定があった場合は、1手詰や5手詰にしてはいけません。
- ・特に記載がない場合、完全限定にしてください。最終手余詰もNGです。非限定や最終手余詰がある場合は別扱いにはなりません。

○オプションルール

- ・受方駒指定: 受方の駒を盤面に追加してください。
- ・範囲指定: 指定された範囲に駒を追加してください。
- ・ツイン: a)とb)それぞれの追加駒と手順を解

答ください。

ルール説明

【詰将棋】

攻方は受方がどのように応じて詰むように攻め、受方はなるべく詰まないように応じる。(いわゆる普通の詰将棋)

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【受先】

受方から指し始める。

①上谷直希

最後の1ピース 詰将棋 1手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | ス | 四 |
| | | | | | | | | 王 | 五 |
| | | | | | | 龍 | | | 六 |
| | | | | | | 馬 | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

1枚追加

b) 協力詰 1手

②竹内亮太

最後の1ピース 詰将棋 5手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | 歩 | | 二 |
| | | | | | | | 歩 | | 三 |
| | | | | | | | 王 | 銀 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | 香 | | 香 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 角歩

1枚追加

③神在月生

最後の1ピース 協力詰3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 銀 | 八 |
| | | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 角金

1枚追加

④青木裕一

最後の1ピース 詰将棋1手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| 皇 | 皇 | 皇 | 皇 | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| 王 | | | | | | | | | 九 |

持駒 角

66~99の範囲に受方駒を13枚追加

⑤せら

最後の1ピース 協力自玉詰1手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | 王 | | 玉 | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

1枚追加

⑥駒井めい

最後の1ピース 協力詰2手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | 銀 | 王 | | 玉 | 八 |
| | | | | | | ス | | | 九 |

持駒 金

1枚追加

⑦真T

最後の1ピース 協力詰5手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | 王 | | | 一 |
| | | | | | | | 歩 | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | 香 | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 角金

2枚追加

⑧上谷直希

最後の1ピース 協力詰5手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | 龍 | 馬 | 將 | 二 |
| | | | | | | | 銀 | 王 | 三 |
| | | | | | | | 桂 | | 四 |
| | | | | | | | | 將 | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

1枚追加

⑨たくぼん

最後の1ピース 協力自玉詰4手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | 角 | | 一 |
| | | | | | | 角 | | | 二 |
| | | | 飛 | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛桂

2枚追加

⑩羽毛布団

最後の1ピース

協力自玉詰5手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 雀 | | | | 皇 | 五 |
| | | | 龍 | 歩 | | | | 王 | 六 |
| | | | | | | | 香 | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 香 | 九 |

持駒 なし

1枚追加



⑪springs

最後の1ピース 協力自玉詰4手

持駒 なし

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | 馬 | | | 皇 | 四 |
| | | | | | 歩 | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | 王 | | | 八 |
| | | | | | | | | 玉 | 九 |

持駒 なし

1枚追加

b) 攻方64馬→攻方64龍

今月の手筋 (解答)

解答
 12角 11玉 21角成 同玉 12角 11玉
 21角成 同玉 12歩成 まで 9手

12歩成を妨げるため、攻方は角を12に打って邪魔駒とする。しかし、攻方王手義務により結局はこの角を捨てねばならず、持駒が尽きた時点で詰まざるを得なくなる。この例は手順だけを見ると持駒消去に似ているが、意味付けはあくまで「詰」の先送りである。また、詰に必要な着手が途中から邪魔駒になる場合は、邪魔駒設置とは呼ばない。
 邪魔駒設置は最悪詰以外にも、悪魔詰や手数指定等、攻方が詰を先延ばしする必要が生じるルールで可能。

適用分野
 攻方が詰を先送りするルール

関連項目

解答募集一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2023年2月28日(火)

第1回 Lortap 入門作品展

フェアリー作品 17題

送り先：駒井めい

meikomaivtsume[at]gmail.com

・TwitterのDM：@MeiKomai_Tsume

2023年3月10日(金)

推理将棋第159回出題

推理将棋 3題

解答送り先：TETSU (omochabako@nifty.com)

2023年3月15日(水)

第148回 WFP 作品展

フェアリー作品 11題

Fairy of the Forest#73

協力詰 4題

送り先：酒井博久(sakai8kyuu@hotmail.com)

フェアリー入門 (ライフル協力詰)

ライフル協力詰 10題

第1回フェアリー入門別館

フェアリー作品 5題

《解答先》メール：伊達 悠

(ydate_burning_beach■yahoo.co.jp)■→@に変更

2023年3月31日(金)

第2回最後の1ピース作品展

最後の1ピース 11題

送り先：馬屋原剛

・メール：gou.umayabara@gmail.com

・TwitterのDM：@umanoko1525

2023年4月15日(水)

第149回 WFP 作品展

フェアリー作品 12題

作品募集一覧

フェアリー入門 (All-in-Shogi 協力詰)

投稿締切：2023年3月15日(水)

投稿先：伊達悠

(ydate_burning_beach■yahoo.co.jp)■→@に変更

(詳細は P72 参照)

協力詰・協力自玉詰 解付き

9手以下の協力詰、協力自玉詰。

[投稿締切] 2023年3月15日(水)

[投稿先]

下記どちらかの方法で投稿してください。

・メール：meikomaivtsume▲gmail.com

※▲を@に置き換えて送信してください。

・TwitterのDM：@MeiKomai_Tsume

(詳細は P90 参照)

あとがき

20日の朝に腰の痛みで目が覚める。この痛みは何年か前にも味わったあいつだ！そう尿路結石！よりもよって20日になるとは…。痛み止めを飲みつつ水をたらふく飲みながら編集作業です。(泣)

たくぼん

2023年 第176号

Web Fairy Paradise

非売品

令和五年二月号

令和五年二月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp